

GS450h

取扱説明書

さくいん

イラストから検索

| 1 | 安全・安心のために | お客様に 必ずお読みいただきたいこと | |
|---|-----------|---------------------------|--|
| 2 | メーターの見方 | メーター・警告灯/表示灯の種類・見方など | |
| 3 | 各部の操作 | ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など | |
| 4 | 運転 | 運転に必要な操作やアドバイス | |
| 5 | 室内装備・機能 | 室内装備の使い方など | |
| 6 | お手入れのしかた | 車のお手入れ・メンテナンスの方法 | |
| 7 | 万一の場合には | 故障したときや、緊急時などの対処 | |
| 8 | 車両情報 | 車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など | |
| | | | |
| | | 症状 から検索 | |
| | ÷/1./ | 音から検索 | |

アルファベットで検索

五十音で検索

| 知っておいていただきたいこと | |
|---|----------------------|
| 本書の見方10 | 3 各部の操作 |
| | H FF W MITT |
| 検索のしかた11 | |
| イラスト目次12 | 3-1. +- |
| | + 108 |
| 1 安全・安心のために | 3-2. ドアの開閉、ロックのしかた |
| | スマートエントリー& |
| 1-1. 安全にお使いいただくために | スタートシステム |
| 運転する前に | ワイヤレスリモコン |
| 安全なドライブのために26 | ドア125 |
| | トランク129 |
| シートベルト 28 | |
| SRS エアバッグ 33 | 3-3. シートの調整 |
| お子さまの安全のために 41 | フロントシート136 |
| 子供専用シート42 | ドライビングポジション |
| チャイルドシートの取り付け 49 | メモリー139 |
| 排気ガスに対する注意55 | ヘッドレスト143 |
| 1-2. ハイブリッドシステム | 3-4. ハンドル位置・ミラー |
| ハイブリッドシステムの特徴 56 | ハンドル145 |
| ハイブリッドシステムの注意 60 | インナーミラー146 |
| | ドアミラー148 |
| 1-3. 盗難防止装置 | 3-5. ドアガラス・ムーンルーフの開閉 |
| イモビライザーシステム 66 | |
| オートアラーム67 | パワーウインドウ 151 |
| | ムーンルーフ154 |
| 2 メーターの見方 | |
| | |
| 2. 計器の見方 | |
| 警告灯/表示灯 | |
| | |
| 計器類78 | |
| マルチインフォメーション ディスプレイ83 | |
| | |
| ヘッドアップディスプレイ 91 | |
| エネルギーモニター/ 燃費画面/ Harmonious Driving | |
| M負回回/ Haillollious Dilvillg Navi. 画面99 | |
| | |

4-5. 運転支援装置について

| A 2004- | 4-5. 運転支援装置について |
|--------------------------------|---|
| 4 運転 | クルーズコントロール 215 |
| 4-1. 運転にあたって 運転にあたって | レーダークルーズコントロール (全車速追従機能付き)219 LKA (レーンキーピング アシスト)231 ドライブモードセレクト スイッチ240 運転を補助する装置243 |
| スイッチ | PCS (プリクラッシュ セーフティシステム)251 ナイトビュー (歩行者検知機能付)259 4-6. 運転のアドバイス ハイブリッド車運転の アドバイス269 寒冷時の運転271 |
| ワイパーの使い方 ランプスイッチ | |
| 給油口の開け方210 | |

5 室内装備・機能

| 5-1. 室内: | 灯のつけ方 | |
|----------|----------------------------------|-----|
| | 丁一覧 | |
| ・イ | ンテリアランプ | 279 |
| . / \ | ーソナルランプ | 279 |
| 5-2. 収納 | 装備 | |
| 収納装 | 長備一覧 | 281 |
| ・グ | ローブボックス | 282 |
| · ¬ | ンソールボックス | 283 |
| • 力 | ップホルダー | 284 |
| · /J\: | 物入れ | 286 |
| トラン | ノク内装備 | 287 |
| 5-3. その1 | 他の室内装備の使い方 | |
| , | ヾイザー / | |
| / \'_ | ティミラー | 290 |
| 時計. | | 291 |
| 灰皿. | | 292 |
| | zサリーソケット/ | |
| | 'セサリーコンセント | |
| ステフ | アリングヒーター | 296 |
| | トレーター/ | 000 |
| | ·トベンチレーター | |
| | アームレスト | 301 |
| | ナンシェード/ [,] ドアサンシェード | 302 |
| | ·フック | |
| | ・・・ ストグリップ | |
| | ティリティーフック | |

6 お手入れのしかた

| お手入れのしかた | |
|--------------|------------------|
| 外装の手入れ | 310 |
| 内装の手入れ | 314 |
| 簡単な点検・部品交換 | |
| ボンネット | 317 |
| ガレージジャッキ | 320 |
| エンジンルームカバー | 322 |
| ウォッシャー液の補充 | 324 |
| タイヤについて | 325 |
| 電子キーの電池交換 | 333 |
| ヒューズの点検・交換 | 335 |
| 電球 (バルブ) の交換 | 347 |
| | 外装の手入れ 内装の手入れ |

7 万一の場合には

| 7-1. | ます初めに | |
|------|--------------------------|-----|
| | 故障したときは | 362 |
| | 非常点滅灯 | |
| | (ハザードランプ) | 363 |
| | 発炎筒 | 364 |
| | 車両を緊急停止するには | 366 |
| 7-2. | 緊急時の対処法 | |
| | けん引について | 367 |
| | 警告灯がついたときは | 371 |
| | 警告メッセージが | |
| | 表示されたときは | 377 |
| | パンクしたときは | |
| | (応急用タイヤ装着車) | |
| | パンクしたときは(タイヤパン | - |
| | 応急修理キット装着車) | 412 |
| | ハイブリッドシステムが 始動できないときは | 125 |
| | 7.4-4 | 425 |
| | シフトレバーが シフトできないときは | 127 |
| | パーキングブレーキが | 421 |
| | 解除できないときは | 428 |
| | 電子キーが正常に | |
| | 働かないときは | 430 |
| | 補機バッテリーが | |
| | あがったときは | 432 |
| | オーバーヒートしたときは | 435 |
| | スタックしたときは | 439 |

車両情報

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・オイル量など)... 442

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧448

8-3. 初期設定

初期設定が必要な項目 456

さくいん

| こんなときは (症状別さくいん) | . 458 |
|------------------------|-------|
| 車から音が鳴ったときは (音さくいん) | . 462 |
| アルファベット順さくいん | . 464 |
| 五十音順さくいん | . 466 |

次の装備は、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」をお読みください。

- · GPS ボイスナビゲーション
- ・オーディオ&ビジュアル
- ・エアコン・デフォッガー
- ・ミラーヒーター
- ・音声操作システム

- ・クリアランスソナー
- ・ETC システム
- ・バックガイドモニター
- ・ハンズフリー
- · G-Link

2

Ĭ

ï

5

8

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。 また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご 了承ください。

レクサス販売店で取り付けられた装備(販売店オプション)の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致 しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルにはSRSエアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はレクサス販売店にご相談ください。
 - ・タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換 異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼし たり、不正改造になることがあります。
 - ・電装品・無線機の取り付け・取りはずし 電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につな がるおそれがあり危険です。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色 フィルム(含む透明フィルム)などを貼り付けないでください。視界をさ またげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューター が複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- エンジン回転数
- ・電気モーター回転数
- ・アクセルの操作状況
- ・ブレーキの操作状況
- ・車速
- ・シフトポジション
- ・ 駆動用電池の状態

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、 コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

レクサスはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、レクサスは取得したデータを第三者へ開示または 提供することはありません。

- ・お車の使用者の同意(リース車は借主の同意)がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合
- G-Link によるデータの取り扱いについて

お客様が G-Link をご利用の場合、記録データとその使用について、G-Link 利用規約をご覧ください。

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー(EDR)が装備されています。EDR は、一定の衝突や衝突に近い状態(SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など)が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・車両の各システムの作動状況
- アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意:EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報(例:氏名・性別・年齢・衝突場所)は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。レクサスにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDR データの情報開示

次の場合を除き、レクサスは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・お車の使用者の同意(リース車は借主の同意)がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・レクサスが訴訟で使用する場合

ただし、レクサスは

- ・データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示すること があります。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。(法律で義務付けられています)

本書の見方



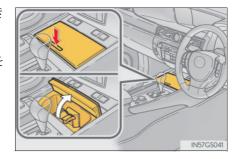
お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または 重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

1 注意

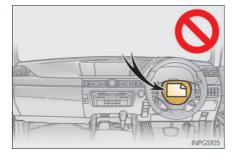
「お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそ - れがあることを説明しています。

123… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

- → 押す・まわすなど、していただき たい操作を示しています。
- □ フタが開くなど、操作後の作動を 示しています。



- → 説明の対象となるもの・場所を示しています。
- "してはいけません" "このように しないでください" "このような ことを起こさないでください" と いう意味です。

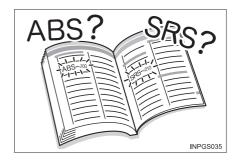


検索のしかた

| ■ 名称から探す |
|----------|
|----------|

| • | 五十音順さくいん | 466 |
|---|----------|-----|
| | アルファベット順 | |

アルファヘット順 さくいん464



■ 取り付け位置から探す

・イラスト目次......12



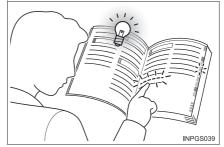
■ 症状や音から探す

- こんなときは (症状別さくいん)......458
- ・車から音が鳴ったときは (音さくいん)......462



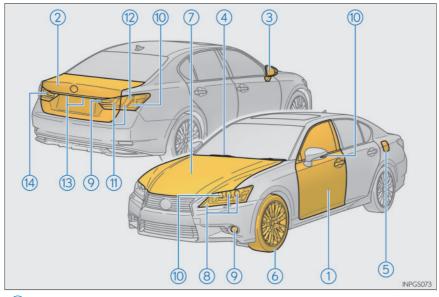
■ タイトルから探す

・目次2



イラスト目次

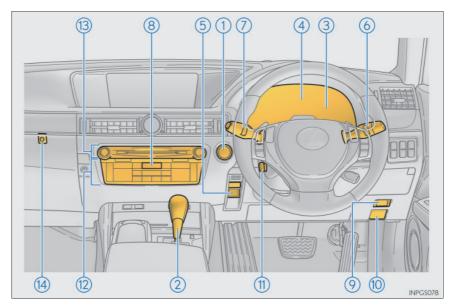
■外観



| (1) | ドア | |
|-----|--------------------|--|
| | 施錠/解錠 | |
| | ドアガラスの開閉 | |
| | メカニカルキーでの施錠/解錠 | |
| | 警告灯・警告メッセージ | |
| 2 | トランク | |
| | 車内から開けるP. 129 | |
| | 車外から開けるP. 114, 123 | |
| | メカニカルキーで開ける | |
| | 警告灯・警告メッセージ | |
| 3 | ドアミラー | |
| | 鏡面の角度調整P. 148 | |
| | ミラーの格納 | |
| | 調整位置の登録 | |
| | 曇りを取る (ミラーヒーター) ** | |

| ④ ワイパー |
|--------------------------------|
| 冬季の注意 |
| 凍結防止(フロントワイパーデアイサー) ★ ※ |
| 洗車時の注意 |
| ⑤ 給油口 |
| 給油方法 |
| 燃料の種類・燃料タンク容量 |
| (b) タイヤ |
| サイズ・空気圧 |
| 冬用タイヤ・タイヤチェーン |
| 点検・ローテーション・空気圧警報システム |
| パンク時の対処 |
| ⑦ ボンネット |
| 開け方 |
| エンジンルームカバーP. 322 |
| エンジンオイル |
| オーバーヒート時の対処 |
| 警告メッセージ |
| 走行に関わる外装のランプバルブ |
| (交換要領: P. 347, ワット数: P. 447) |
| 8 ヘッドランプ・車幅灯 |
| ⑨ フロントフォグランプ・リヤフォグランプ ★ |
| (f) 方向指示灯 |
| ① 尾灯 |
| 12 制動灯 |
| ブレーキホールド |
| ① 番号灯 |
| 4 後退灯 |
| シフトポジションを R にする |

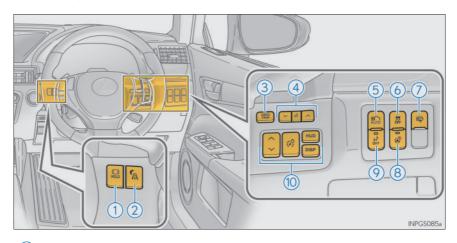
■インストルメントパネル



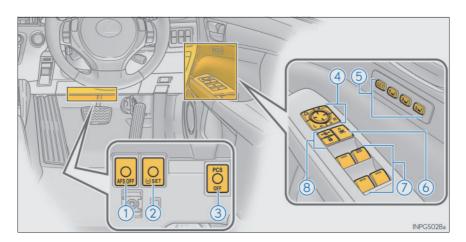
| 1 | パワースイッチ | P. 169 |
|---|---|--------|
| | ハイブリッドシステムの始動・モード切りかえF | P. 169 |
| | ハイブリッドシステムの緊急停止 | P. 366 |
| | ハイブリッドシステムが始動できないときの対処 | . 425 |
| | 警告メッセージ | 2. 396 |
| 2 | シフトレバー | P. 179 |
| | シフトポジションの切りかえ | P. 179 |
| | けん引時の注意 | P. 367 |
| | シフトレバーが動かないときの対処F | P. 427 |
| 3 | メーター | .P. 78 |
| | 見方・明るさの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | .P. 78 |
| | 警告灯/表示灯 | .P. 74 |
| | 警告灯点灯時の対処 | 2. 371 |

| 4 マルチインフォメーションディスプレイ | |
|---|--------|
| 表示内容 | |
| エネルギーモニター | |
| 警告メッセージ表示時の対処 | |
| ⑤ パーキングブレーキスイッチ | P. 186 |
| かける・解除する | P. 186 |
| 冬季の注意 | P. 272 |
| 警告ブザー・警告メッセージ | |
| 6 方向指示レバー | |
| ランプスイッチ | |
| ヘッドランプ・車幅灯・尾灯 | |
| フロントフォグランプ・リヤフォグランプ ★ | P. 201 |
| ⑦ ワイパー&ウォッシャースイッチ | |
| 使い方 | P. 203 |
| ウォッシャー液の補充 | P. 324 |
| 8 非常点滅灯スイッチ | |
| ⑤ トランクオープナー | |
| 10 ボンネット解除レバー | |
| (11) ハンドル位置調整スイッチ | |
| 調整方法 | |
| 調整位置の登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| (1) オートエアコン [※] | |
| 操作方法 [※] | |
| リヤウィンドウの曇り取り(リヤウインドウデフォッカ | j—) * |
| (13) オーディオ [※] | |
| 音楽を聴く※ | |
| 電話をかける・受ける (ハンズフリー) ** | |
| (14) トランクオープナーメインスイッチ | |

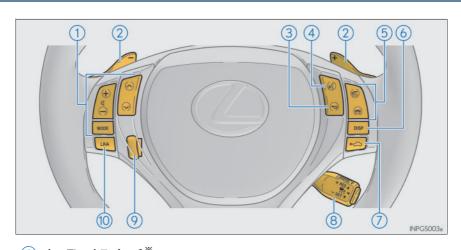
■スイッチ類



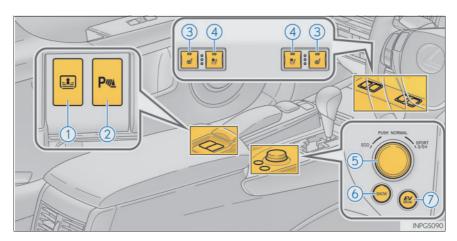
| (1) ブレーキホールドスイッチ |
|---|
| ② ナイトビュースイッチ [★] |
| ③ オドメーター/トリップメーター切りかえ・ |
| トリップメーターリセットボタン |
| 4 インストルメントパネル照度調整スイッチ |
| ⑤ オートマチックハイビームスイッチ [★] |
| 6 VSC OFF スイッチ |
| つ ヘッドランプクリーナースイッチ |
| ⑧ ステアリングヒータースイッチ★ |
| 9 車両接近通報一時停止スイッチ |
| (1) ヘッドアップディスプレイスイッチ [★] P. 91 |



| 1 AFS OF | Fスイッチ . | | | | | | .P. | 193 |
|----------|-----------------|------|-----|------|------|------|-----|-----|
| 2 タイヤゴ | ≅気圧警報リセ | ットスイ | ッチ | | | | .P. | 327 |
| 3 PCS OF | Fスイッチ★ | | | | | | .P. | 253 |
| 4 ドアミラ | ラースイッチ. | | | | | | .P. | 148 |
| 5 ドライヒ | ごングポジショ | ンメモリ | ースイ | ッチ . | | | .P. | 139 |
| 6 ウイント | ・ ウロックスイ | ッチ | | | | | .P. | 151 |
| 7 パワーウ | 7インドウスイ | ッチ | | | | | .P. | 151 |
| (8) ドアロッ | /クスイッチ. | | | | | | .P. | 125 |

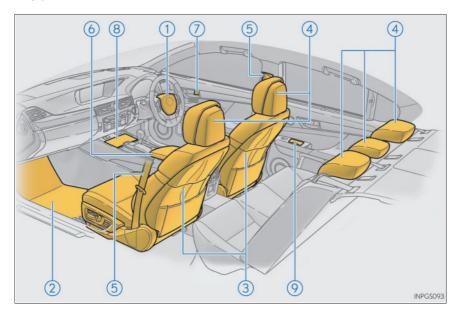


| $\overline{}$ | オーディオスイッチ※ |
|---------------|--------------------------------------|
| 2 | パドルシフトスイッチP. 181 |
| | 戻るスイッチ [※] |
| 4 | トークスイッチ [※] |
| 5 | 電話スイッチ [※] |
| 6 | DISP スイッチ |
| 7 | 車間距離切りかえスイッチ★ |
| 8 | クルーズコントロールスイッチ |
| | クルーズコントロール [★] |
| | レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付き)★P. 219 |
| 9 | ハンドル位置調整スイッチ |
| 10 | LKA (レーンキーピングアシスト) スイッチ [★] |
| | |

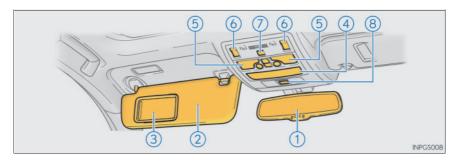


| ① リヤサンシェードスイッチ [★] |
|-------------------------------|
| ② クリアランスソナースイッチ ^{★※} |
| ③ シートヒータースイッチ [★] |
| ④ シートベンチレータースイッチ [★] |
| ⑤ ドライブモードセレクトスイッチ |
| ⑥ スノーモードスイッチ |
| (7) EV ドライブモードスイッチ |

■室内



| (1) | SRS エアバッグ | 3 |
|-----|-----------|---|
| 2 | フロアマット | 1 |
| 3 | フロントシート | 3 |
| 4 | ヘッドレスト | 3 |
| 5 | シートベルト | 3 |
| 6 | コンソールボックス | 3 |
| 7 | コックレバー | 5 |
| 8 | カップホルダー | 1 |
| 9 | 小物入れ★ | 3 |
| | 灰皿★ | 2 |



| ① インナーミラーP. 146 |
|--------------------------------|
| ② サンバイザーP. 290 |
| ③ バニティミラーP. 290 |
| ④ インテリアランプ |
| ⑤ パーソナルランプ ^{※ 1} |
| ⑥ ムーンルーフスイッチ [★] |
| 7 侵入センサー OFF スイッチ |
| 8 ヘルプネットスイッチパネル ^{※ 2} |

安全・安心のために

~必ずお読みください~

1

| - |
|----|
| 24 |
| 26 |
| 28 |
| 33 |
| 41 |
| 42 |
| 49 |
| 55 |
| |
| 56 |
| 60 |
| |
| 66 |
| 67 |
| |

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

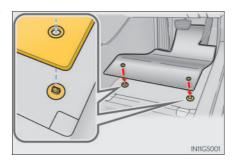
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参 照してください。

異常が見つかった場合は、レクサス販売店で必ず点検整備を受けてください。

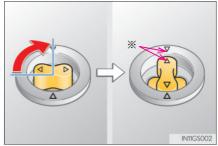
フロアマット

専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

1 固定フック(クリップ)にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 固定フック(クリップ)上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する
 - ※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック(クリップ)の形状はイラストと異なる場合があります。

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になるほか、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- ●レクサス純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- ●運転席専用のフロアマットを使用する
- ●固定フック(クリップ)を使って、常にしっかりと固定する
- ●他のフロアマット類と重ねて使用しない
- ●フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- ●フロアマットがすべての固定フック (クリップ) で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ●ハイブリッドシステム停止およびシフトレバーがPの状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する



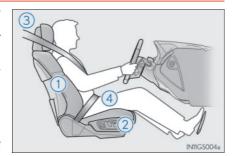
ı

安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢について

- 1 まっすぐ座り、運転操作時に体が背 もたれから離れないよう、背もたれ の角度を調整する (→ P. 136)
- ② ペダルがしつかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする(→ P. 136)
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちば ん上のあたりになるようにする (→ P. 143)
- 4 シートベルトを正しく着用する (→ P. 28)



シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。 (\rightarrow P. 28)

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 42)

ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。 $(\rightarrow P.~146,~148)$



次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれ があります。

- ●走行中は運転席の調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- ●背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。 正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレスト などの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- ●フロントシートの下にものを置かないでください。ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- ●他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- ●飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- ●運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況 などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携 帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- ●長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

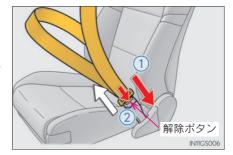
正しく着用する

- 肩部ベルトを肩に十分かける 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、 深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



着け方・はずし方

- (1) ベルトを固定するには、"カチッ" と音がするまでプレートをバック ルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタン を押す



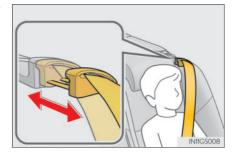
シートベルトの高さ調節(フロント席)

- 解除ボタンを押しながら、アジャスターを下げる
- ② アジャスターを上げる "カチッ"と音がして固定されるところ まで動かしてください。



シートベルトコンフォートガイド(リヤ外側席)

お子さまや体の小さい方はコンフォートガイドを前方にスライドさせて肩部ベルトが首にかからないように調整してください。

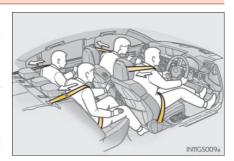


シートベルトプリテンショナー(フロント席・リヤ外側席)

前方から強い衝突を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗 員拘束効果を確保します。

フロント席のシートベルトプリテン ショナーは、側方から強い衝撃を受け たときも作動します。

前方・側方からの衝撃が弱いときや、う しろからの衝撃、横転のときは通常は 作動しません。



プリクラッシュシートベルト (プリクラッシュセーフティシステム装着車フロント席)

プリクラッシュセンサーにより衝突物が検知され、衝突が避けられないと判断したとき、衝突前にシートベルトを巻き取ります。(→ P. 251)

□知識

■シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った 人用に設計されています。

- ●シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。(→ P. 42)
- ●シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→ P. 28)

■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

▲ 警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。

■シートベルトの着用について

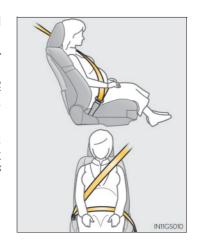
- ●全員がシートベルトを着用する
- ●シートベルトを正しく着用する
- ●シートベルトは一組につき一人で使用する お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- ●お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- ●背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- ●肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- ●腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用 してください。(→ P. 28)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

▲ 警告

■お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死 亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■プリテンショナー付きシートベルトについて

シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ/プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずレクサス販売店で交換してください。

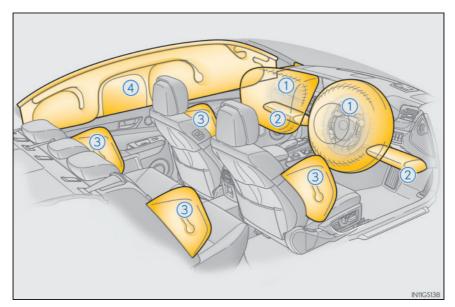
■シートベルトの損傷・故障について

- ●ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないよう にしてください。
- ●シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- ●プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにレクサス販売店に連絡してください。
- ●もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- ●プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、 レクサス販売店以外でしないでください。

不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ/助手席 SRS エアバッグ (運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)
- ② SRS ニーエアバッグ (運転者と助手席乗員の衝撃緩和を補助) 助手席側の SRS ニーエアバッグは、グローブボックスのドアに内蔵されています。

◆ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ

- ③ SRS フロントサイドエアバッグ (フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)SRS リヤサイドエアバッグ★ (リヤ外側席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- (4) SRS カーテンシールドエアバッグ (フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

★:仕様により異なる装備やオプション装備

▲ 警告

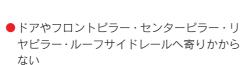
■SRS エアバッグについて

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれ があります。

- ●運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。 SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- ●助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、 シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしつ かり固定してください。お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシート ベルトを着用させることをおすすめします。(→ P. 42)
- ●シートの縁に座ったり、ダッシュボードにも たれかかったりしない



- ●お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立 たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- ●運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も 持たない







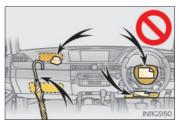
▲ 警告

■SRS エアバッグについて

助手席やリヤシートでは、ドアに向かってひ ざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



●ダッシュボード・ハンドルのパッド部分・インストルメントパネル下部・グローブボックスのドアなどには何も取り付けたり、置いたりしない



●ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない

(速度制限ラベルを除く: → P. 421)



- コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。 SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されるおそれがあります。
- SRSニーエアバッグがふくらむ場所にビニールカバーが付いている場合は、取り除いてください。
- SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが作動する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って作動したりするおそれがあります。

▲ 警告

■SRS エアバッグについて

● SRSエアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。

SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS エアバッグが収納されているパッド部・グローブボックスのドア・フロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずレクサス販売店で交換してください。

■改造・廃棄について

レクサス販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。 SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ●ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・グローブボックス・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- ●フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード(ブルバー・カンガルーバーなど)・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- ●サスペンションの改造
- ●CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

□ 知識

■SRS エアバッグが作動するとき

- SRS エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。
- ●作動音と共に白いガスが発生します。
- フロント席・グローブボックス・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグ構成部品(ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター)も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- ●フロントウインドウガラスが破損することがあります。
- ●G-Link の契約期間内は、SRS エアバッグが作動すると自動的に緊急通報がヘルプネットセンターに送信されます。オペレーターからの呼びかけに応答がない場合は、緊急車両を手配します。

詳しくは別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

■ SRS エアバッグが作動するとき(フロント SRS エアバッグ)

●フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値(移動も変形もしない固定された 壁に、車速約 20 ~ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値)以上 の場合に作動します。

ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。

- ・駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
- もぐり込むような衝突の場合(例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど)
- ●衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

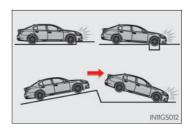
■ SRS エアバッグが作動するとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ)

- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値(約1.5 t の車両が約20~30km/hの速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値)以上の場合に作動します。
- ●前面衝突時でも、特に衝撃が大きい場合は左右の SRS カーテンシールドエアバッグが開く場合があります。

■衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグが作動する場合があります。

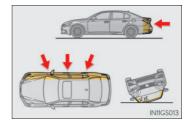
- ■縁石や歩道の端など、固いものにぶつかった とき
- ●深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から 落下したとき



■ SRS エアバッグが作動しないとき(フロント SRS エアバッグ)

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

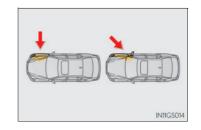
- ●側面からの衝突
- ●後方からの衝突
- ●横転



■ SRS エアバッグが作動しないとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ)

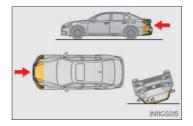
斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

- ●客室部分以外の側面への衝撃
- ●斜めからの衝撃



SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

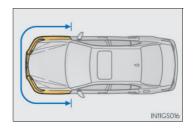
- ●前方からの衝突
- ●後方からの衝突
- ●横転



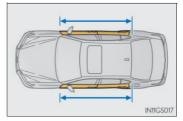
■レクサス販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、修理・点検が必要になります。できるだけ早くレクサス販売店 へご連絡ください。

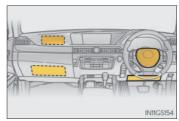
- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- ●フロントSRSエアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



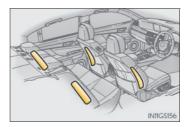
● SRSサイド&カーテンシールドエアバッグは ふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突 したとき、または破損・変形などがあるとき



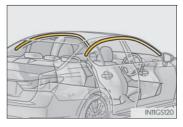
●ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助 手席 SRS エアバッグ付近・インストルメント パネル下部・グローブボックスのドアが傷付 いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受け たとき



● SRSサイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



● SRSカーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 42)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウインドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→P. 126)・ウインドウロックスイッチ(→P. 151)をご使用ください。
- ◆ 小さなお子さまには、パワーウインドウ・ボンネット・トランクやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

▲ 警告

- ●お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や 脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。
 - また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 49)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお 選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取扱説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 **の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

グループ 0 : $10 \log まで$ グループ 0 + : $13 \log まで$ グループ I : $9 \sim 18 \log$ グループ II : $15 \sim 25 \log$ グループ III : $22 \sim 36 \log$

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

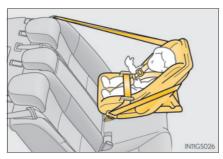
■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにともなう取り付け器具の記号になります。

子供専用シートの種類

▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、0 ⁺ に相当



▶ チャイルドシート ECE R44 基準のグループ 0 + 、I に相当



▶ ジュニアシートECE R44 基準のグループ II、III に 相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表 (シートベルトでの取り付け)

| | 着席位置(または他の場所) | | | |
|--------------------------|-----------------------|---------|-----|--|
| 質量グループ | フロントシート | リヤシート | | |
| | 助手席 | 左右席 | 中央席 | |
| 0 (10kg まで) | × | U * 2 | U | |
| 0 ⁺ (13kg まで) | × | U * 2 | U | |
| I (9 ∼ 18kg) | 前向き UF ^{※ 1} | 11 ** 2 | U | |
| | うしろ向き× | U | | |
| Ⅱ (15 ~ 25kg) | UF ** 1 | U * 2 | U | |
| III (22 ~ 36kg) | UF ** 1 | U * 2 | U | |

● 上表に記入する文字の説明

U: この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの 子供専用シートに適しています。

UF: この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの 前向きの子供専用シートに適しています。

×: 子供専用シートを取り付けることはできません。

** ¹ 子供専用シートを取り付けるときは、背もたれを直立状態にし、シートの高さ をいちばん高い位置まで上げてください。

**2 子供専用シートを取り付けるときは、ヘッドレストを取りはずしてください。 子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

| 質量グループ | サイズ等級 | 固定具 | 車両 ISOFIX 位置 |
|--------------------------|-------|---------|--------------|
| | | | リヤシート左右席 |
| キャリコット | F | ISO/L1 | × |
| | G | ISO/L2 | × |
| 0 (10kg まで) | E | ISO/R1 | × |
| 0 ⁺ (13kg まで) | Е | ISO/R1 | × |
| | D | ISO/R2 | × |
| | С | ISO/R3 | × |
| I (9 ∼ 18kg) | D | ISO/R2 | × |
| | С | ISO/R3 | × |
| | В | ISO/F2 | IUF ** |
| | B1 | ISO/F2X | IUF ** |
| | А | ISO/F3 | IUF ** |
| Ⅱ (15 ~ 25kg) | | (1) | × |
| III (22 ~ 36kg) | | (1) | × |

● 上表に記入する文字の説明

(1): サイズ等級表示(AからG)のない子供専用シートの各シート位置でのISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業 者または販売業者にご相談ください。

IUF: この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

×: ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

※ 子供専用シートを取り付けるときは、ヘッドレストを取りはずしてください。 子供専用シートの装着に関しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

□知識

■ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■子供専用シートの選択、使用について

- ●お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さま に合った子供専用シートを使用してください。
- ●体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 44) を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→ P. 45)を確認して、適切なシートを選択してください。

- 1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する
 - (例 1): 体重が 12kg の場合、質量グループは「 0^+ 」になります。
 - (例 2): 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

2 サイズ等級を選択する

手順**1**で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。※

(例 1): 質量グループが $\lceil 0^+ \rceil$ の場合、サイズ等級は $\lceil C \rceil \cdot \lceil D \rceil \cdot \lceil E \rceil$ が該当します。

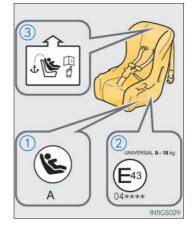
(例 2): 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

※ ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

3 子供専用シートに表示されているマーク/ ラベルを確認して、基準に適合したシートで あることを確認する

汎用(ユニバーサル)子供専用シートには、 次に示すマーク・ラベル類が表示されていま す。

** 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



① ISOFIX 対応子供専用シートであることを 示す表示

サイズ等級が示されています。(表示される文字は、製品により異なります)

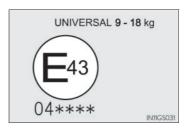
手順2で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。

② 汎用 (ユニバーサル) 子供専用シートの認 可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。

③ トップテザー (→ P. 49) を示すマーク 商品の取り付け装置の位置により、意匠は 異なります。







■ISOFIX 対応子供専用シートの種類(サイズ等級別)

| A-ISO/F3 | 全高前向き幼児用チャイルドシート |
|------------|--|
| B-ISO/F2 | 低型前向き幼児用チャイルドシート |
| B1-ISO/F2X | 低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの) |
| C-ISO/R3 | 大型後向き幼児用チャイルドシート |
| D-ISO/R2 | 小型後向き幼児用チャイルドシート |
| E-ISO/R1 | 後向き乳児用チャイルドシート |
| F-ISO/L1 | 左向き位置用チャイルドシート(キャリコット) |
| G-ISO/L2 | 右向き位置用チャイルドシート(キャリコット) |

■助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- ●背もたれを直立状態にする
- ●シートの高さをいちばん高い位置まで上げる
- ●シートをいちばんうしろにさげる



■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは 子供専用シート製造業者または販売業者にお尋ねください。



■子供専用シートを使用しない場合

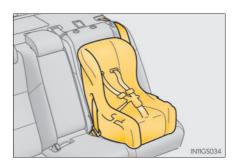
- ●子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付け た状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- ●子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、トランク内に容易に動かないように収納してください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

シートベルトによる取り付け (→ P. 50)



ISOFIX 対応チャイルドシート固定専 用バー (→ P. 51)

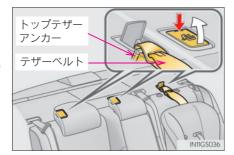
リヤ外側シートに装備されています。 (固定専用バーが装備されていること を示すボタンがシートに付いていま す)



トップテザーアンカー (→ P. 51)

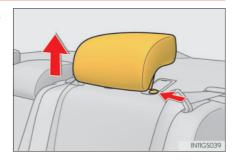
テザーベルトを固定するときに使いま す。

トップテザーアンカーはリヤシートのそれぞれの座席に装備されています。



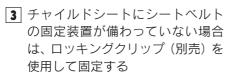
シートベルトで固定する

1 リヤシート左右席に取り付けると きは、ヘッドレストをはずす (→ P. 143)



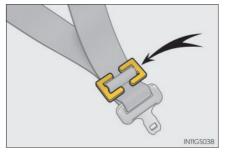
チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに "カチッ"と音がするまで挿し込む。 ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書 に従い、シートベルトをチャイルド シートにしっかりと固定させてくださ い。



ロッキングクリップの購入にあたっては、レクサス販売店にご相談ください。 (ロッキングクリップ品番:73119-22010)

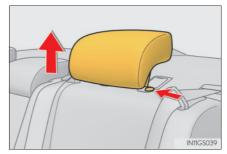




取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しつかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する

1 ヘッドレストをはずす (→ P. 143)



2 ISOFIX 対応チャイルドシート固定 専用バーの位置を確認する

固定専用バーは、シートクッションの 奥にあります。



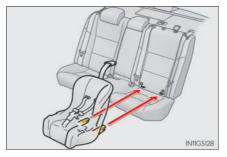
3 チャイルドシートをシートに取り 付ける

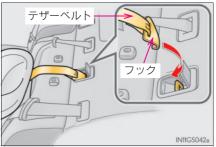
チャイルドシートの取り付け金具を チャイルドシート固定専用バーに取り 付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイル ドシートに付属の取扱説明書に従って ください。

4 フタを開けてトップテザーアン カーにフックを固定し、テザーベル トを締める

テザーベルトをピンと張り、フックが しっかり固定されていることを確認し ます。





5 取り付けたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



▲ 警告

■チャイルドシートについて

- ●事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに 取り付けてください。
- ●チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■チャイルドシートを取り付けるとき

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。 誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- ●チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- ●チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

▲ 警告

■チャイルドシートを取り付けるとき

- ●運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。



● やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートを うしろ向きに取り付けないでください。 うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだ とき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

助手席側のサンバイザーに、同内容の警告文が表示されています。併せて参照してください。



▲ 警告

■チャイルドシートを取り付けるとき

●やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。

助手席 SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ●ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ●ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。



排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素(CO)が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故 の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。

■走行中の留意事項

トランクを閉じてください。

トランクが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにレクサス販売店で点検整備を受けてください。

■駐車するとき

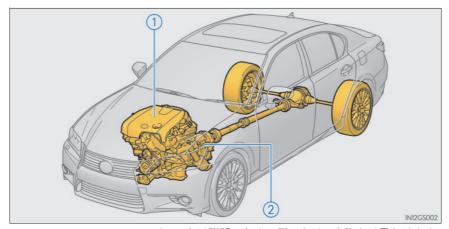
- ●車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、ハイブリッドシステムを停止してください。
- ●長時間ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。やむを得ないときは、開かれた場所に車を停め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- ●降雪時や雪が積もった場所では、ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずレクサス 販売店で点検を受けてください。

ハイブリッドシステムの特徴

GS450h のハイブリッドシステムは、電気モーターとガソリンエンジンという2つのパワーのシナジー(相乗)効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減、クリーン化した環境に配慮した技術となっています。



イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- (1) ガソリンエンジン
- (2) 電気モーター

◆ 停車時・発進時・低速走行時

停車中はガソリンエンジンを停止します。

発進時は電気モーターを使って発進します。

低速走行時や下り坂走行時もガソリンエンジンを停止し、電気モーターを 使って走行します。

◆ 通常走行時

主にガソリンエンジンを使用して走行します。

必要に応じて電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

◆ 急加速時

ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

◆ 減速時・制動時(回生ブレーキ)

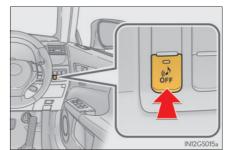
車輪が電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

車両接近通報装置

ガソリンエンジンが停止した状態での走行時、車両の接近を周囲の人に知らせるため、車速に応じた音階で音を鳴らします。車速が約 25km/h をこえると消音します。スイッチ操作で消音することもできます。

消音するには、パワースイッチが ON モードのとき、スイッチを押す

スイッチ上のインジケーターが点灯します。再度スイッチを押すと ON になります。パワースイッチを ON モードにするごとに、車両接近通報装置は ON になります。



□ 知識

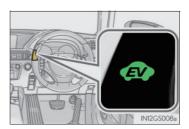
■回生ブレーキについて

次の場合、車の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池へ充電すると 共に減速力を得ることができます。

- ●シフトレバーが D または S で走行中に、アクセルペダルから足を離したとき
- シフトレバーが D または S で走行中に、ブレーキペダルを踏んだとき

■EV インジケーターについて

電気モーターの動力のみで走行しているときは、EV インジケーターが点灯します。



■ガソリンエンジンの自動停止について

車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。 ただし、次の状態では自動停止しないことがあります。

- ●ガソリンエンジン暖機中
- ●駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- ●駆動用電池充電時
- ●暖房をかけているとき

■駆動用電池の充電について

● ガソリンエンジンの動力による充電や回生ブレーキにより、駆動用電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。しかし、車両を長時間放置すると、少しずつ放電します。そのため少なくとも、2 ~ 3ヶ月に一度、約30分間または16kmほど運転してください。

万一、駆動用電池が完全に放電し、ハイブリッドシステムを始動できないときは レクサス販売店にご連絡ください。

●シフトレバーが N にあるときは駆動用電池への充電が行われません。車両停止時は 必ず P にしてください。また、渋滞時などでも、D または S で運転してください。

■補機バッテリーの充電について

→ P. 433

■補機バッテリーがあがってしまったり、交換などで取りはずしたとき

ガソリンエンジンの自動停止が行われないことがあります。 自動停止しない状態が2~3日続く場合は、レクサス販売店へご連絡ください。

■ハイブリッド車特有の音と振動について

ハイブリッド車は、READY インジケーターが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時は確実にシフトレバーを P にして、パーキングブレーキをかけてください。

ハイブリッドシステム始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、 異常ではありません。

- ■エンジンルームからのモーター音
- ●ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえる車両後方および駆動用電池からの音
- ●トランクを開けたときに聞こえる作動音
- ●ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえるトランスミッション付近からの音
- ●急加速時のエンジン音
- ●ブレーキペダルを踏んだときに聞こえる回生ブレーキの音
- ガソリンエンジンの始動・停止による振動
- ●リヤシート横にある吸入口から聞こえるファンの音

■車両接近通報装置について

次のような場合は、周囲の人に通報音が聞こえにくくなることがあります。

- ●周囲の騒音が大きい場合
- ●雨または強風の場合

また、車両接近通報装置は車両前側にあるので、車両前方と比較して、車両後方は聞 こえにくくなることがあります。

■メンテナンスや修理・廃車について

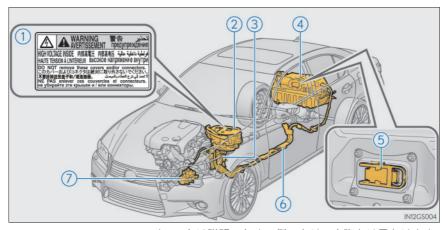
お車のメンテナンスや修理・廃車の際は必ずレクサス販売店にご相談ください。特に 廃車する場合は、レクサス販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご 協力ください。

■カスタマイズ機能

EVインジケーターを点灯しないように変更できます。(カスタマイズ一覧: → P. 448)

ハイブリッドシステムの注意

ハイブリッドシステムには、駆動用電池・パワーコントロールユニット・オ レンジ色の高圧ケーブル・電気モーターなどの高電圧部位(最高約 650V) や、冷却用ラジエーターなどの高温部位がありますので、ご注意ください。 なお、高電圧部位などには、取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付して ありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。



イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- (1) コーションラベル
- ② パワーコントロールユニット・ ⑤ サービスプラグ DC / DC コンバーター
- (3) 電気モーター

- 4 駆動用電池
- (6) 高電圧ケーブル (オレンジ色)
- 7 エアコンコンプレッサー

リヤシート横部には、駆動用電池冷却 用の吸入口があります。吸入口をふさ いだりすると、駆動用電池の過熱や出 力低下の原因となります。



緊急停止システム

事故により衝撃を受けたときなどは、ハイブリッドシステムを停止して高電圧を遮断します。また、フューエルポンプ制御により燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

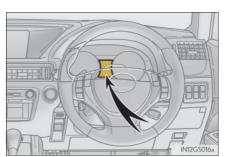
この場合、ハイブリッドシステムを再始動させることができなくなるため レクサス販売店へご連絡ください。

警告メッセージ

ハイブリッドシステムの異常やお知らせしたい事項が発生すると自動で表示されます。

警告メッセージは、マルチインフォ メーションディスプレイに表示され ます。

表示された画面の指示に従ってください。(\rightarrow P. 377)



□ 知識

■警告灯が点灯したときや、警告メッセージが表示されたとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたとき

ハイブリッドシステムを再始動できないおそれがあります。

もう一度始動操作をしても READY インジケーターが点灯しない場合はレクサス販売店にご連絡ください。

■ガス欠になったとき

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量警告灯 (→ P. 374) が消灯するまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。(給油量は車両水平状態で約 9.9L です。車両の傾きによって給油量はかわります)

■電磁波について

- ●高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。
- ●アマチュア無線の一部(遠距離通信)において、受信時に雑音が混入する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■駆動用電池について

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

■適合宣言

この車両は、ECE100 (バッテリー電気車両安全) に基づいた水素排出量に適合しています。



■高電圧・高温について

この車は、高電圧システムを使用しています。

次のことをお守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪 の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●高電圧部位・高電圧の配線(オレンジ色)およびそのコネクターの取りはずし・分解などは絶対に行わないでください。
- ●走行後はハイブリッドシステムが高温になります。車に貼ってあるラベルの指示に 従い、常に高電圧・高温部位に注意してください。
- ●サービスプラグが駆動用電池に設置してあります。サービスプラグはレクサス販売店にて 車両の修理時などに、駆動用電池の高電圧を 遮断するためのものです。

取り扱いを誤ると感電のおそれがあるため、絶対にさわらないでください。



▲ 警告

■事故が発生したとき

次のことをお守りいただかないと、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死 亡につながるおそれがあります。

- 続発事故防止のため安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P に入れ、ハイブリッドシステムを停止する
- ●高電圧部位・高電圧配線(オレンジ色)などには、絶対にさわらない
- ●車室内および車室外に、はみ出している電気配線には絶対さわらない
- ●液体の付着やもれがある場合は絶対にさわらない 駆動用電池の電解液(強アルカリ性)が目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合はただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診察を受けてください。
- ●万一、車両火災が発生したときは、ABC 消火器を使用して消火する水をかける場合は、消火栓などから大量にかけてください。
- ●後輪が接地した状態でけん引しない 電気モーターから発電され、破損の状態によっては、漏電による火災のおそれがあ り危険です。(→ P. 367)
- ●車の下の路面などを確認し、液体のもれ(エアコンの水以外)が見つかった場合、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火するおそれがあり危険ですので、始動しないでください。この場合は、レクサス販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。

■駆動用電池について

●絶対に転売・譲渡・改造などをしないでください。廃車から取りはずされた駆動用 電池は事故防止のため、レクサス販売店を通じて回収を行っていますので、ご協力 ください。

適切に回収されないと、次のようなことがおこり、重大な傷害におよぶか、最悪の 場合死亡につながるおそれがあります。

- ・不法投棄または放置され、環境汚染となるばかりか、第三者が高電圧部位に触れてしまい、感電事故が発生する
- ・装備された車両以外で駆動用電池を使用(改造などを含む)し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故などが発生する

特に、転売・譲渡などを行うと、相手にこれらの危険性が認識されず、事故につながるおそれがあります。

●駆動用電池を取りはずさないままでお車を廃棄された場合、高電圧部品・ケーブル・それらのコネクターにふれると、深刻な感電の危険があります。お車を廃棄するときには、レクサス販売店で駆動用電池を廃棄してください。駆動用電池は適切に廃棄しないと、感電を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■駆動用電池冷却用の吸入口について

- ●吸入口をふさぐように荷物などを置かないでください。吸入口がふさがれると駆動用電池が過熱したり、故障の原因となります。
- ●吸入口は、目づまりしないよう定期的に清掃してください。
- ●吸入口に水や異物を入れないでください。駆動用電池を損傷するおそれがあります。
- ●駆動用電池周辺に多量の水をこぼさないよう注意してください。誤ってこぼしてしまったときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

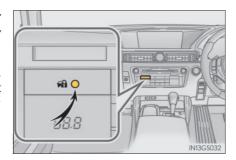
イモビライザーシステム

キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではハイブリッドシステムを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

パワースイッチを OFF にすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、パワース イッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



__ 知識

■メンテナンスについて

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

- ■システムが正常に作動しないとき
 - ●キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
 - ●キーが他の車両のセキュリティシステム用キー(信号発信機内蔵キー)と重なっているときや接近しているとき

🛕 注意

■イモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートアラーム

オートアラームとは

オートアラームとは、侵入を検知した場合に音と光で警報する機能です。 オートアラームを設定すると、次のような状況でオートアラームが作動します。

- 施錠されたドアまたはトランクが、スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコン・メカニカルキーを使わずに解錠されたり、開けられたとき
- ボンネットが開けられたとき
- ※ G-Link サービスをご利用のお客様へは、オートアラームが作動した場合 E メール や電話でお知らせすることができます。

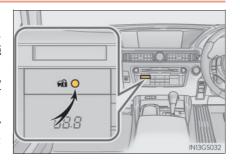
詳しくは、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書/G-Link/G-Security」を参照してください。

オートアラームを設定する

ドア・トランク・ボンネットを閉め、 スマートエントリー&スタートシス テム・ワイヤレスリモコンを使って施 錠します。

30 秒以上経過すると、自動的に設定されます。

オートアラームがセットされるとイン ジケーターは点灯から点滅にかわりま す。



オートアラームの設定を解除・作動を停止する

次のいずれかを行ってください。

- ドアまたはトランクを解錠する
- パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするか、ハイブリッドシステムを始動する(数秒後に解除・停止します)

□知識

■メンテナンスについて

オートアラームシステムのメンテナンスは不要です。

■ドアを施錠する前の確認

オートアラームの思わぬ作動、および盗難を防ぐため、次のことを必ず確認してください。

- ●車内に人が乗っていないか
- ●ドアガラスとムーンルーフ[★]が閉じているか
- ●車内に貴重品などを放置していないか

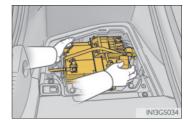
■オートアラームの作動について

次のような場合、オートアラームが作動することがあります。オートアラームを解除・ 作動を停止する操作を行ってください。

●車内に残った人が、ドア・トランク・ボンネットを開けたとき



●施錠後、補機バッテリーあがりなどで補機 バッテリーの充電や交換をしたとき (→ P. 433)



■オートアラーム作動によるドアロック機能について

オートアラームが作動したときドアが解錠されていると車内への不正な侵入を防止するため自動的に施錠されます。

■G-Link (ご契約のお客様のみ)

● うっかり通知機能によって、施錠のし忘れや非常点滅灯の消し忘れ、ドアガラスの 閉め忘れ、ムーンルーフの閉め忘れを、ご指定の E メールアドレスへお知らせする ことができます。

うっかり通知機能は車内の電子キー検知を使用しているため、スマートエントリー &スタートシステムが正しく作動しない場合は、うっかり通知機能が正しく働かないことがあります。

●リモート確認機能によって、ドアの開閉や施錠の状態、非常点滅灯の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

詳しくは、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書/ G-Link / G-Security」を参照してください。

■カスタマイズ機能

メカニカルキーを使って解錠したときにオートアラームが作動するよう、設定を変更することができます。(カスタマイズ一覧: → P. 448)



■オートアラームを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

侵入センサーとは

侵入センサーは、車内に不正に入り込んだ侵入者の動きを超音波で検知する センサーです。侵入者の動きで検知するため、ドアを開けずガラスを割って 入り込んだ侵入者なども検知できます。

このシステムは、車両盗難を防止または抑止する機能であり、すべての侵入 に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

■ 侵入センサーを設定する

オートアラームを設定すると、自動でセットされます。(→ P. 67)

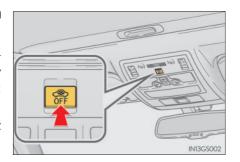
■ 侵入センサーを停止する

車内で動くものに反応するため、ペットや動くものを車内に残すときは、必ず侵入センサーを停止してからオートアラームを設定してください。

- 1 パワースイッチを OFF にする
- **2** 侵入センサーOFF スイッチを押 す

メーター内のマルチインフォメー ションディスプレイに、侵入セン サー停止のメッセージが表示されま す。

もう一度スイッチを押すと、侵入センサーは再びセットされます。



□知識

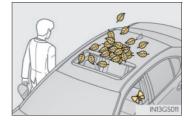
■侵入センサーの作動・停止について

- ●侵入センサーの作動を停止しても、オートアラームは作動します。
- ●侵入センサーを停止したあとにパワースイッチを押すか、スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコン・メカニカルキーによる解錠操作を行うと、侵入センサーは復帰します。
- ●オートアラームの設定を解除するたびに侵入センサーは復帰します。

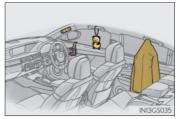
■侵入センサーについての留意事項

次のような場合、侵入センサーの検知によりオートアラームが作動することがあります。状況に応じ、侵入センサーを停止してからアラームを設定してください。

- ドアガラスやムーンルーフ★などが開いている場合、次のものを検知することがあります。
 - ・室内に入った落ち葉・虫・風など
 - ・他車の侵入センサーなどが発する超音波
 - ・室外の歩行者の動き



●マスコットやアクセサリーをぶら下げた状態で取り付けたり、コートフックに衣類をかけているときなど、動きやすいものが車内にある場合



- ●振動や騒音が激しい場所、または連続的な衝撃や振動が車両に伝わる状況
 - ・立体駐車場に駐車したとき
 - ・フェリー・トレーラー・列車などで車両を運搬するとき
 - ガラスに付着した氷を削り落すとき
 - ・高圧洗車機や自動洗車機などを使うとき
 - ・ ひょう・落雷などのとき



■侵入センサーを正しく作動させるために

●センサーの穴はふさがないようにしてください。



●センサーの穴に向かって、直接消臭スプレー などを噴霧しないでください。



●運転席と助手席のシートのあいだに、レクサス純正品以外のアクセサリーを装着したりものを放置したりすると、検知性能が低下することがあります。

メーターの見方

2

2. 計器の見方

| 警告灯/表示灯74 |
|-------------------------|
| 計器類78 |
| マルチインフォメーション |
| ディスプレイ83 |
| ヘッドアップディスプレイ91 |
| エネルギーモニター/ |
| 燃費画面/Harmonious Driving |
| Navi. 画面99 |

警告灯/表示灯

メーター内の警告灯/表示灯でお車の状況をお知らせします。 次のイラストは、説明のためすべての警告灯/表示灯を示しています。



警告灯

システム異常などを警告します。

<u>(I)</u>

ブレーキ警告灯(→ P. 371)



ブレーキホールド作動表示灯 (→ P. 373)

(点滅)



充電警告灯 (→ P. 371)



パーキングブレーキ表示灯 (→ P. 373)



エンジン警告灯 (→ P. 372)



ブレーキ警告灯 (→ P. 373)



SRS エアバッグ/プリテンショナー警告灯 (\rightarrow P. 372)



半ドア警告灯 (→ P. 374)



ABS &ブレーキアシスト警告 灯 (→ P. 372)



燃料残量警告灯 (→ P. 374)



パワーステアリング警告灯 (→ P. 372)



シートベルト非着用警告灯 (→ P. 374)



PCS 警告灯★ (→ P. 372)



マスターウォーニング (→ P. 374)

(点滅)



スリップ表示灯 (→ P. 373)



タイヤ空気圧警告灯 (→ P. 374)

AFS OFF

AFS OFF 表示灯 (→ P. 373)

(点滅)

※ 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。レクサス販売店で点検を受けてください。

★:仕様により異なる装備やオプション装備

表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯(→ P. 185)

SET

クルーズコントロールセット 表示灯[★] (→ P. 215)



尾灯表示灯 (→ P. 192)

LKA

LKA (レーンキーピングアシ スト) 表示灯★ (→ P. 233)



ハイビーム表示灯 (→ P. 192)

P∥≜

クリアランスソナー表示灯[★] (→別冊 「ナビゲーションシス テム取扱説明書 | 参照)



オートマチックハイビーム 表示灯★ (→ P. 195) AFS

AFS OFF 表示灯 (→ P. 193)

和

フロントフォグランプ 表示灯 (→ P. 201)



スリップ表示灯 (→ P. 245)

()‡

リヤフォグランプ表示灯***** (→ P. 201)



VSC OFF 表示灯 (→ P. 245)

READY

READY インジケーター (→ P. 169) PCS

PCS 警告灯★ (→ P. 253)

(速い点滅)



EV インジケーター (→ P. 57)



パーキングブレーキ表示灯 (→ P. 186)



クルーズコントロール 表示灯[★] (→ P. 215)



ブレーキホールドスタンバイ 表示灯 (→ P. 189)



レーダークルーズコントロー ル表示灯★ (→ P. 219) HOLD

ブレーキホールド作動表示灯 (→ P. 189)

★:仕様により異なる装備やオプション装備

^{**} 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。 レクサス販売店で点検を受けてください。

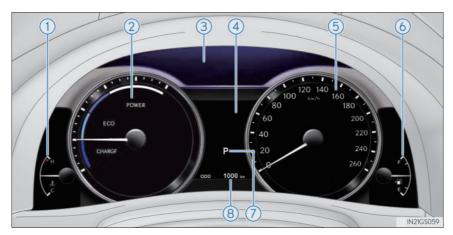


■安全装置の警告灯が点灯しないとき

ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がパワースイッチを ON モードにしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにレクサス販売店で点検を受けてください。

計器類

▶ 走行モードがスポーツモード (→ P. 240) 以外のとき



▶ 走行モードがスポーツモード (→ P. 240) のとき



(1) 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

- ② ハイブリッドシステムインジケーター ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを示します。(→ P. 81)
- ③ ECO ランプ (青)・SPORT ランプ (赤)走行モードや運転状態によって色や明るさがかわります。(→ P. 82)
- ④ マルチインフォメーションディスプレイ 走行に関するさまざまな情報を表示します。(→ P. 83)
- 5 スピードメーター 車両の走行速度を示します。
- (6) 燃料計 燃料残量を示します。
- ⑦ シフトポジション・シフトレンジ表示選択されているシフトポジションまたはシフトレンジを表示します。(→ P. 179)
- 8 オドメーター/トリップメーター

オドメーター:

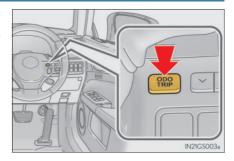
走行した総距離を km の単位で表示します。

トリップメーター:

リセットしてからの走行距離を km の単位で表示します。区間距離は、トリップA・トリップBの2種類で使い分けることができます。

表示の切りかえ(オドメーター/トリップメーター)

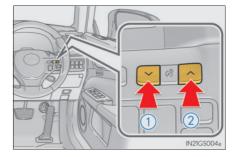
ボタンを押すごとに表示が切りかわります。また、トリップメーター表示中に押し続けると、走行距離を 0 にもどします。



インストルメントパネル照度調整スイッチ

インストルメントパネル照明の明るさを調整できます。

- (1) 暗くする
- (2) 明るくする



□ 知識

■メーター・ディスプレイの作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■インストルメントパネルの照度調整について

車幅灯消灯時と点灯時それぞれの明るさのレベルを調節することができます。 ただし、周囲が明るいとき(昼間など)に車幅灯を点灯しても、メーターの明るさは 切りかわりません。

■インストルメントパネル照度の減光制御について

インストルメントパネル照度は、周囲の明るさをライトセンサーで感知して自動調整されます。ただし、手動操作で照度を最も明るく、または最も暗くしたときは、インストルメントパネル照度は自動調整されません。

■ハイブリッドシステムインジケーターについて

- チャージエリア 回生ブレーキ機能により、エネルギーを回収 している状態を示します。
- ② ハイブリッドエコエリア ガソリンエンジンの動力を使用しない状況 を多く含む状態を示します。 ガソリンエンジンは、各種の条件により自動 的に停止・再始動します。
- ③ エコエリア エコ運転 (環境に配慮した走行) をしている 状態を示します。
- ④ パワーエリア 全開走行時など、エコ運転の範囲を超えてい る状態を示します。



- ●走行モードがスポーツモード以外のときに表示されます。
- ●インジケーターの針をエコエリアに保つことで、エコ運転が可能です。
- ※ ここでの「回生」の意味は、運動エネルギーを電気エネルギーに変換することです。

■ECO ランプ・SPORT ランプの点灯条件について

- ●走行モードがスポーツモードのときは、SPORT ランプ(赤)が点灯します。
- ●次の条件を満たして走行しているとき、ECO ランプ (青) が点灯します。(より環境に配慮した運転状態であるほど ECO ランプが明るくなり、非エコ運転の範囲に近付くほど暗くなります。(→ P. 81) また、停車時やエコ運転の範囲をこえた状態では消灯します。ただし、ECO モード選択時は、停車時やエコ運転の範囲をこえた状態でも消灯しません)
 - ・ シフトレバーが D にあるとき
 - パドルシフトスイッチを操作していないとき
 - ・ 走行モードがノーマルモードまたはエコドライブモードのとき
 - ・ 車速が約 100km/h 以下のとき

■タコメーターについて

走行モードがスポーツモードのとき、ハイブリッドシステムインジケーターからタコメーター表示に切りかわります。

■エンジン回転数について

ハイブリッド車のエンジン回転数は、燃費の向上や排気ガス低減などのため、ち密に 制御されています。走行条件や運転条件が同じでも、エンジン回転数が異なる場合が あります。

■カスタマイズ機能

ECO ランプ・SPORT ランプの点灯条件などの設定を変更できます。 (カスタマイズ一覧: \rightarrow P. 450)

⚠ 注意

■ハイブリッドシステムや構成部品への損傷を防ぐために

- タコメーターの針がレッドゾーン (エンジンの許容回転数をこえている範囲) に入らないようにしてください。
- 水温計の針がHのレッドゾーンに入ったときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→P. 435)

マルチインフォメーションディスプレイ

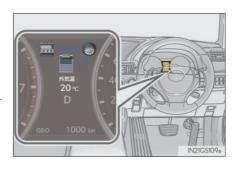
表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

- エネルギーモニター (→ P. 100)
- 外気温表示 (→ P. 84)
- トリップインフォメーション (→ P. 84)

航続可能距離や燃費など、走行に関する情報を表示します。

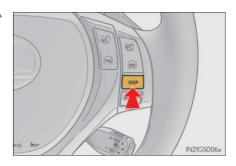
- タイヤ空気圧表示* (→ P. 86)
- ▶ ドライブモニター (→ P. 86)
- クリアランスソナー表示^{★※}(→別冊「ナビゲーションシステム 取扱説明書」参照)
- レーダークルーズコントロール表示★** (→ P. 219)
- LKA (レーンキーピングアシスト)表示★** (→ P. 234)
- 警告メッセージ (→ P. 377)
 各システムに異常が発生すると、自動で表示されます。DISP スイッチを押すと、表示を切りかえることができます。
 (→ P. 84)
- ※ システム使用時に自動で表示されます。DISP スイッチを押すと、表示を切りかえることができます。(→ P. 84)



トリップインフォメーション

■ 表示の切りかえ

DISPスイッチを押すごとに切りか わります。



■ エネルギーモニター

→ P. 100

■ 外気温



外気温を表示します。

- 40 ℃から 50 ℃のあいだで表示されます。

■ 瞬間燃費



現在の瞬間燃費を表示します。

■ 給油後平均燃費

給油後平均燃費 10.0 km/L 給油をしてからの平均燃費を表示します。

表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ 平均燃費

平均燃費

10.0 km/L

リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・リセットするには、平均燃費表示中に DISP スイッチを 1 秒以上押し続けます。
- ・表示される平均燃費は、参考として利用してください。

■ 平均車速

平均車速

40 km/h

リセットしてからの平均車速を表示します。

リセットするには、平均車速表示中に DISP スイッチを 1 秒以上押し続けます。

■ 航続可能距離

航続可能距離

200 km

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できない場合があります。
- ・燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないこと があります。

給油の際はパワースイッチを OFF にしてください。 万一、パワースイッチを OFF にせず給油した場合、 表示が更新されないことがあります。

■ タイヤ空気圧★



タイヤが装着されている位置ごとに、現在のタイヤ 空気圧を表示します。

応急用タイヤ装着車: 応急用タイヤの空気圧は表示されません。

ドライブモニター

外気温・給油後平均燃費・航続可能距離のいずれかを選択して表示させることができます。

ドライブモニターに表示させると、他 の走行に関する情報や自動表示され る警告メッセージと同時に表示させ ることができます。

表示・選択方法は、「ディスプレイの設定変更」を参照してください。

ドライブモニターで表示中の情報は、 トリップインフォメーション画面では 表示されなくなります。



ディスプレイの設定変更

停車した状態で、「カスタマイズ」 画面が表示されるまでDISPスイッ チを押す



② DISP スイッチを押し続ける 設定項目の選択画面が表示されます。



3 設定変更を行う項目を選択し、 DISP スイッチを押し続ける

DISP スイッチを押すたびに、カーソルが次の項目へ移動します。

目的の項目にカーソルを合わせ、DISPスイッチを押し続けると、その項目の設定画面が表示されます。



4 設定を変更する

DISP スイッチを押すとカーソルが移動します。

目的の項目にカーソルを合わせ、DISPスイッチを押し続けると、設定が変更され、手順 3 の画面にもどります。

5「戻る」を選択して DISP スイッチ を押し続ける

手順 1 の画面にもどります。 (「戻る」の確定操作を行わなくても、数 秒後に自動で、手順 1 の画面にもど ります)



項目選択 DISPスイッチ短押しで 項目を選択し長押しすると 項目を決定します EV走行表示 初期設定 戻る

□知識

■システムチェック表示

パワースイッチを ON モードにしたとき、「SYSTEM CHECK」と表示されます。

■外気温表示について

次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- ●停車しているときや、低速走行(約20km/h以下)のとき
- ●外気温が急激に変化したとき(車庫・トンネルの出入り口付近など)

■カスタマイズ画面について

次の場合はカスタマイズ画面が自動的に終了します。

- ●カスタマイズ画面表示中に警告メッセージが表示されたとき
- ●カスタマイズ画面表示中に走行し始めたとき

■タイヤ空気圧表示について★

- ●パワースイッチを ON モードにしたあと、空気圧が表示されるまで2、3分かかります。また、空気圧が調節された場合も、表示が更新されるまで2、3分かかります。
- ●電波状況等によって各タイヤ位置の情報を識別できないときは "---" と表示される ことがあります。
- ●タイヤ空気圧は温度によって変化します。また、表示された空気圧は、空気圧計で 測定した数値と異なる場合があります。

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

■カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイの設定を変更できます。 (カスタマイズ一覧: \rightarrow P. 450)

▲ 警告

■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、 車室内を暖めてからご使用ください。

例えばギヤ段表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにギヤ段の表示が切り かわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトす ることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ディスプレイの設定を変更するとき

ハイブリッドシステムが作動している状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素(CO)により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■ディスプレイの設定を変更するとき

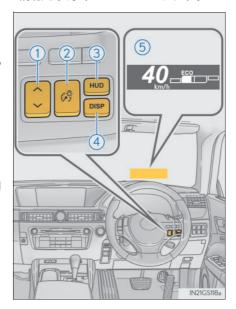
補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

ヘッドアップディスプレイ★

機能概要

ヘッドアップディスプレイは、フロントウィンドウに現在の車速やナビゲーションシステムのルート案内表示などの情報を表示することができます。

- (1) 表示位置調整スイッチ
- ② 表示輝度調整スイッチ 表示輝度はお好みの明るさに調節する ことができます。
- ③ HUD (ヘッドアップディスプレイ) メインスイッチ
- (4) DISP スイッチ
- (5) ヘッドアップディスプレイ 表示輝度は、周囲の明るさに応じて自 動的に調整されます。



ヘッドアップディスプレイの表示内容

● 車速表示

● ハイブリッドシステムインジケーター

 $(\to P. 95)$

● タコメーター

● シフトポジション・シフトレンジ表示 (→ P. 179) 選択されているシフトポジションまたはシフトレンジを表示します。

● レーン表示 (→ P. 96) 交差点にさしかかったとき、自動で車線・進行方向などのレーン情報が表示されます。

ルート案内表示 (→ P. 95)
 ナビゲーションシステムで、ルート案内を実行しているとき使用できます。
 交差点に近付いたとき、ヘッドアップディスプレイにルート案内(進行方向の矢印)が表示されます。

● 歩行者検知表示(ナイトビュー)★

 $(\to P. 96)$

● 車線逸脱警報表示 (LKA [レーンキーピングアシスト]) *

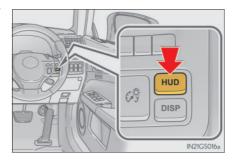
(→ P. 390)

- 接近警報表示 (レーダークルーズコントロール) * (→ P. 389)
- 衝突警告表示 (プリクラッシュセーフティシステム) ★ (→ P. 389)

ヘッドアップディスプレイの切りかえ

■ HUD メインスイッチ

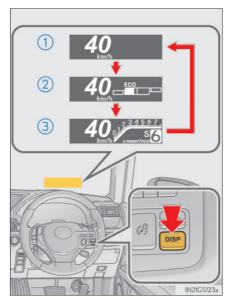
ヘッドアップディスプレイのON/ OFF を切りかえる



■ DISP スイッチ

押すたびに車速以外の表示が次のように切りかわります。

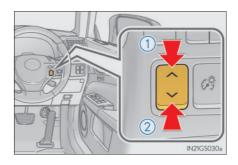
- 1 非表示
- ② ハイブリッドシステムインジ ケーター
- ③ タコメーター



見やすく調整する

■ 表示位置の調整

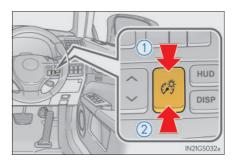
- (1) 表示位置を上げる
- ② 表示位置を下げる



■ 表示輝度の調整

表示輝度は9段階あり、周囲の明るさに応じて自動で調整されますが、手動で調整することもできます。

- (1) 明るくする
- (2) 暗くする

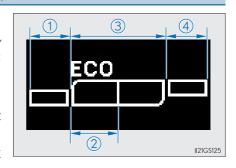


ハイブリッドシステムインジケーター

チャージエリア

回生ブレーキ機能により、エネル ギーを回収している状態を示しま す。

- ② ハイブリッドエコエリア ガソリンエンジンの動力を使用しない状況を多く含む状態を示します。 ガソリンエンジンは、各種の条件により自動的に停止・再始動します。
- ③ エコエリア エコ運転 (環境に配慮した走行)を している状態を示します。
- ④ パワーエリア 全開走行時など、エコ運転の範囲を 超えている状態を示します。

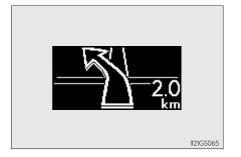


ルート案内表示

交差点に接近すると、進路方向を矢印 で指示します。

交差点から約 150 メートル *1 まで接近すると、案内表示が開始され、交差点までの残距離 *2 が表示されます。

- ** 1 レーン表示機能が OFF のときは、約 300 メートル手前から、案内表示が 開始されます。
- **2 50 メートルずつ減算表示され、交差点を通過すると表示が消えます。

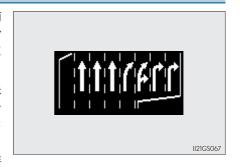


レーン表示

交差点にさしかかると交差点の手前(約300メートル以内)では、レーン表示(レーンと車速表示)に自動的に切りかわります。

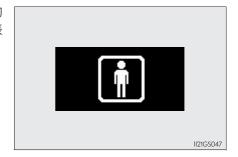
交差点の約300メートル手前から表示がはじまり、交差点を通過するとレーン表示が消え、もとの表示にもどります。

必要に応じて、レーン表示の表示/非 表示を切りかえることができます。



ナイトビュー歩行者検知表示★

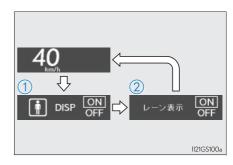
映像から歩行者を検知すると自動的 にナイトビュー歩行者検知表示が表 示されます。(→ P. 261)



表示のカスタマイズ

次の画面の表示/非表示を切りかえることができます。

- (1) ナイトビュー歩行者検知表示★
- (2) レーン表示



■ 設定変更のしかた

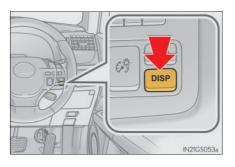
画面がかわるまで DISP スイッチを押し続け、設定を変更したい項目が表示されるまでくり返す

ヘッドアップディスプレイが ON で車速が8 km/h 未満のときに操作ができます。

② DISP スイッチを押して ON / OFF を切りかえる

スイッチを押すたびにON/OFFが切りかわります。

スイッチを操作しないまましばらく 放置した場合は、自動で設定が終了 します。



┛知識

■ヘッドアップディスプレイについて

サングラス (特に偏光サングラス) を着用していると、ヘッドアップディスプレイの表示が見づらくなる場合があります。表示が見づらい場合は、輝度を調整するか、サングラスをはずしてください。

■ヘッドアップディスプレイの表示について

ヘッドアップディスプレイを OFF にしたときは、パワースイッチを OFF にしたあとで再度 ON モードにしても、ヘッドアップディスプレイは OFF のままです。

■補機バッテリー端子の脱着をしたとき

ヘッドアップディスプレイのカスタマイズ設定がリセットされます。

■レーン表示について

地図データに情報のない交差点では、レーン表示は行われません。また交差点によっては、レーン表示と実際の交差点形状が異なる場合があります。現状の標識、道路形状に従って走行してください。

▲ 警告

■ヘッドアップディスプレイ使用上の留意点

映像の明るさ、および表示位置は、安全運転に支障がないよう適切な状態に調整してください。

調整が不適切だと運転者の視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれが あり危険です。

⚠ 注意

■ヘッドアップディスプレイ映写部についての注意

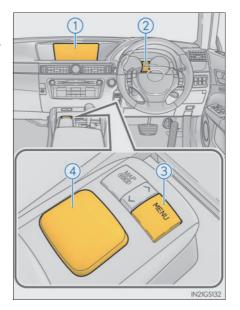
- ●映写部の付近に飲み物を置かないでください。水やその他の液体が映写部にかかると、 装置が故障する原因になります。
- 映写部の上にものを置いたり、シールなどを 貼り付けたりしないでください。 ヘッドアップディスプレイの表示のさまた げとなります。
- 映写部の内部にふれたり、とがったものを押し付けたりしないでください。装置が故障する原因となります。



エネルギーモニター/燃費画面/ Harmonious Driving Navi. 画面

ハイブリッドシステムの状態を、マルチインフォメーションディスプレイおよびナビゲーション画面に表示します。

- (1) ナビゲーション画面
- ② マルチインフォメーションディス プレイ
- ③ MENU ボタン
- 4 リモートタッチノブ



エネルギーモニターの見方

■ ナビゲーション画面表示

- | 1 | リモートタッチの MENU ボタンを押しメニュー画面を表示させる
- **2** 「情報・G」を選択する



3 「エコ情報」を選択する

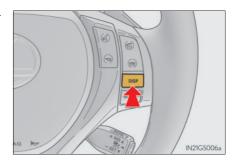
燃費画面またはHarmonious Driving Navi. 画面が表示されたときは、「エ ネルギー!を選択します。



エネルギーモニターは、サイド画面にも表示することができます。別冊 「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

■ マルチインフォメーションディスプレイ表示

DISPスイッチを押してエネルギー モニターを表示させる





表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

燃費画面の見方

燃費画面は、サイド画面にも表示することができます。別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

- 1 リモートタッチの MENU ボタンを押し、「情報・G」を選択する
- 2 情報画面の「エコ情報」を選択する
- 3 エネルギーモニターまたは Harmonious Driving Navi. 画面が表示されたときは、「燃費」を選択する

■ 毎分燃費の見方

区間燃費画面が表示されたときは、「毎分燃費」を選択します。

- (1) 履歴消去
- ② 過去 15 分間の 1 分ごとの燃費 (平均燃費)
- ③ 過去 15 分間の 1 分ごとのエネルギー回収量■マーク1つが50Whです。
- 4 ハイブリッドシステム始動後平 均車速
- (5) ハイブリッドシステム始動後走 行時間
- (6) 航続可能距離 (→ P. 105)

平均燃費はパワースイッチを ON モードにしてからと、前回走行時で 色分けして表示されます。

表示される平均燃費は、参考として 利用してください。

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。



■ 区間燃費の見方

毎分燃費画面が表示されたときは、「区間燃費」を選択します。

- (1) 平均燃費更新
- ② 履歴消去
- ③ 最高燃費表示
- 4 平均燃費表示
- (5) 過去平均燃費表示

平均燃費は最後に更新してからと平均、過去の平均で色分けして表示されます。

表示される平均燃費は、参考として利 用してください。

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。



Harmonious Driving Navi. 画面の見方

- 1 リモートタッチの MENU ボタンを押し、「情報・G」を選択する
- 2 情報画面の「エコ情報」を選択する
- 3 エネルギーモニターまたは燃費画面が表示されたときは、「Driving Navi.」 を選択する



(1) ステータス/ポイント表示※

エコ運転の採点結果や走行情報を G-BOOK センターに送信し、計算されたデータをもとにポイントやステータスを表示します。

ステータスはエコ運転を継続することでブロンズ、シルバー、ゴールドの順に ランクがアップします。 2 エコレベルインジケーター

エコレベルメーターのレベルに応じて Good・Excellent が表示されます。レベルが低い場合は表示されません。

③ エコレベルメーター

ハイブリッドシステムインジケーターの針がエコエリア内の状態を継続させる ことなどでメーターが増加します。

4) エコレベル平均値

エコレベルメーターの平均値を表示します。

5 毎分燃費(前回ハイブリッドシステム始動~ハイブリッドシステム停止)

1分ごとの平均燃費を最大15分前までグラフ表示します。

今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

(6) 毎分燃費(今回ハイブリッドシステム始動~現在)

1分ごとの平均燃費を最大 15分前までグラフ表示します。

今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

(7) 更新スイッチ※

走行情報などを G-BOOK センターへ送信し、ステータス/ポイント表示を更新します。

8 エコカルテスイッチ

お車から送信された情報を反映して、月間の走行距離・ガソリン消費量・CO²排出量・平均燃費・獲得ポイント・エコ運転スコアが表示されます。

- 9 アドバイススイッチ
 - ・ドライバーの運転操作についてエコ運転の観点で診断した結果を表示します。良いところを確認したり、さらに良くするにはどうしたら良いかを知ることができます。
 - ・エコ運転や環境に関する豆知識を表示します。
 - ** G-Link サービスをご利用されているときに表示されます。 詳しくは、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

□ 知識

■過去の区間平均燃費の記録を更新するには

区間燃費画面で「更新」を選択すると、平均燃費の値とグラフが更新され、新たに平 均燃費の記録を開始します。

■燃費データをリセットするには

「履歴消去」を選択すると、燃費データがリセットされます。

■航続可能距離について

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を示します。

表示される距離は、過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際 に走行できるとは限りません。

■G-BOOK センターへ送信する走行情報について

G-BOOK センターへ送信する走行情報は、ナビゲーションシステムが算出するものであり、マルチインフォメーションディスプレイに表示される走行距離や燃費等とは一致しないことがあります。.

■ Harmonious Driving Navi. 画面について

パソコンや携帯電話のユーザーサイトでもステータスなどをみることができます。

各部の操作

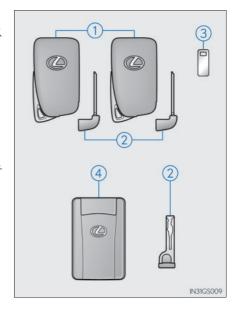
| 3-1. +- |
|--------------------|
| + 108 |
| 3-2. ドアの開閉、ロックのしかた |
| スマートエントリー& |
| スタートシステム113 |
| ワイヤレスリモコン123 |
| ドア125 |
| トランク129 |
| 3-3. シートの調整 |
| フロントシート136 |
| ドライビングポジション |
| メモリー139 |
| ヘッドレスト143 |
| 3-4. ハンドル位置・ミラー |
| ハンドル145 |
| インナーミラー146 |
| ドアミラー148 |
| 3-5. ドアガラス・ムーンルーフの |
| 開閉 |
| パワーウインドウ151 |
| ムーンルーフ154 |

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

- (1) 電子キー
 - ・スマートエントリー&スタートシス テムの作動 (→ P. 113)
 - ・ワイヤレス機能の作動 (→ P. 123)
- 2 メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート
- (4) カードキー

スマートエントリー&スタートシステ ムの作動 (→ P. 113)

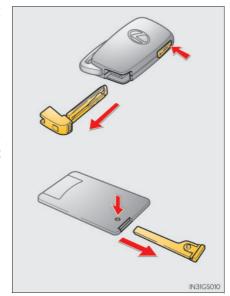


メカニカルキーを使うには

メカニカルキーを取り出すには、解除 ボタンを押してキーを取り出してく ださい

メカニカルキーは挿し込み方向に指定 のある片溝キーです。キーシリンダー に挿し込めないときは、キー溝面の向 きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。(→ P. 430)



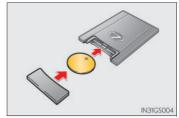
□ 知識

■カードキーについて

- カードキーは非防水です。
- ●カードキーに内蔵されているメカニカルキーは、カードキーが正常に作動しないなどの緊急時にのみ使用してください。
- ●メカニカルキーが取り出しにくいときは、ボールペンの先などでロック解除ボタンを押してください。引き出しにくいときは、コインなどで引っかけてください。
- ●メカニカルキーをカードキーへ入れるとき は、ロック解除ボタンを押しながら奥まで入 れてください。



■電池カバーがはずれたときやぬれたときに電池をはずした場合は、電池の+極をレクサスエンブレム面側にして取り付けてください。



■駐車場などでキーを預けるとき

必要に応じてトランクオープナーメインスイッチを OFF にして、グローブボックスを施錠します。 (\rightarrow P. 130, 282)

メカニカルキーを取り出し、電子キーのみを渡してください。

■メカニカルキーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのメカニカルキーから、レクサス販売店でレクサス純正品の新しいメカニカルキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所(財布の中など)に保管してください。

■航空機に乗るとき

航空機に電子キーを持ち込む場合は、航空機内で電子キーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

⚠ 注意

■キーの故障を防ぐために

- ●落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- ■湿度の高いところに長時間放置しない
- ●ぬらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- ●キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- ●分解しない
- ●電子キー表面にシールなどを貼らない
- ●テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■電子キー取り扱いの注意

電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- ●電池交換時以外は不用意に分解しないでください。分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- ●必ず日本国内でご使用ください。
- ■認証ラベルをはがさないでください。認証ラベルのないものの使用は禁止されています。

■キーを携帯するとき

電源を入れた状態の電化製品とは 10cm 以上離して携帯してください。10cm 以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■スマートエントリー&スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キー(カードキーを含む)をお持ちください。

■電子キーを紛失したとき

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーとカードキーをすべてお持ちのうえ、ただちにレクサス販売店にご相談ください。

1 注意

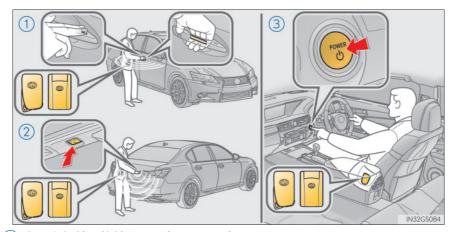
■カードキーの取り扱いについて

- メカニカルキーをカードキーに挿し込むときは、無理な力を与えないでください。 カードキーが破損するおそれがあります。
- ●電池やカードキーの電極がぬれた場合は、電池が腐食するおそれがあります。 水の中に落としたときや飲料水などをこぼしたときは、ただちに電池カバーをはず して電池および電極部分をふき取ってください(電池カバーをはずすには、軽く 持って引き抜いてください)。電池が腐食した場合は、レクサス販売店で電池を交 換してください。
- ●電池カバーを取りはずす場合は、押しつぶしたりドライバーなどを使用したりしないでください。
 - 無理にこじ開けようとすると、曲がったり傷を付けたりするおそれがあります。
- ●電池カバーをひんぱんに取りはずすと、電池カバーが抜けやすくなることがあります。
- ●電池を取り付けるときは、必ず電池の向きを確認してください。電池の向きを間違えると、電池が急激に消耗する原因になります。
- ●次のような使い方をした場合は、カードキーの表面に傷を付けたり塗装がはがれたりするおそれがあります。
 - 小銭や鍵などの硬いものと同時に携帯したとき
 - シャープペンシルの先端などの鋭利なものでこすったとき
 - ・シンナーやベンジンでカードキーの表面をふいたとき

スマートエントリー&スタートシステム

機能概要

電子キー (カードキー含む) をポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。(必ず運転者が携帯してください)



- ドアを解錠・施錠する (→ P. 114)
- (2) トランクを開ける (→ P. 114)
- ③ ハイブリッドシステムを始動する (→ P. 169)

□ 知識

■作動の合図

ドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

■解錠操作のセキュリティ機能

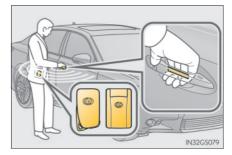
解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

ドアの解錠・施錠

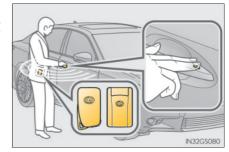
ハンドルを握って解錠する

ハンドル裏面のセンサー部に確実に触 れてください。

施錠操作後3秒間は解錠できません。



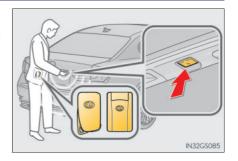
ドアハンドル上側のロックセンサー 部(ハンドルのくぼみ部)にふれ施錠 する



トランクを開ける

スイッチを押す

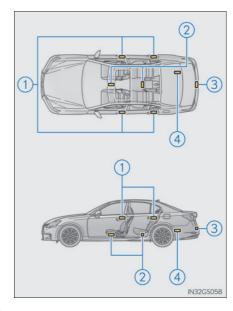
パワートランクリッド装着車の場合は 自動で全開します。



アンテナの位置と作動範囲

■ アンテナの位置

- (1) 車外アンテナ
- (2) 車内アンテナ
- ③ トランク外アンテナ
- (4) トランク内アンテナ



■ 作動範囲(電子キーの検知エリア)

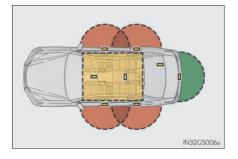
(二:ドアの施錠・解錠時

ドアハンドルから周囲約70cm以内で電子キーを携帯している場合に作動します。(電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します)

(二):トランクの解錠時

トランクオープンスイッチから周囲約70cm以内で電子キーを携帯している場合に作動します。

:ハイブリッドシステム始動時またはパワースイッチ切りかえ時車内で電子キーを携帯している場合に作動します。



」知識

■ドアハンドル上側のロックセンサーで施錠できないとき

ドアハンドル上側のロックセンサー部にふれ ても施錠できないときは、上下のロックセン サー部に同時にふれてください。



■警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、警告音が鳴ったり、マルチインフォ メーションディスプレイに警告が表示されることがあります。警告が表示されたとき は、ディスプレイの表示をもとに適切に対処してください。(→ P. 396)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

| 警告音 | 状況 | 対処方法 |
|---------------------|--|--------------------------------------|
| 車外から"ピー"と 5 秒間鳴る | いずれかのドアが開いて いるときにスマートエン トリー&スタートシステ ムもしくは、ワイヤレス機 能で施錠しようとした | 全ドアを閉めたあと、再度 施錠する |
| 3 位間隔る | 全ドアが施錠されている 状態で電子キーをトラン ク内に置いたままトラン クを閉じた | をトラントランク内から電子キーをトラントを取り出した後、トランク |
| 車内から"ピー"と 鳴り続ける | 運転席ドアが開いている 状態でパワースイッチを アクセサリーモードにし た (パワースイッチがアク セサリーモードのとき運 転席ドアを開いた) | パワースイッチを OFF に したあと、運転席ドアを閉 める |

■解錠ドアの切りかえ機能

ワイヤレスリモコンを使用して、スマートエントリー&スタートシステムで解錠できるドアの設定を切りかえることができます。

- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 オートアラームの侵入センサーを停止する (操作中のオートアラーム誤作動防止:→ P. 70)

操作を行うごとに次のように設定が切りかわります。(続けて切りかえ操作を行う場合は、ボタンから手を離したあと5秒以上間隔をあけてから手順 3 を行ってください)

| マルチインフォメーション ディスプレイ表示 | 解錠できるドア | ブザー音 |
|--------------------------|---------------------------|------------------------------|
| . | 運転席のドアハンドルを 握ると運転席のみ解錠 | 車外:"ピピツ"(3 回) |
| 8 | 運転席以外のドアハンド ルを握ると全席解錠 | 車内:"ポーン"(1 回) |
| | いずれかのドアハンドル を握ると全席解錠 | 車外:"ピピッ"(2回) 車内:"ポーン"(1回) |

オートアラームの誤作動防止のため、登録後はいったんワイヤレスリモコンで解錠し、ドアを開閉してください。(**3** ボタンを押して 30 秒以内にドアを開けなかった場合は、ドアが再び施錠されオートアラームが設定されます)

オートアラームが作動し警報が鳴ってしまったときは、作動を停止する操作を行ってください。 $(\rightarrow P.~67)$

■節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両の補機バッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

- ●次の状況では、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。
 - ・車の外約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
 - 5日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- ●14日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

■電子キーの節電モードについて

節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電 池の消耗を抑えることができます。

電子キーの **全** を押しながら、 を 2 回 押し、電子キーのインジケータが4回光ることを確認してください。

節電モード中は、スマートエントリー& スタートシステムを使用できません。 節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。



■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。 (対処方法: \rightarrow P. 430)

- ●電子キーの電池が消耗しているとき
- ●近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- ●無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- ■電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・金属製の財布やかばん。
 - 小銭
 - カイロ
 - · CD や DVD などのメディア
- ●近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- ■電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
 - ・ 他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
 - ・パソコンや携帯情報端末(PDA など)
 - ・デジタルオーディオプレーヤー
 - ポータブルゲーム機器
- ●リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

■ご留意いただきたいこと

- ●電子キーが作動範囲内(検知エリア内)にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
 - ・ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・トランクを開けるときに電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
 - ・ハイブリッドシステム始動時またはパワースイッチの切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上・ドアポケット、またはグローブボックス内などに置かれていた場合
- ●インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があり、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- ■電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では、解錠できません。
- ●車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、ハイブリッドシステムの 始動が可能になる場合があります。
- ●電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。(解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約30秒後に自動的に施錠されます)
- ●車両に近い位置に電子キーがあるときにワイヤレスリモコンなどで施錠を行うと、 スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。(ワイヤレスリモコンで解錠すると復帰します)

■施錠時の留意事項

- ●手袋を着けてロックセンサーにふれた場合、施錠が遅れたり、施錠されなかったりすることがあります。その場合、手袋をはずしてロックセンサーにふれてください。
- ●キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠/解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。
 - ・電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する(電子キーの盗難に注意してください)
 - ・電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー&スタートシステムの作動を停止する (→ P. 118)
- ●車内にキーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、警報がマルチインフォメーションディスプレイに表示され、車外のブザーが吹鳴することがあります。その場合は全ドアを施錠すれば警報は表示されなくなります。
- ●ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着した場合、センサーが反応しない場合があります。反応しない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作するか、ドアハンドル下部のロックセンサーを使って操作してください。
- ●ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

■解錠時の留意事項

- ●急なドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ急に入ってドアハンドルを操作したときは、解錠されない場合があります。その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどし、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- ●手袋を着けてドアハンドルを握った場合は、解錠が遅れたり、解錠されなかったり することがあります。その場合、手袋をはずしてハンドル裏面のセンサー部にふれ てください。
- ●キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠/解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。・電子キーを車両から2m以上離れた場所に保管する(電子キーの盗難に注意してください)
 - ・電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー&スタートシステムの作動 を停止する (→ P. 118)
- ●作動範囲内に他の電子キーがあるときは、ドアハンドルを握ってから解錠するまで の時間が少し長くなる場合があります。
- ●ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

■長期間運転しないとき

- ●盗難防止のため、電子キーを車両から 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。(→P. 448)

■オートアラームについて

スマートエントリー&スタートシステムで施錠するとオートアラームが設定されます。 $(\rightarrow P. 67)$

■システムを正しく作動させるために

■電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。:→P. 116)

トランク内に電子キーを置かないでください。
 電子キーの場所(応急用タイヤ★付近、トランク内側の端)、状況(金属製のかばんの中、金属製のものの付近など)、または周囲の電波環境によっては、キー閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。(→ P. 131)

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- トア・トランクの施錠・解錠:→P. 430
- ハイブリッドシステムの始動:→P. 431

■電池の消耗について

- ■電池の標準的な寿命は1~2年です。(カードキーの電池は1年半程度で消耗します)
- ●電池残量が少なくなると、ハイブリッドシステムを停止した際に車内から警告音が鳴ります。 $(\rightarrow P.400)$
- ●電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
 - ・作動範囲が狭くなった
 - ・電子キーの LED が点灯しない
- ●電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子 キーを置かないでください。
 - · TV
 - ・パソコン
 - ・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・ 電気スタンド
 - · 電磁調理器

■電池が切れたとき

→ P. 333

■カスタマイズ機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。 (カスタマイズ一覧: \rightarrow P. 448)

- ■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき
 - ●ドアの施錠・解錠:ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・ 解錠ができます。(→P. 123, 430)
 - ●ハイブリッドシステムの始動・パワースイッチのモード切りかえ:→ P. 431
 - ●ハイブリッドシステムの停止:→P. 170

▲ 警告

■電波がおよぼす影響について

- ●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、 室内アンテナ・車外アンテナ (→ P. 115) から約 22cm 以内に近付かないように してください。電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動 器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器 をお使いの方は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確 認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

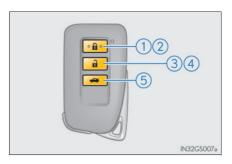
スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。 詳しくはレクサス販売店にお問い合わせください。

ワイヤレスリモコン

機能概要

ドアを施錠・解錠、トランクを解錠できます。

- (1) 全ドアを施錠する
- ② ドアガラスとムーンルーフ★を閉める(押し続ける)*
- (3) 全ドアを解錠する
- ④ ドアガラスとムーンルーフ★を開く(押し続ける)**
- (5) トランクを開ける (押し続ける) パワートランクリッド装着車の場合は 自動で全開します。
 - ※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。(→ P. 448)



□知識

■作動の合図

ドア:

ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

トランク:

ブザーで知らせます。

ドアガラス・ムーンルーフ★:

ブザーで知らせます。

■半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとすると、ブザーが鳴ります。 ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

■解錠操作のセキュリティ機能

→ P. 113

■オートアラームについて

ワイヤレスリモコンで施錠するとオートアラームが設定されます。(→ P. 67)

■機能が正常に働かないおそれのある状況

→ P. 118

■ワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

ドア・トランクの施錠・解錠: → P. 430

■電池の消耗について

 \rightarrow P. 121

■電池が切れたとき

→ P. 333

■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはレクサス販売店へ ご相談ください。

■カスタマイズ機能

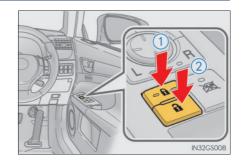
トランク解錠操作の設定などを変更できます。(カスタマイズ一覧:→P.448)

ドア

ドアの解錠/施錠

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレス機能・ドアロックス イッチを使って施錠・解錠できます。

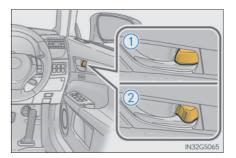
- ◆ スマートエントリー&スタートシステム
 - → P. 113
- ◆ ワイヤレス機能
 - → P. 123
- ◆ ドアロックスイッチ
 - (1) 全ドアを施錠する
 - (2) 全ドアを解錠する



◆ ロックレバー

- (1) ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。



■キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

- |1| ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときや、車内に 電子キーが放置されているときは施錠されません。

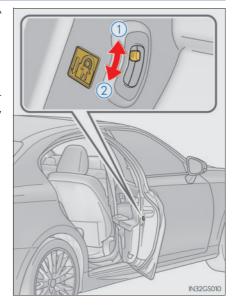
キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

チャイルドプロテクター

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内か ら開かなくなります。

- 1) 解錠
- (2) 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開け られないようにできます。両側のリヤ 席ドアを施錠側にしてください。



オートドアロック・アンロック機能

次の機能を設定・解除することができます。

設定変更のしかたについては、P. 448 を参照してください。

| 機能 | 作動内容 |
|---------------|---|
| 車速感応オートドアロック | 速度が約 20 km/h 以上になると全ドア が施錠されます。 |
| シフト操作連動ドアロック | ハイブリッドシステムが作動中にシフト レバーを P から動かすと全ドアが施錠さ れます。 |
| シフト操作連動アンロック | シフトレバーをPに入れると全ドアが解 錠されます。 |
| 運転席ドア開連動アンロック | パワースイッチを OFF にしてから 10 秒 以内に運転席ドアを開けると全ドアが解 錠されます。 |

□ 知識

■衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。 衝撃の度合いや事故の状況によっては作動しないことがあります。

■メカニカルキーでの施錠・解錠

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 430)

■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

■不正キーの使用について

指定のメカニカルキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空まわりして解錠できません。

■カスタマイズ機能

キー操作によって解錠されるドアの設定などを変更できます。 (カスタマイズ一覧:→P.448)

▲ 警告

■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害に およぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- ●走行中はドア内側のドアレバーを引かない 特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してく ださい。
- ●お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からド アが開かないようにする

■ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期 せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してくだ さい。

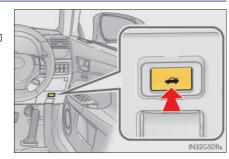
トランク

トランクオープナーやスマートエントリー&スタートシステム、ワイヤレス リモコンを使って開けることができます。

パワートランクリッド装着車は、トランククローザーで閉めることもできます。

車内からトランクを開ける

トランクオープナースイッチを押す パワートランクリッド装着車は、自動 で全開します。



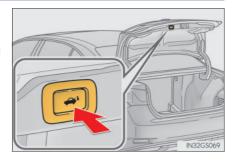
車外からトランクを開ける

- スマートエントリー&スタートシステム
 - → P. 113
- ワイヤレスリモコン
 - → P. 123

トランククローザー(パワートランクリッド装着車)

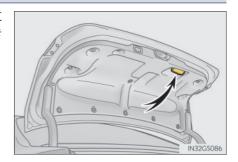
スイッチを押すとブザーが鳴り、トランクが自動で閉まります。

トランクが閉まる途中でスイッチを押すと、トランクは再び開きます。



トランクを閉めるとき

トランクグリップを持って、横方向に 力をかけないようにトランクを引き 下げ、外から押して閉めてください。



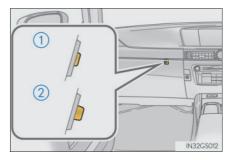
トランクオープナーを一時的に無効にする

トランクに積んだ荷物の盗難防止などのために、トランクオープナースイッチを一時的に無効にすることができます。

グローブボックス内のメインスイッチを OFF にする

- (1) ON
- OFF

ワイヤレスリモコン・スマートエント リー&スタートシステムでもトランク を聞けられなくなります。



□ 知識

■トランクランプ

トランクを開けたとき、トランクランプが点灯します。

■イージークローザー (パワートランクリッド装着車)

トランクが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き自動で閉まります。

- ●パワースイッチが OFF になっていても、イージークローザーは作動します。
- イージークローザーが作動しないときには、いったんトランクを半分以上開けてから、再度閉めてください。

■トランク内キー閉じ込み防止機能について

- ●すべてのドアが施錠されている場合、トランク内に電子キーを置いたままトランク を閉めると、警告音が鳴ります。この場合、車外にあるトランクオープンスイッチ で開けられます。
- すべてのドアが施錠されている状態で、予備のキーをトランクに入れたときも、キー 閉じ込み防止機能が働き、トランクを開けることができます。盗難防止のため、車 から離れるときは必ずすべての電子キーを携帯してください。
- ●すべてのドアが施錠されている状態でトランク内に電子キーを置いても、電子キーが置かれた場所や、周囲の電波状況によっては、トランク内の電子キーを検知できないことがあります。この場合は、キー閉じ込み防止機能が働かず、トランクを閉めたときに施錠されてしまいます。トランクを閉めるときには、必ず電子キーの所在を確認してください。
- ●ドアがひとつでも解錠されている場合は、キー閉じ込み防止機能は働きません。この場合は、車内のトランクオープナーでトランクを開けてください。

■過負荷防止機構(パワートランクリッド装着車)

トランクリッドの上に無理な力がかかっていると作動しません。

■落下防止機構(パワートランクリッド装着車)

トランクリッドが自動で開くときに無理な力がかかると、トランクリッドが急激に落下しないようにブレーキをかけます。

■挟み込み防止機構(パワートランクリッド装着車)

トランクが閉まる途中でトランクリッドが異物を挟むと、作動が停止して開きます。

■メカニカルキーについて

トランクはメカニカルキーを使用して開けることもできます。(→ P. 430)

■駐車場などでキーを預けるときは

→ P. 110

▲ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。

■走行する前に

- ●走行前にトランクが閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●トランクの中でお子さまを遊ばせないでください。誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。
- ●お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。不意にトランクリッドが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■走行中の留意事項

トランク内には絶対に人を乗せないでください。

急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

▲ 警告

■トランクの使用にあたって

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- ●トランクを開ける前に、トランクリッド上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでトランクリッドが落下するおそれがあります。
- ●トランクを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- ●人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- ●強風時の開閉には十分注意してください。トランクリッドが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- ●半開状態で使用すると、トランクリッドが落ちて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもトランクの開閉がしにくく、急にトランクが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずトランクが全開で静止していることを確認して使用してください。



- ●トランクを閉めるときは、トランクリッドで 指などを挟まないよう十分注意してください。
- ●トランクは必ず外からトランクリッド上面 を軽く押して閉めてください。トランクグ リップで直接トランクを閉めると、手や腕を 挟むおそれがあります。

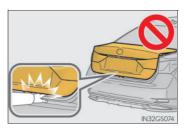


●トランクリッドにレクサス純正品以外のアクセサリー用品を取り付けないでください。トランクリッドの重量が重くなると、開いたあとに落ちるおそれがあります。

■イージークローザーについて(パワートランクリッド装着車)

トランクが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き完全に自動で閉まります。

また、作動し始めるまでに数秒かかります。指 などをトランクのあいだに挟まないように注 意してください。骨折など重大な傷害を受け るおそれがあり危険です。



▲ 警告

■パワートランクリッドについて(パワートランクリッド装着車)

パワートランクリッドの操作時は、次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- ●周囲の安全を確かめ、障害物がないか、身のまわりの品が挟み込まれる危険がない か確認してください。
- ●人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」 をしてください。
- ●トランクリッドが自動で開いている途中でパワートランクリッドスイッチを押すと、作動が停止します。坂道などの傾斜地では、停止させたとき急に開いたり閉じたりするおそれがあるため、十分注意してください。
- ●傾斜した場所では、自動で開いた後にトランクリッドが落ちる場合があります。トランクは必ず全開で静止していることを確認して使用してください。
- ●次のような場合、システムが異常と判断し自動作動が停止することがあります。手動作動に切りかわり、急にトランクリッドが落ちるなどして思わぬ事故につながるおそれがあるため、十分に注意してください。
 - ・自動作動中、障害物に干渉したとき
 - ・ハイブリッドシステム停止時でパワートランクリッドが自動作動しているときに、パワースイッチを ON モードにしたりハイブリッドシステムを始動したりして、補機バッテリー電圧が急に低下したとき
- ●トランクリッドにレクサス純正品以外のアクセサリー用品を取り付けないでください。自動で作動できずにパワートランクリッドが故障したり、開いたあとに落ちるおそれがあります。

■挟み込み防止機能(パワートランクリッド装着車)

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- ●挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- ●挟み込み防止機能は、トランクが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- ●挟み込み防止機能は、挟まれるものの形状や挟まれ方によっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

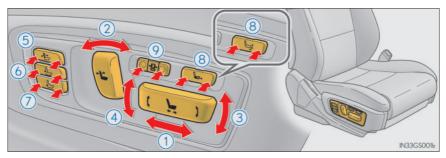
⚠ 注意

- ■イージークローザーの故障を防ぐために(パワートランクリッド装着車) イージークローザーの作動中は、トランクに無理な力をかけないでください。
- ■パワートランクリッドの故障を防ぐために(パワートランクリッド装着車)
 - ●パワートランクリッドを作動させる前に、トランクリッドの上に雪や荷物などが乗っていないことを確認してください。また、凍結によるトランクの貼り付きがないことを確認してください。トランクリッドに無理な力がかかっている状態で作動させると、故障の原因になります。
 - ●パワートランクリッドの作動中は、トランクリッドに無理な力をかけないでください。

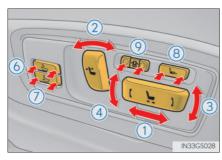
フロントシート

調整のしかた

▶ Aタイプ

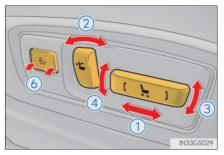


▶ Bタイプ



- 1 前後位置調整
- (2) リクライニング調整
- ③ クッション前端の上下調整
- (4) クッション後端の上下調整
- ⑤ 背もたれ上部角度調整★
- 6 腰部位置調整(ランバーサポート)

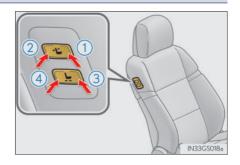
▶ Cタイプ



- 7 腰部位置調整 (ペルビックサポート) ★
- 8 クッションの長さ調整★/カフサポート角度調整(助手席のみ)★
- 9 背もたれ側部角度調整 (サイドサポート)★

■助手席側面スイッチ★

- (1) 背もたれを前に傾ける
- (2) 背もたれをうしろに傾ける
- ③ シートを前方に動かす
- (4) シートを後方に動かす



□ 知識

■パワーイージーアクセスシステム

パワースイッチのモード切りかえ・運転席のシートベルト脱着に連動して、運転席シートとハンドルが動きます。また、助手席ドアを開けると、助手席シートが動きます。 (\rightarrow P. 141)

▲ 警告

■シートを調整するとき

- ●同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- ●シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。 指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■リクライニング調整について

背もたれは必要以上に倒さないでください。

必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転席からの助手席操作について(助手席側面スイッチ装着車)

助手席に乗員がいるときは操作をしないでください。また、操作中は、助手席に座 らないでください。

足を挟むなどして助手席乗員がけがをするおそれがあります。

■前後調整やカフサポート★の操作をするとき

足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

▲ 警告

■カフサポートの使用について(カフサポート装着車)

- ●走行中は角度調整をしないでください。 急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場 合死亡につながるおそれがあります。
- ●カフサポート部分に座らないでください。 シートベルトが適切に着用できないため、急ブレーキや事故のときに体がシートか ら投げ出され、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがありま す。
- ●カフサポートの上には絶対に乗らないでください。 カフサポートが破損し、転倒などして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につ ながるおそれがあります。
- ●つまずいてけがをするのを防ぐため、車を乗り降りする際はカフサポートを格納し てください。
- ●格納するときにシートの下に手や足を入れないでください。挟まれてけがをするお それがあります。

/ 注意

■運転席からの助手席操作について(助手席側面スイッチ装着車)

操作するときは助手席の上や足元に作動をさまたげるものがないことを確認してく ださい。シートに無理な力がかかり故障するおそれがあります。

■カフサポートの故障を防ぐために(カフサポート装着車)

- ●足元のスペースを確保しカフサポートの作動を妨げないようにしてください。
- カフサポート部分に重いものを乗せないでください。
- ●カフサポートを上げているときに、下にものを置かないでください。格納時にもの を挟み破損するおそれがあります。

ドライビングポジションメモリー

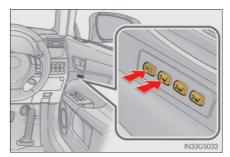
お好みのドライビングポジション(運転席・ハンドルの位置・ドアミラーの 角度)を登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。また、ドアの解 錠と連動させることもできます。

ドライビングポジションは3パターンまで登録できます。 助手席側のスイッチ★は助手席の位置を登録できます。

ポジションの登録

- 1 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 2 パワースイッチを ON モードにする
- **3** 運転席・ハンドル・ドアミラー角度をお好みの位置に調整する(助手席の 位置を記憶させるときは、助手席をお好みの位置に調整する)
- 4 SET ボタンを押しながら、または SET ボタンを押したあと 3 秒以内 に 1 ~ 3 のうち登録したいボタン をブザーが鳴るまで押す

すでに同じボタンに登録されている場合は、上書きされます。

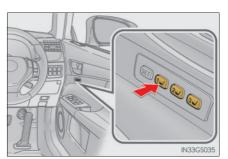


ポジションの呼び出し

- 1 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 2 パワースイッチを ON モードにする
- 1 ~ 3 のうち呼び出したいボタンを押す

助手席カフサポート装着車:

カフサポートは、上方向には作動しません。呼び出すときの位置より下に登録されている場合のみ作動します。



★:仕様により異なる装備やオプション装備

」知識

■ポジションの呼び出し作動を途中で止めたいとき

次のいずれかの操作をします。

- SET ボタンを押す
- ●1~3のボタンを押す
- ●シート調整スイッチのいずれかを操作する(シートのみ作動停止)

■登録できるポジション

▶ 背もたれ側部角度調整 (サイドサポート) 非装着車

腰部位置調整(ランバーサポート)以外の位置が登録できます。

▶ 背もたれ側部角度調整(サイドサポート)装着車

すべての位置が登録できます。

■カフサポート★の自動調整

ポジションの呼び出し時、インストルメントパネル周辺にクッションの先端が接触し そうになると、自動でカフサポートが格納されるよう調整します。

メモリーコール機能(運転席のみ)

ドアの解錠と連動してお好みのポジションを呼び出せます。

● 登録方法

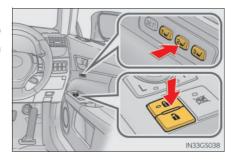
お好みのポジションをあらかじめ1~3のいずれかのボタンに登録しておき ます。

登録させたいキー(カードキーを含む)のみ携帯し、シフトレバーをPにし て運転席ドアを閉めてください。

車内にキーが2つ以上あると、正確に登録できません。

- |¶|パワースイッチを ON モードにし、連動させたいポジションを呼び出す
- 2 呼び出したポジションのボタンを 押しながら、ドアロックスイッチの 施錠側または解錠側をブザーが鳴 るまで押す

スマートエントリー&スタートシステ ムまたはワイヤレスリモコンでドアを 解錠して運転席ドアを開けると、ドラ イビングポジションが呼び出されま す。



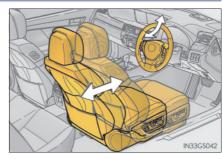
◆ 解除方法

解除させたいキーのみ携帯してください。 車内にキーが2つ以上あると、正確に解除できません。

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- **2** SET ボタンを押しながら、ドアロックスイッチの施錠側または解錠側をブザーが鳴るまで押す

パワーイージーアクセスシステム

運転者・助手席乗員が乗り降りしや すいよう、乗降時にオートアウェイ 機能/オートリターン機能が作動し ます。



- 隆車時のオートアウェイ機能(運転席・助手席)
 - ▶ 運転席

次のすべての操作を行ったとき、ハンドルが最前方・最上段に、運転席が 後方にそれぞれ移動します。

- ・シフトレバーをPに入れる
- ・パワースイッチを OFF にする
- ・シートベルトをはずす
- ▶ 助手席★

助手席シートの腰部位置(ランバーサポート)やカフサポート★などを調整をした場合、停車中に助手席ドアを開けると、降車しやすいよう、助手席がもとの状態にもどります。

■ 乗車時のオートリターン機能(運転席のみ)

次のいずれかの操作を行ったとき、ハンドルが手前に、運転席が前方にそれぞれ移動します。

- ・パワースイッチをアクセサリーモードにする
- シートベルトを着用する

□ 知識

■ドアの解錠と連動させたとき

運転席ドアを開けると運転席が登録したポジションまで動くように作動しますが、乗車しやすいように登録したポジションより少し後方でいったんシートが止まります。パワースイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする、またはシートベルトを装着すると、登録したポジションまでもう一度スライドします。

■パワースイッチ OFF 後の作動

運転席:

運転席ドアを開けて 180 秒以内、または運転席ドアを閉め 60 秒以内に呼び出したい ポジションのボタンを押すと、シートの位置が調整されます。ハンドルの位置は、パワースイッチを押すと調整されます。

助手席:

助手席ドアを開けて 180 秒以内ならスイッチ操作 $(1 \sim 3)$ でポジションの呼び出しができます。

■ポジションメモリーを正しくお使いいただくために

登録位置が各シート調整機構の最端部にある状態でさらにその端部方向に操作をすると、呼び出し位置にずれが生じることがあります。

■降車時の運転席シートのオートアウェイ機能について

降車時に、シートの位置が最後方付近にあると、オートアウェイ機能をおこなわない 場合があります。

■カスタマイズ機能

オートアウェイ機能によるシート移動量を変更できます。 (カスタマイズー覧: → P. 448)

▲ 警告

■シート調整時の警告

シート調整中は、シートがリヤ席乗員にあたったり、運転者の体がハンドルに圧迫されたりしないよう注意してください。

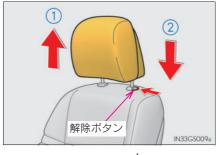
ヘッドレスト

フロント席

上下調整

- (1) 上げる
- (2) 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。

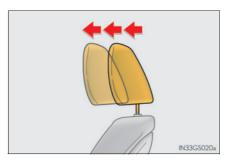


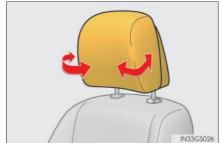
▶ サイドサポート調整★

▶ 前後調整★

ヘッドレストの前後位置を、4 段階に調整できます。

いちばん前の状態からさらに前に引くと、いちばんうしろにもどります。

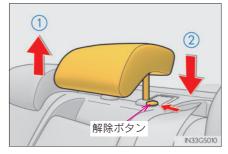




リヤ席

- (1) 上げる
- ② 下げる

下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



★:仕様により異なる装備やオプション装備

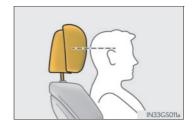
┛知識

■ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。

■ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上 のあたりになるよう調整してください。



■リヤ席について

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

警告

■ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれ があります。

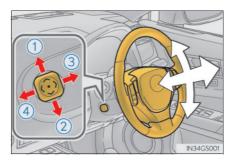
- ●ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ●ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ●ヘッドレストを調整したあとは、固定されていることを確認する
- ●ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

調整のしかた

スイッチを操作すると、ハンドルを次の方向に動かします。

- (1) 上方へ
- (2) 下方へ
- (3) 手前へ
- (4) 前方へ



□ 知識

■ハンドル位置調整の作動条件

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき※

※ 運転席シートベルトを装着していれば、パワースイッチのモードにかかわらず、ハンドルの調整ができます。

■ハンドル位置の自動調整

お好みのハンドル位置をドライビングポジションメモリーに登録すると、自動で調整されます。 (\rightarrow P. 139)

■パワーイージーアクセスシステム

パワースイッチのモード切りかえ・運転席シートベルトの脱着に連動して、ハンドルとシートが動きます。(→ P. 141)

全警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。

運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

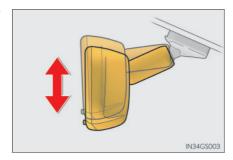
インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方 向に調整する



自動防眩機能

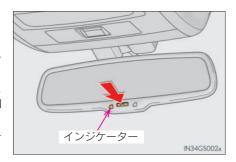
後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

自動防眩機能の切りかえ ON / OFF

ON のときはインジケーターが点灯します。

パワースイッチを ON モードにしたと きは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。

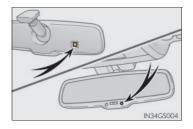
ボタンを押すと OFF になりインジケーターが消灯します。



□知識

■センサーの誤作動防止

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。



▲ 警告

走行中はミラーの調整をしないでください。

運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■インナーミラーの調整について(LKA[レーンキーピングアシスト]装着車)

白線認識用カメラの前にかからないようにしてください。

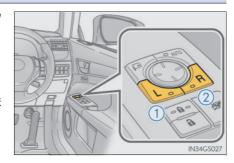
LKA の誤作動につながるおそれがあります。



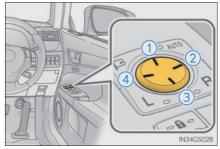
調整のしかた

- **1** 調整するミラーを選ぶには、スイッ チを押す
 - (1) 左
 - (2) 右

もう一度押すと、選択が解除されま す。



- 2 ミラーの鏡面を調整するにはス イッチを押す
 - ① 上
 - (2) 右
 - ③下
 - 4) 左

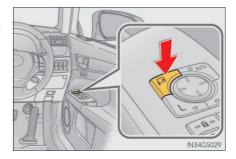


ドアミラーを格納する

■ マニュアル作動での格納・復帰のしかた

ボタンを押す

もう一度押すと、もとの位置にもど ります。



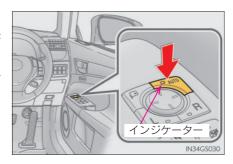
■ オート作動での格納・復帰のしかた

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンによるドアの施錠・解錠に連動して、ドアミラーを自動的に格納・復帰させることができます。

ボタンを押す

ボタンを押すと、インジケーターが点灯します。

もう一度ボタンを押すとマニュアル作動にもどります。



□ 知識

■鏡面調整の作動条件

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

■リバース連動機能

- ミラー選択スイッチのLまたはRどちらかが選択されているときは、後退時に鏡面が下向きになり、下方が見やすくなります。この機能を使用しないときは、ミラー選択スイッチの選択が解除された状態にしてください。
- ●リバース連動機能の作動中に鏡面調整スイッチを操作すると、鏡面の角度を変更・記憶することができ、以降のリバース連動作動時には調整後の角度で作動します。 ただし、リバース連動機能が作動していないときの鏡面角度を基準として鏡面が動くため、機能の非作動時に鏡面を調整すると、リバース連動作動時の鏡面角度もかわります。

■ミラーが曇ったとき

リヤウインドウデフォッガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇り を取ることができます。

(別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください)

■ミラー角度の自動調整

お好みのミラー角度をドライビングポジションメモリーに登録すると、自動で調整さ れます。(→ P. 139)

■自動防眩機能

インナーミラーの自動防眩機能を ON にしておくと、ドアミラーも連動して防眩機能 が作動します。(→ P. 146)

■寒冷時に「オート作動」で使用するとき

寒冷時に「オート作動」で使用しているとき、ドアミラーが凍結すると、自動で格納・ 復帰ができないことがあります。この場合、ドアミラーに付着している氷や雪などを 取り除いたあと、「マニュアル作動」で作動させるか、手で動かしてください。

▲ 警告

■走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につ ながるおそれがあります。

- ●ミラーの調整をしない
- ●ドアミラーを格納したまま走行しない
- ●走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく 調整する

■ミラーが動いているとき

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ミラーヒーターが作動しているとき

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

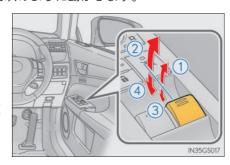
パワーウインドウ

開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

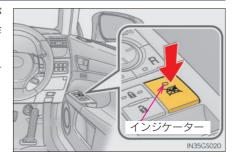
- (1) 閉める
- 2) 自動全閉※
- (3) 開ける
- 4) 自動全開※
 - ※ 途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



ウインドウロックスイッチ

スイッチを押すと、インジケーターが 点灯し、運転席以外のドアガラスが作 動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



□ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約45秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動 が停止し、少し開きます。

■ドアガラスを閉めることができないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、閉めることができないドアのパワーウインドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- ●車を停止し、パワースイッチを ON モードの状態で、パワーウインドウスイッチを 「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉めることができます。
- ●上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。
- 1 パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける
- 2 パワーウインドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開 にしたあと、さらにスイッチを 2 秒間押し続ける
- **3** 再度、パワーウインドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを2秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。 以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、レクサス販売店で点検を受けて ください。

■ドアロック連動ドアガラス開閉機能

- メカニカルキーでドアガラスを開閉できます。[※] (→ P. 430)
- ●ワイヤレスリモコンでドアガラスを開閉できます。※ (→ P. 123)
- ※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。(→ P. 448)

■オートアラーム

オートアラームがセットされているときに、ドアロック連動ドアガラス開閉機能でドアガラスを閉めると、オートアラームが作動することがあります。 $(\rightarrow P. 68)$

■補機バッテリーをはずしたとき

ウインドウロックスイッチが OFF になるため、補機バッテリーを接続したあと、再度ウインドウロックスイッチを ON にする必要があります。

■窓開警告ブザー

パワースイッチが OFF でドアガラスが開いていると、運転席ドアを開けたときにブザーが鳴り、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

■カスタマイズ機能

ドアロック連動ドアガラス開閉機能などの設定を変更できます。 (カスタマイズ一覧:→P.448)

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。

■ドアガラスを開閉するとき

- ●ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。
- ●お子さまには、ドアガラスの操作をさせないでください。

ドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。



■挟み込み防止機能

- ●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり しないでください。
- ●挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

ムーンルーフ★

頭上のスイッチでムーンルーフを開閉・チルトアップ/ダウンできます。

ムーンルーフを開閉する

(1) ムーンルーフを開く※

全開の手前の位置で止まります。(風切 り音の低減機能)

全開にしたいときは、スイッチをもう 一度押してください。

ク ムーンルーフを閉める[※]

※ 途中で停止するときは、ムーンルーフ スイッチを軽く押します。



チルトアップ/ダウンする

- (1) チルトアップ※
- 2 チルトダウン※
 - ※ 途中で停止するときは、ムーンルーフ スイッチを軽く押します。



□ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間は操作できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■挟み込み防止機能

ムーンルーフを閉めるとき、またはチルトダウンするときに、ムーンルーフが異物の 挟み込みを感知すると、作動が停止し少し開きます。

■サンシェード

手動で開閉できます。また、ムーンルーフが開くと連動して開きます。

■ドアロック連動ムーンルーフ開閉機能

- ●メカニカルキーでムーンルーフを開閉できます。[※] (→ P. 430)
- ワイヤレスリモコンでムーンルーフを開閉できます。 * (\rightarrow P. 123)

※ カスタマイズ機能での設定変更が必要です。(→ P. 420)

■オートアラーム

オートアラームがセットされているときに、ドアロック連動ムーンルーフ開閉機能でムーンルーフを閉めると、オートアラームが作動することがあります。(\rightarrow P. 68)

■ムーンルーフが正常に閉まらないとき

次の操作を行ってください。

- ●閉まるときに反転し、閉じ切らない場合
- 1 車を停止する
- **2** スイッチの "CLOSE" 側を押し続ける^{※ 1} ムーンルーフが閉じ、再び開き、10秒間停止します。※2その後再び閉じ、チル トアップし、1 秒間停止します。チルトダウン後、いったん開いてから閉じます。
- 3 ムーンルーフが完全に閉まったことを確認し、スイッチから手を離す
- ●チルトダウン時に反転し、閉じ切らない場合
- **1** 車を停止する
- **2** スイッチの "UP" 側を押し続け^{※ 1}、ムーンルーフをチルトアップ位置にする
- 3 スイッチから一度手を離し、再度 "UP" 側を押し続ける^{※1} ムーンルーフがチルトアップの状態で 10 秒間停止し、※2 微調節後 1 秒間停止 します。チルトダウン後、いったん開いてから閉じます。
- 4 ムーンルーフが完全に閉まったことを確認し、スイッチから手を離す
- ※ 1 途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。
- ※2 10 秒間停止したあとにスイッチから手を離すと、それ以降オート作動できなく なります。その場合は、スイッチの"UP"、または、"CLOSE"側を押し続けて ください。ムーンルーフがチルトアップし、1 秒間停止します。その後、チルト ダウンし、いったん開いてから閉じます。ムーンルーフが完全に閉まったことを 確認したら、スイッチから手を離してください。

以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、レクサス販売店で点検を受けて ください。

■ムーンルーフ開警告ブザー

パワースイッチが OFF でムーンルーフが聞いていると、運転席ドアを聞けたときにブ ザーが鳴り、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表 示されます。

■カスタマイズ機能

ドアロック連動ムーンルーフ開閉機能などの設定を変更できます。 (カスタマイズ一覧: → P. 448)

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。

■ムーンルーフを開けているとき

- ●走行中はルーフから手や顔を出さない
- 開口部に腰かけない

■ムーンルーフを開閉するとき

- ●ムーンルーフを開閉や、チルトダウンすると きは、乗員の手・腕・頭・首を挟んだり巻き 込んだりしないように注意してください。
- ●お子さまには、ムーンルーフの操作をさせないでください。

ムーンルーフに挟まれたり巻き込まれたり するおそれがあります。



■挟み込み防止機能

- ●挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり しないでください。
- ●挟み込み防止機能は、ムーンルーフが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを押し続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

運転 4

| 4-1. | 運転にあたって | 4-4. | 給油のしかた |
|------|------------------------------------|----------------|--|
| | 運転にあたって 160 | | 給油口の開け方210 |
| | 荷物を積むときの注意 168 | 4-5. | 運転支援装置について |
| 4-2. | 運転のしかた | | クルーズコントロール215 |
| | パワー (イグニッション) スイッチ | | レーダークルーズコントロール (全車速追従機能付き)219 |
| | EV ドライブモード | | LKA (レーンキーピング アシスト)231 ドライブモードセレクト |
| | 方向指示レバー | 36 39 91 | スイッチ |
| 4-3. | ランプのつけ方・ ワイパーの使い方 | | ナイトビュー (歩行者検知機能付)259 |
| | ランプスイッチ192 | 4-6. | 運転のアドバイス |
| | オートマチックハイビーム 195 フォグランプスイッチ 201 | | ハイブリッド車運転の アドバイス269 |
| | ワイパー&ウォッシャー 203 ヘッドランプクリーナー 209 | | 寒冷時の運転271 |

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

ハイブリッドシステムを始動する

 \rightarrow P. 169

発進する

- |**1**| ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする(→ P. 179)
- |2| パーキングブレーキがマニュアルモードのときは、パーキングブレーキを 解除する (→ P. 186)
- |3| ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進 する

停車する

- **|1|**シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける 長時間停車する場合は、シフトレバーを P にします。(→ P. 179)

駐車する

- │**1**│シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- |2| パーキングブレーキがマニュアルモードのときは、パーキングブレーキを かける
- |**3**| シフトレバーを P にする (→ P. 179)
- 4 パワースイッチを押してハイブリッドシステムを停止する
- |5| 電子キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する 坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め[※]を使用してください。
 - ※輪止めはレクサス販売店で購入することができます。

上り坂の発進のしかた

- |**1**| パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを D にする
- |**2**| アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

□知識

■上り坂発進について

ブレーキホールドを使用することができます。(→ P. 189)

■燃費を良くする走り方

ハイブリッド車も急加速を控えるなど、通常のガソリン車と同様の心がけが必要です。 P. 269 の「ハイブリッド車運転のアドバイス」を参照してください。

■雨の日の運転について

- ●雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- ●雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- ●雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

■オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- ■暑い日に長い上り坂を走行する
- ●高速走行直後に急減速や急停止をする

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■発進するとき

車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している状態で停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■運転するとき

- ●踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。
 - ・アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事 故につながるおそれがあります。
 - ・後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなりま す。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
 - ・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセル ペダルが確実に踏めるようにしてください。
 - ・ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の 反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ●ハイブリッド車は電気モーターでの走行時にエンジン音がしないため、周囲の人が車両の接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置を ON にしても、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かないことがありますので、十分注意して運転してください。
- ●燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を停めたりしないでください。 排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- ●通常走行時は、走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 366 を参照してください。
- ●急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→P. 180)

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■運転するとき

- ●走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
 - 運転を誤るおそれがあります。
- ●すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。

■すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフトチェンジによるエンジンブレーキやエンジン回転数の 変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- ●水たまり走行後はブレーキペダルを踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■シフトレバーを操作するとき

- ●シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、R に入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。 思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- ●車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。 トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるお それがあります。
- ●車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。 トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるお それがあります。
- ●車両が後退しているあいだは、シフトレバーを D に入れないでください。 トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるお それがあります。
- ●走行中にシフトレバーを N にすると、ハイブリッドシステムの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- ●アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。 シフトレバーが P または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながる おそれがあり危険です。

■継続的にブレーキ付近から警告音(キーキー音)が発生したとき

できるだけ早くレクサス販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。 必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

■停車するとき

- ●不必要にアクセルペダルを踏み込まないでください。 シフトレバーが P または N 以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながる おそれがあり危険です。
- ●車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している ときは常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてくだ さい。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- ●停車中に空ぶかしをしないでください。排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

■駐車するとき

●炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。

放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
- ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起 こす
- ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックス などに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだり シートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ●ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。 直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- ●車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPに入れ、 ハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。 ハイブリッド車は走行できる状態(READY インジケーターが点灯している状態) になっていても、音や振動がない場合があります。
- ●READY インジケーターが点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直 後は排気管にふれないでください。 やけどをするおそれがあります。

■仮眠するとき

必ずパワースイッチを OFF にしてください。

READY インジケーターが点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やハイブリッドシステムの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ブレーキをかけるとき

- ●ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。 ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違い が出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそ れもあります。
- ●電子制御ブレーキシステムが機能しないときは、他の車に近付いたりしないでくだ。 さい。また、下り坂や急カーブを避けてください。 この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動 距離も長くなります。
- ●ブレーキシステムは三つの独立したシステムで構成されており、一つの油圧システ ムが故障しても、残りは作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏 お必要があり、制動距離が長くなります。この状態で走行しないでください。走行 中、ブレーキ警告灯(赤色)の点灯と同時にブザーが鳴ったときは、ただちに安全 な場所に停車し、レクサス販売店へご連絡ください。

注意

■運転しているとき

- ●運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。 アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合がありま す。
- ●坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペ ダルを同時に踏んだりしないでください。

■駐車するとき

必ずシフトレバーを P にしてください。P にしておかないと、車が動き出したり、 誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。



▲ 注意

■部品の損傷を防ぐために

- ●パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状 態を長く続けないでください。
- ●ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけ ゆっくり走行してください。

■走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかり持っ て徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- ●車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 402, 412 を参照してください。

■冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、 走行しないでください。

- ●エンストする
- ●電装品がショートする
- ●水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずレクサス販売店 で次の点検をしてください。

- ●ブレーキの効き具合
- ●エンジン・トランスミッション・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量 および質の変化
- ●プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りく ださい。

▲ 警告

■積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- ●燃料が入った容器
- ●スプレー缶

■荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかっ たり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につ ながるおそれがあり危険です。

- ●できるだけ荷物はトランクに積んでください。
- ●次の場所には荷物を積まないでください。
 - · 運転席足元
 - ・ 助手席やリヤ席(荷物を積み重ねる場合)
 - ・パッケージトレイ
 - ・インストルメントパネル
 - ・ダッシュボード
 - ナビゲーション画面の前
- ●室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

■荷物の重量・荷重のかけ方について

- ●荷物を積み過ぎないでください。
- ●荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下に より思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるお それがあります。

パワー(イグニッション)スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、ハイブリッドシステムの始動ま たはパワースイッチのモードを切りかえることができます。

ハイブリッドシステム始動のしかた

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- |**2**| シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかり踏む

マルチインフォメーションディスプレイに (本)が表示されます。



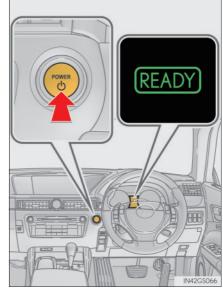
表示されないと、ハイブリッドシステムは始動しません。

4 パワースイッチを押す

READY インジケーターが点灯すれば、 ハイブリッドシステムは正常に始動し ています。

完全にハイブリッドシステムが始動す るまでブレーキペダルを踏み続けてく ださい。

パワースイッチのどのモードからでも ハイブリッドシステムを始動できま す。



|**5**| READY インジケーターが点灯したことを確認する READY インジケーターが消灯している状態では走行できません。

■ハイブリッドシステムの停止のしかた

- | 1 | 車両を完全に停止させる
- **|2|** シフトレバーを P の位置にする
- **3** パーキングブレーキをかける (→ P. 186)
- **|4|** パワースイッチを押す
- |**5**| ブレーキペダルから足を離した状態にしてマルチインフォメーション ディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していることを確認する

パワースイッチ切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードを切りかえるこ とができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)

OFF *

非常点滅灯が使用できます。

アクセサリーモード

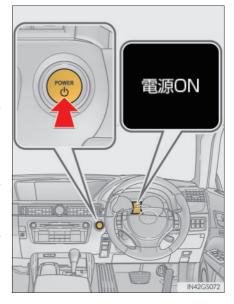
オーディオなどの電装品が使用できま

マルチインフォメーションディスプレ イに「電源 ON」が表示されます。

ONモード

すべての電装品が使用できます。 マルチインフォメーションディスプレ イに「電源 ON」が表示されます。

※ シフトレバーが P 以外のときはアクセ サリーモードになり、OFF になりませ h.



シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、ハイブリッドシステムは停止しますが、パワースイッチのモードは OFF になりません。次の手順で OFF にしてください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーを P の位置にする
- [3] マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」と「電源を OFF して下さい」が交互に表示されていることを確認し、パワースイッチを 1 回押す
- **4** マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」と「電源を OFF して下さい」の表示が消灯していることを確認する

□知識

■自動電源 OFF 機能

シフトレバーが P にあるとき、20 分以上アクセサリーモードか 1 時間以上 ON モード (ハイブリッドシステムが作動していない状態) にしたままにしておくと、パワースイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、補機バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリーモード、または ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■高電圧リレーの音について

ハイブリッドシステム始動時および停止時に、車両後方から"コトン"、"カチッ"などの音が聞こえることがあります。これは高電圧リレーの音で、異常ではありません。

■電子キーの電池の消耗について

→ P. 121

■外気温が低いときは

ハイブリッドシステム始動時に READY インジケーターの点滅時間が長くなることがあります。READY インジケーターが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 118

■ご留意いただきたいこと

 \rightarrow P. 119

■ハイブリッドシステムが始動しないとき

- ●イモビライザーシステムが解除されていない可能性があります (→ P. 66)。レクサス販売店へご連絡ください。
- ●シフトレバーがPの位置にあるか確認してください。ハイブリッドシステムを始動するときに、シフトレバーが傾いたり、P 以外の位置にするとステアリングロック機能が作動しハイブリッドシステムを始動することができないことがあります。マルチインフォメーションディスプレイに「始動時は P レンジに入れて下さい」が表示されます。

■ステアリングロックについて

パワースイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。パワースイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないとき

マルチインフォメーションディスプレイに「ステアリングロック未解除」が表示されます。シフトレバーが Pの位置にあることを確認して、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。



■ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にハイブリッドシステムの始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10 秒程度でもとの状態にもどります。

■マルチインフォメーションディスプレイに「スマートエントリー&スタートシステム チェック」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにレクサス販売店で点検を受けてください。

■万一、READY インジケーターが点灯しないときは

正しい手順で始動操作を行っても READY インジケーターが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。

- ■ハイブリッドシステムに異常があるときは
 - → P. 378
- ■電子キーの電池が切れたときは
 - → P. 333
- ■パワースイッチの操作について
 - ●パワースイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せてない場合は、モードの切りかえやハイブリッドシステムの始動ができない場合があります。 また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。
 - ●パワースイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、ハイブリッドシステムが始動しない場合があります。パワースイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。
- ■カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたときは → P. 451

■ハイブリッドシステムを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないで ください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれ があります。

■走行中の警告

ハイブリッドシステムの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状 態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステア リングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪 の場合死亡につながるおそれがあります。

■緊急時のハイブリッドシステム停止方法

走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したい場合には、パワースイッチを2秒 以上押し続けるか、素早く3回以上連続で押してください。(→ P. 366)

ただし、緊急時以外は走行中にパワースイッチにふれないでください。走行中にハ イブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力 補助がなくなります。その場合はハンドルとブレーキの操作が困難になるため、安 全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

⚠ 注意

■補機バッテリーあがりを防止するために

- ●ハイブリッドシステム停止中は、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- ●ハイブリッドシステム停止中に、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していない場合、パワースイッチが OFF になっていません。パワースイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- ●シフトレバーがP 以外でハイブリッドシステムを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、パワースイッチがアクセサリーモードとなるため、そのまま放置すると補機バッテリーあがりの原因となります。

■パワースイッチの操作について

パワースイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにレクサス販売店にご連絡ください。

EV ドライブモード

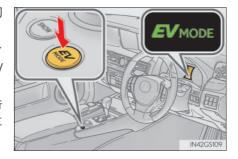
EV ドライブモードは、駆動用電池を使い電気モーターを駆動して走行する モードです。早朝、深夜の住宅街や屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを 気にすることなく走行することができます。

通常は車両接近通報装置が ON になっているため、静かに走行したい場合は OFF にしてください。 $(\rightarrow P.57)$

EV ドライブモードの ON / OFF を切 りかえる

EVドライブモードになると、マルチイ ンフォメーションディスプレイに「EV MODE」が表示されます。

もう一度スイッチを押すと通常走行 (ガソリンエンジンと電気モーターに よる走行)にもどります。



■EV ドライブモードの切りかえについて

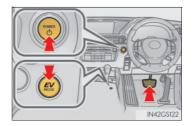
次のときは EV ドライブモードに切りかわらない場合があります。EV ドライブモード に切りかわらないときはブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに メッセージが表示されます。

- ●ハイブリッドシステムが高温のとき 炎天下に駐車したあとや登降坂、高速走行後など
- ハイブリッドシステムが低温のとき約0℃を下まわるような低温下に長時間駐車したあとなど
- ●ガソリンエンジンが暖機運転中のとき
- 駆動用電池の充電量が低いとき
 エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態 (→ P. 100)
- ●車速が 40km/h 以上のとき
- ●アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- ●フロントデフロスターを使用しているとき

■ガソリンエンジンが冷えているときの EV ドライブモードの切りかえについて

ガソリンエンジンが冷えているときにハイブリッドシステムを始動した場合、暖機運転のためガソリンエンジンが自動的に始動し、EV ドライブモードに切りかえることができなくなります。

ブレーキペダルをしっかり踏み、EV ドライブ モードスイッチを押しながらパワースイッチ を押すことで、ガソリンエンジンを始動せずに ハイブリッドシステムを始動でき、暖機運転を 控えて騒音を抑えることができます。



■EV ドライブモードの自動解除について

EV ドライブモードで走行中、次のときは自動的に通常走行(ガソリンエンジンと電気モーターによる走行)になることがあります。EV ドライブモードが解除されるときは、ブザーが鳴り、EV ドライブモード表示灯が点滅したあと、消灯します。

- 駆動用電池の充電量が低下したときエネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態 (→ P. 100)
- ●車速が40km/hをこえたとき ガソリンエンジンの冷却水温が低いときは、30km/hで自動解除されることがあります。
- ●アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

■EV ドライブモードの走行可能距離

EV ドライブモードの走行可能距離は数百 m から約 1km 程度です。車速約 40km/h 以下での走行が可能です。但し、車両の状況によっては EV ドライブモードが使用できない場合があります。(走行距離は、駆動用電池の充電量や走行状態によって異なります)

■燃費について

GS450h は、通常走行(ガソリンエンジンと電気モーターによる走行)において、最も燃費がよくなるように制御されています。EV ドライブモードを多用すると、燃費が悪くなることがあります。

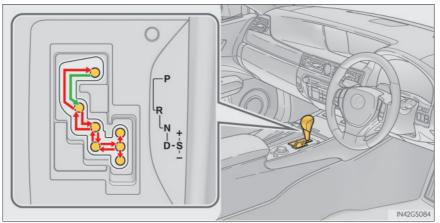
▲ 警告

■走行中の警告

EV ドライブモードではエンジン音がしないため、周囲の人が車両の発進や接近に気が付かない場合があります。特に車両接近通報装置を OFF にしている場合は、十分注意して運転してください。

トランスミッション

シフトレバーの動かし方



↑ パワースイッチが ON モードの状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの使用目的

| シフトポジション | 目的および状態 | | | | |
|----------|-----------------------------------|--|--|--|--|
| Р | 駐車またはハイブリッドシステムの始動 | | | | |
| R | 後退 | | | | |
| N | 動力が伝わらない状態 | | | | |
| D | 通常走行 ^{※ 1} | | | | |
| S | S モード走行 ^{※ 2} (→ P. 182) | | | | |

^{※ 1} 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

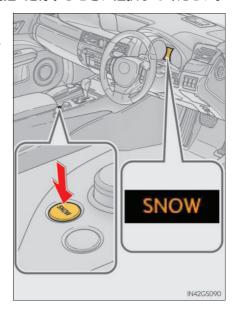
走行モードの選択

- スポーツモード・エコドライブモード
 - → P. 240
- スノーモード

雪道など、すべりやすい路面での発進・走行するときに選択してください。

スノーモードスイッチを押す

通常走行モードにもどすときはス イッチをもう一度押します。



^{※2}Sモードはシフトレンジを選択することで、加速力やエンジンブレーキ力を切りか えることができます。

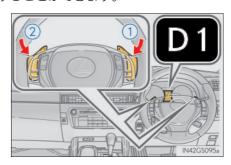
D ポジションでのシフトレンジ選択

パドルシフトスイッチの "-" 側を操作すると、一時的にシフトレンジを選択する走行へ切りかわります。シフトレンジを選択することで、使用するシフトレンジの上限を制限し、不要なシフトアップを抑えたり、エンジンブレーキ力を切りかえることができます。パドルシフトスイッチの "-" 側または "+" 側の操作でシフトレンジを選択することができます。

- 1 シフトアップ
- 2 シフトダウン

D1からD5レンジのあいだで選択されているシフトレンジがメーターに表示されます。

通常走行にもどすときは、パドルシフトスイッチの"+"側を一定時間以上保持します。



■ シフトレンジ機能

| メーター表示 | 機能 |
|---------|--|
| D2 ~ D5 | スピードや走行条件に応じて、D1 レンジから選択したシフトレンジまで自動的にかわります。 |
| D1 | シフトレンジが D1 レンジに固定されます。 |

シフトレンジの数字が小さい方がエンジンブレーキ力は大きくなります。

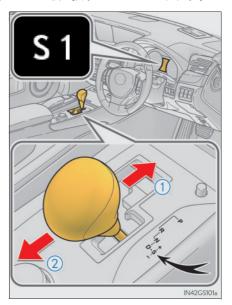
Sモードでのシフトレンジ選択

シフトレバーを S ポジションにすると、S モードに切りかわります。シフト レバーまたはパドルシフトスイッチの操作で思い通りのシフトレンジを選択 し、運転することができます。シフトレバーまたはパドルシフトスイッチの "-"側または"+"側の操作でシフトレンジを選択することができます。

- 1 シフトアップ
- 2 シフトダウン

S1 から S6 レンジのあいだで選択され ているシフトレンジがメーターに表示 されます。

Sポジションへ操作したときの初期レ ンジは、車速に応じて S3・S4 もしく は S5 に設定されます。



■ シフトレンジ機能

- 加速力・エンジンブレーキ力は、6 段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字が小さい方が、加速力・エンジンブレーキカは大き くなり、エンジン回転数も高くなります。
- 1 から 5 のシフトレンジでの加速時は、車速に応じて、シフトレンジが 自動的に切りかわります。

□ 知識

■D ポジションでパドルシフトスイッチの "-" 側を操作したとき

シフトレンジは、通常走行中のギヤ段より1段シフトダウンするレンジになります。

■D ポジションでのレンジ選択の自動解除

次のとき、自動的にDポジションでのレンジ選択が解除されます。

- ●停車したとき
- ●シフトレンジが5レンジの状態からパドルシフトの"+"側を操作したとき
- ●アクセルペダルを一定時間以上踏み続けたとき
- ●シフトレバーを D 以外にしたとき

■シフトダウン制限警告ブザー

安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーまたはパドルシフトスイッチを操作してもシフトダウンできない場合があります。(このときブザーが2回鳴ります)

■スノーモードの自動解除

スノーモードを選択して走行後、ハイブリッドシステムを停止すると、自動的に通常 走行モードに切りかわります。

■リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■シフトレバーを P からシフトできないとき

→ P. 427



■すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキカの急 激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。



■駆動用電池の充電について

シフトレバーが N では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電され ないため、Nで長時間放置すると駆動用電池の残量が低下し、走行不能になるおそ れがあります。

方向指示レバー

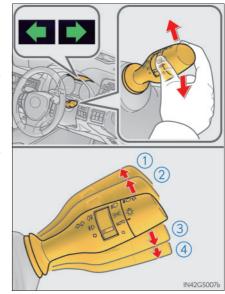
操作のしかた

滅します。

レバーは操作したあと、すぐにもとの位置にもどります。

- (1) 左折
- ② 左側へ車線変更 (レバーを途中で保持) レバーを離すまで左側方向指示灯が点
- ③ 右側へ車線変更 (レバーを途中で保持) レバーを離すまで右側方向指示灯が点
- 滅します。





■ 右左折後に方向指示灯の点滅が停止しない場合や、点滅を中止させたいと き

レバーを逆方向の②または③の位置に操作してください。レバーを ① または④ の位置まで操作すると、選択した方向指示灯が点滅します。

__ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

■カスタマイズ機能

方向指示灯の停止方法の設定を変更できます。 (カスタマイズ一覧: → P. 453)

パーキングブレーキ

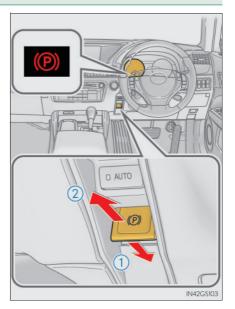
お好みに応じて次のモードから選択することができます。

マニュアルモード

 パーキングブレーキをかける パーキングブレーキ表示灯が点灯しま す。(→ P. 187)

緊急時、走行中にパーキングブレーキ をかける必要があるときは、スイッチ を押し続けてください。

(2) パーキングブレーキを解除する パーキングブレーキ表示灯が消灯しま す。ブレーキペダルを踏みながら操作 してください。



オートモード

シフトレバーの操作に応じて、パーキングブレーキが自動で作動します。

オートマチックモードの ON / OFF を切りかえる

- P から P 以外にしたとき パーキングブレーキが解除されま す。
- P 以外から P にしたとき パーキングブレーキがかかります。 シフトレバーは、ブレーキペダルを踏 みながら操作してください。



運転

■パーキングブレーキの作動

- パワースイッチがONモード以外では、パーキングブレーキスイッチによる解除はできません。
- パワースイッチが ON モード以外では、オートモードによる作動(かける・解除する) はできません。
- ●短時間に作動をくり返すと、システムの過熱防止のために作動制限することがあります。その場合は、操作を控えてください。1分程度でもとの状態にもどります。

■パーキングブレーキの作動音

パーキングブレーキが作動するとき、モーターの音("ウィーン"という音)が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■パーキングブレーキ表示灯について

●パーキングブレーキをかけたとき、パワースイッチのモードによって、次のようにパーキングブレーキ表示灯が点灯します。

ON モード:パーキングブレーキを解除するまで点灯します。

ON モード以外:約15秒間点灯します。

●パーキングブレーキをかけた状態でパワースイッチを OFF にしたとき、パーキングブレーキ表示灯が約 15 秒間点灯したままになりますが、異常ではありません。

■システムに異常があるとき

警告灯や警告メッセージが点灯または点滅します。(→ P. 373, 381) また、状況によってはパーキングブレーキ表示灯が点滅します。

■冬季のパーキングブレーキの使用について

→ P. 272

⚠ 注意

■駐車するとき

車から離れるときは、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにし、車が動 かないことを確認してください。

■システムに異常が発生したら

安全な場所に車を停め、警告表示を確認してください。

■故障などでかかったままになったとき

手動解除用ツールを使用して、パーキングブレーキを完全に解除してください。 (→ P. 428)

パーキングブレーキがかかったまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキ の効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

運転

ブレーキホールド

シフトレバーが D・S または N でブレーキホールドシステムが ON のとき、ブレーキペダルを踏んで停車するとブレーキがかかったまま保持されます。シフトレバーが D または S のとき、アクセルペダルを踏むと同時に解除され、スムーズに発進できます。

ブレーキホールドシステムをONにする

ブレーキホールドスタンバイ表示灯 (緑) が点灯します。ブレーキ保持中は ブレーキホールド作動表示灯(黄) が 点灯します。



□ 知識

■システムの作動条件

次のときはシステムを ON できません。

- ●トランクまたはボンネットが閉まっていない
- ●運転席ドアが閉まっていない
- ●運転席シートベルトを着用していない

ブレーキホールドシステムが ON のときにいずれかを検出したときは、システムが OFF になり、ブレーキホールドスタンバイ表示灯が消灯します。ブレーキ保持中に検 出した場合は、さらに警告音と共にマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、自動的にパーキングブレーキがかかります。

■ブレーキ保持について

- ●ブレーキ保持中にブレーキペダルが踏まれていない状態が約3分継続すると、自動的 にパーキングブレーキがかかります。このときは警告音と共に、マルチインフォメー ションディスプレイにメッセージが表示されます。
- 急坂路ではブレーキ保持できないことがあります。その場合は、運転者はブレーキをかける必要があるときもあります。このときはマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
- ●ブレーキ保持中にシステムを OFF するときは、ブレーキペダルをしっかり踏み、も う一度スイッチを押してください。

■ブレーキ保持中にパーキングブレーキが自動的にかかったとき

パーキングブレーキは自動的に解除されません。パーキングブレーキスイッチを操作 してブレーキを解除し、パーキングブレーキ表示灯が消灯したことを確認してくださ ιν_o (→ P. 186)

■システムに異常があるとき

警告灯や警告表示が点灯または点滅します。(→ P. 373, 381)



■急坂路では

急坂路でブレーキホールドシステムを使用するときは注意してください。急坂路で はブレーキホールドシステムにてブレーキを保持できないことがあります。

■すべりやすい路面では

タイヤのグリップ限界をこえて停車させることはできません。すべりやすい路面で の使用は控えてください。

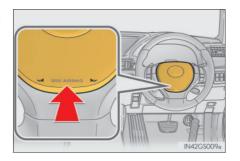
⚠ 注意

■駐車するとき

ブレーキホールドは長時間駐車するための機能ではありません。ブレーキ保持中に パワースイッチを OFF にすると、保持が解除されて車が動き出す場合があります。 パワースイッチを操作するときは、ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキを かけ、シフトレバーを P にしてください。

ホーン(警音器)

ハンドルの 周辺部を押すとホーンが鳴ります。

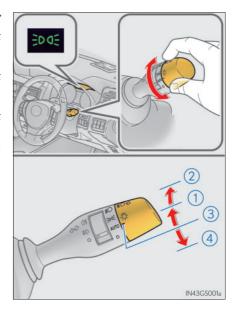


ランプスイッチ

自動または手動でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

- (1) ⇒o≤ 車幅灯・尾灯・番号灯・イン ストルメントパネルランプを 点灯
- ② ② 上記ランプとヘッドランプを 点灯
- ③ AUTO ヘッドランプ・車幅灯などを 自動点灯・消灯 (パワースイッチがONモード のとき)
- (4) **o** 消灯



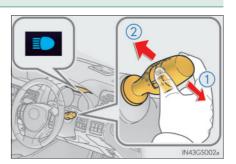
ハイビームにする

(1) ヘッドランプ点灯時ハイビームに 切りかえ

レバーをもとの位置へもどすとロー ビームにもどります。

② レバーを引いているあいだ、ハイ ビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビーム が点灯します。レバーを離すと、ロー ビームにもどる、または消灯します。



AFS(アダプティブフロントライティングシステム)

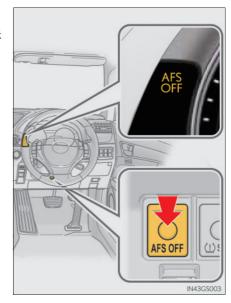
AFS は、交差点やカーブで優れた視認性を確保するため、ハンドル操作によって変化するタイヤの角度や車速に応じて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

車速が 10km/h 以上のときに作動します。

■ AFS を OFF にするには

AFS OFF スイッチを押す

AFS を OFF にすると AFS OFF 表示 灯が点灯します。



□知識

■ライトセンサー

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ランプ消し忘れ防止機能

パワースイッチをアクセサリーモードまたはOFFにして運転席ドアを開けるとすべてのランプが自動的に消灯します。

再びランプを点灯する場合は、パワースイッチを ON モードにするか、一度ランプスイッチを OFF にもどし、再度 store または **乏つ** の位置にします。

■オートレベリングシステム

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■AFS OFF 表示灯が点滅したとき

システムに異常があるおそれがあります。レクサス販売店に連絡してください。

■カスタマイズ機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。(カスタマイズ一覧: → P. 453)



■補機バッテリーあがりを防止するために

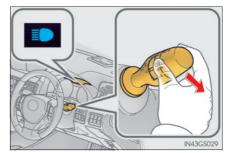
ハイブリッドシステムを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

<u>オートマチックハイビーム★</u>

オートマチックハイビームは、インナーミラーに設置されたカメラセンサー により対向車または先行車のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的 にハイビームとロービームを切りかえます。

オートマチックハイビームの使い方

1 ランプスイッチをAUTOまたは**⑤**にし、レバーを前方へ押す



オートマチックハイビームスイッチを押す

オートマチックハイビームが作動する と、オートマチックハイビーム表示灯 が点灯します。



ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- 車速が約 30km/h 以上
- 車両前方が暗い
- 対向車または先行車が存在しない、またはランプを点灯していない
- 前方の道路沿いの街路灯の光が少ない

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- 車速が約 25km/h 以下
- 車両前方が明るい
- 対向車または先行車がランプを点灯している
- 前方の道路沿いの街路灯の光が多い

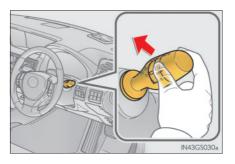
手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

オートマチックハイビーム表示灯が 消灯します。

オートマチックハイビームにもどすには、再度レバーを前方に押します。

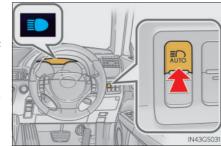


■ ハイビームへの切りかえ

オートマチックハイビームスイッ チを押す

オートマチックハイビーム表示灯が 消灯し、ハイビーム表示灯が点灯し ます。

オートマチックハイビームにもどすには、再度スイッチを押します。



□知識

■作動条件

パワースイッチが ON のとき

■オートマチックハイビームについて

- ●次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・他車が前方を横切ったとき
 - ・連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき
- ●対向車のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- ●街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- ●次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
 - ・対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の動きや向き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
 - ・対向車または先行車が二輪車のとき
 - ・ 道路の状態(勾配やカーブ、路面状況など)
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- ●オートマチックハイビームは車両前方にあるランプの明るさなどで周囲の状況を認識します。従って、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- ●自転車などの軽車両は検知しない場合があります。

- ●次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の 迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手 動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・悪天候時(霧・雪・砂嵐・大雨など)
 - フロントウィンドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - フロントウィンドウガラスにひび割れや破損があるとき
 - インナーミラーやカメラセンサーが変形しているときや、汚れているとき
 - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・対向車または先行車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり 光軸がずれているとき
 - ・急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - カーブが多い道路を走行しているとき
 - ・車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
 - パンクやけん引などにより車両が傾いているとき



■安全にお使いいただくために

オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。



■オートマチックハイビームを正しく作動させるために

オートマチックハイビームを正しく作動させ るために次のことをお守りください。

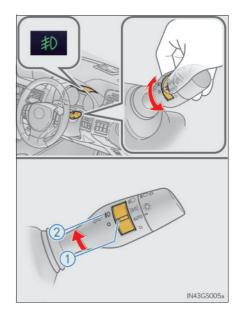


- ●カメラセンサーのレンズにふれない
- ●インナーミラーやカメラセンサーに強い衝撃を与えない
- カメラセンサーを分解しない
- インナーミラーやカメラセンサーに液体をかけない
- ●カメラセンサーの近くのフロントウィンドウガラスにステッカーを貼らない
- ダッシュボードの上にものを置かない
- ●インナーミラーやカメラセンサー周囲にアクセサリーを取り付けない
- ●荷物を積み過ぎない
- ●車両を改造しない
- ●レクサス純正品以外のフロントウィンドウガラスに交換しない

フォグランプスイッチ

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

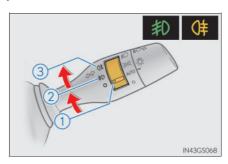
- ▶ フロントフォグランプスイッチ
- (1) 0 消灯する
- ② 邦 点灯する



- ▶ フロント&リヤフォグランプスイッチ
- (1) 0 消灯する
- ② **‡**) フロントフォグランプを点灯 する
- ③ () フロント&リヤフォグランプを点灯する

手を離すと**非**)の位置までもどります。

再度操作すると、リアフォグランプの み消灯します。



□ 知識

■点灯条件

フロントフォグランプ:

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

リヤフォグランプ:

リヤフォグランプは、フロントフォグランプが点灯しているときのみ使用できます。

■リヤフォグランプについて

- ●リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- ●雨や霧などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。

視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。 必要なとき以外は使用しないでください。

ワイパー&ウォッシャー

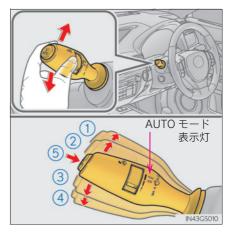
操作のしかた

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。レバーは操作したあと、すぐにもとの位置にもどります。

- ① o レバーを2段階上げる
- ② △ レバーを 1 段階上げる
- ③ ▼ レバーを1段階下げる
- ④ ₩ レバーを2段階下げる
- ⑤ AUTOモードON/OFFスイッチ

雨滴量や車速に応じてワイパーが作動 する AUTO モードの ON/OFF を切りか えます。

AUTO モードのときは、AUTO モード 表示灯が点灯します。



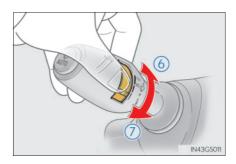
| 操作 操作前 の状態 | | 0 | _ | ∇ | 墨 |
|------------------|----------|------|--------|-----------------------|---------------------|
| 停止 | | 一時作動 | 一時作動 | 低速作動 | 高速作動 |
| 低速作動 | | 停止 | 停止 | 高速作動 | 高速作動 |
| 高速作動 | | 停止 | 低速作動 | 変化なし | 変化なし |
| AUTO モード | 間欠 作動 | 停止 | 一時作動※1 | - 低速作動 ^{※ 2} | 高速作動 ^{※ 2} |
| | 連続作動 | | 変化なし | | |

** ¹: 一時作動後、AUTO モードにもどります。

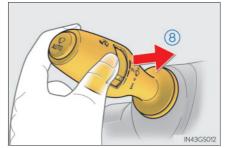
※2: AUTO モードは解除されます。

AUTO モードのときは、次のようにツマミをまわして、雨滴センサーの感度を調整できます。

- 6 雨滴センサーの感度調整(高)
- (7) 雨滴センサーの感度調整(低)



⑧ ウォッシャー液を出す ワイパーが連動して作動します。 (数回作動したあと、液だれ防止として さらに1回作動します)



間欠時間調整式ワイパーへの切りかえ

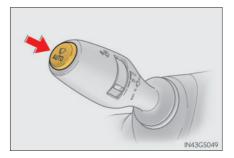
雨滴量や車速に関係なく間欠作動する間欠時間調整式ワイパーとして使用することができます。

〜 ボタンを AUTO モード表示灯の

点滅が終わるまで押し続ける

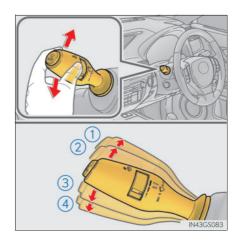
もう一度 AUTO モード表示灯の点滅が 終わるまで押し続けるともとにもどり ます。

ワイパーがOFFで停車中のときに切り かえることができます。



■ 間欠時間調整式ワイパーの作動

- o レバーを2段階上げる
- ② △ レバーを 1 段階上げる
- ③ ▽ レバーを 1 段階下げる
- ④ ▼ レバーを2段階下げる



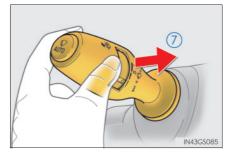
| 操作 操作前 の状態 | 0 | ۵ | ∇ | 茎 |
|------------------|------|------|----------|------|
| 停止 | 一時作動 | 一時作動 | 間欠作動 | 高速作動 |
| 間欠作動 | 停止 | 停止 | 低速作動 | 高速作動 |
| 低速作動 | 停止 | 間欠作動 | 高速作動 | 高速作動 |
| 高速作動 | 停止 | 低速作動 | 変化なし | 変化なし |

間欠作動を選択しているとき、間欠時間を調整することができます。

- ⑤ 間欠ワイパーの作動頻度(増)
- (6) 間欠ワイパーの作動頻度(減)



(7) ウォッシャー液を出す ワイパーが連動して作動します。 (数回作動したあと、液だれ防止として さらに 1 回作動します)



□ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■車速による作動への影響

AUTO モード以外でも、車速によってワイパー作動への影響があります。

- ●間欠時間
- ウォッシャー連動時のワイパー作動 (液だれ防止作動が働くまでの時間) 低速作動選択時は停車時のみ間欠作動へ切りかわります。 (雨滴センサーの感度調整が最高に調整されているときは、低速作動を続けます)

■雨滴感知センサー

●雨滴感知センサーが雨滴量を判定します。 光学センサーを使用しているため、フロント ウィンドウガラスに朝日や夕日が断続的に あたるときや、虫などで汚れたときに、正し く作動しないことがあります。



- ●パワースイッチが ON モードのときに AUTO モードにすると、動作確認のためワイパーが 1 回作動します。
- ●雨滴感知センサーの温度が85℃以上または-30℃以下のときは、AUTO作動しないことがあります。その場合は、AUTOモード以外でワイパーを使用してください。

■ワイパーが一時作動しているとき

☆ を押しても AUTO モードに切りかわりません。

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

▲ 警告

■AUTO モード時のワイパー作動について

AUTO モードでは、センサーにふれたり、フロントウィンドウガラスに振動がある などの要因で不意にワイパーが動くおそれがあります。ワイパーで指などを挟まな いように注意してください。

■ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでく ださい。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こ して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるお それがあります。

▲ 注意

■フロントウィンドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。 ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。 ポンプが故障するおそれがあります。

■ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはレクサス販売店へご連絡ください。 ピンなどで取り除かないでください。 ノズルが損傷するおそれがあります。

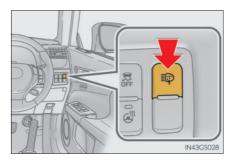
■ワイパーアームを立てるとき(寒冷地仕様車)

ワイパーを積雪時の停止位置に切りかえてから立ててください。(→ P. 272) 停止位置を切りかえずに立てると、ワイパーアームとボンネットが干渉し、傷が付 くおそれがあります。

ヘッドランプクリーナー

ヘッドランプにウォッシャー液を噴射します。

スイッチを押してヘッドランプを洗 浄する



□ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードでヘッドランプが点灯しているとき

⚠ 注意

■ウォッシャー液が出ないとき

ヘッドランプクリーナースイッチを操作し続けないでください。 ポンプが故障するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、パワースイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■燃料の種類

無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク)

▲ 警告

■給油するときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合 死亡につながるおそれがあります。

- ●給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去した あとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでくださ い。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。 静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれ があります。
- ●キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆる めたときに、"シュー"という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保 持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあり ます。

- ●気化した燃料を吸わないようにしてください。 燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 喫煙しないでください。
- ●給油口にノズルを確実に挿入してください。
- 継ぎ足し給油をしないでください。
- ●正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。



■給油するとき

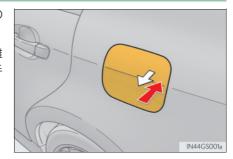
指定以外のガソリン (無鉛レギュラーガソリン) や他の燃料 (粗悪ガソリン・軽油・ 灯油・アルコール系燃料) を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。 次のような状態になるおそれがあります。

- ●エンジンの始動性が悪くなる
- ■エンジンからの異音や振動など(ノッキング)が発生する
- ●エンジン出力が低下する
- ●排気制御システムが正常に機能しない
- ●燃料系部品が損傷する
- ●塗装が損傷する

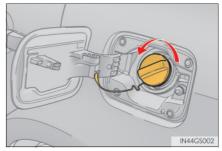
給油口の開け方

1 ドアが解錠された状態で、給油口の 車両後端の中央部分を押す

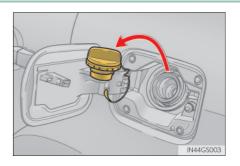
"カチッ"と音がするまで押し、手を離すと給油口が少し開きます。その後、手で全開にします。



2 キャップをゆっくりまわして開ける



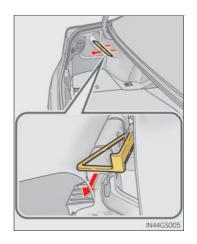
3 キャップをホルダーにはめ込む



知識

■給油口が開かないとき

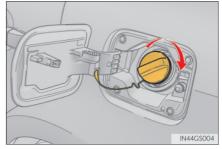
ドアが解錠されている状態で給油口の車両後 端の中央部分を押しても給油口が開かないと きは、トランク内のカバーを取りはずし、レ バーを引くことで、給油口を開けることができ ます。



給油口の閉め方

1 キャップを "カチッ" と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少し もどります。



2 給油口を閉め、給油口の車両後端の中央部分を"カチッ"と音がするまで押す

ドアを施錠すると給油口も施錠されます。



□知識

■給油口の施錠について

次の場合、ドアが施錠されても給油口は施錠されません。

- ●室内のドアロックスイッチで施錠したとき
- シフト操作連動ドアロックまたは車速感応オートドアロックで施錠されたとき (→ P. 127)
- ●ドアを施錠したあとに給油口を閉めたとき

A 警告

■キャップが正常に閉まらないとき

必ずレクサス販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用す ると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながる おそれがあります。

クルーズコントロール★

機能概要

アクセルペダルを踏まなくても一定の速度で走行できます。

- (1) 表示灯
- 2 クルーズコントロールスイッチ

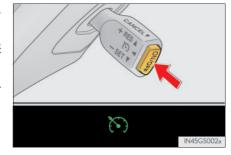


速度を設定する

1 ON/OFF スイッチを押して、システムを ON にする

メーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯します。

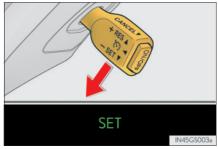
OFF にするには、再度スイッチを押します。



2 希望の速度まで加速/減速し、レ バーを下げて設定する

メーター内のセット表示灯が点灯します。

レバーを離したときの速度で定速走行できます。



設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度になるまでレバーを操作します。

- (1) 速度を上げる
- (2) 速度を落とす

微調整:

レバーを上または下に軽く操作して手 を離す

調整:

希望の車速になるまでレバーを保持す る

設定速度は、次のとおりに増減されま す。

微調整:

レバー操作するごとに約 1.6km/h

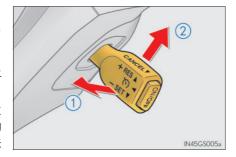
レバーを保持するあいだ



定速走行を解除する・復帰させる

- (1) 解除するには、レバーを手前に引く ブレーキペダルを踏んだときも解除さ れます。
- ② 定速走行にもどすには、レバーを上 げる

レバーを上げると、もとの定速走行に もどります。ただし、実際の速度が約 40km/h 以下になると設定速度が消去 されるため、復帰しません。



□知識

■設定条件について

- シフトレバーが D または S の 4 レンジ以上のとき設定できます。
- ●パドルシフトで D の 4 レンジ以上を選択したとき設定できます。
- 車速は約 40 ~約 100km/h の範囲で設定できます。

■車速設定後の加速について

- ●通常走行と同様にアクセルで加速できます。加速後、設定車速にもどります。
- クルーズコントロールを解除しなくても、希望の速度まで加速して、レバーを下げることにより設定車速を変更することができます。

■定速走行の自動解除

次のとき、自動的に定速走行が解除されます。

- ●設定速度より実際の速度が約 16km/h 以上低下した
- ●実際の速度が約 40km/h 以下になった
- ●VSC が作動した
- ●TRC が一定時間作動した
- ●TRC または VSC を OFF にした
- ■定速走行中、マルチインフォメーションディスプレイに「クルーズシステムチェック」 が表示されたとき

ON/OFF スイッチでシステムを一度 OFF にし、再度設定してください。 設定できないとき、またはすぐに解除されるときは、システム異常のおそれがあります。レクサス販売店で点検を受けてください。

■誤操作を防ぐために

クルーズコントロールを使用しないときは、ON/OFF スイッチでシステムを OFF に してください。

■クルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。 車のコントロールを失い、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の 場合死亡につながるおそれがあります。

- ●交通量の多い道
- ●急カーブのある道
- ●曲がりくねった道
- ●雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- ●急な下り坂 急な下り坂では設定車速以上になることがあります。

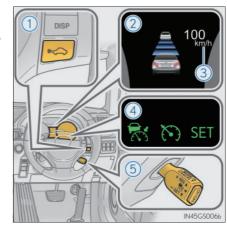
レーダークルーズコントロール

(全車速追従機能付き)★

機能概要

アクセルペダルを踏まなくても、車間制御モードで先行車の車速変化に合わせた追従走行を行ったり、定速制御モードにより一定の速度で走行できます。 先行車との車間距離が確保しやすい高速道路や自動車専用道路などで使用してください。

- (1) 車間距離切りかえスイッチ
- ② マルチインフォメーションディス プレイ
- ③ 設定速度
- 4 表示灯
- 5 クルーズコントロールスイッチ



車速を設定する

1 ON/OFF スイッチを押してシステ ムを ON にする

メーター内のレーダークルーズコント ロール表示灯が点灯します。

OFF にするには、再度スイッチを押し ます。

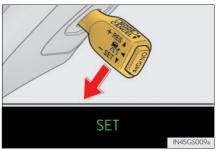
2 希望の速度 (約50km/h~100km/h) まで加速/減速し、レバーを下げて 速度を設定する

メーター内のセット表示灯が点灯しま

レバーを離したときの速度で定速走行 できます。

車速が約 50km/h 未満で先行車が検知 できるときに操作をすると、設定速度 を 50km/h として先行車に追従走行を します。





IN45GS010a

IN45GS012a

設定速度をかえるには、希望の速度が表示されるまでレバーを操作します。

速度を上げる

(車間制御モードの制御中で停車中は 除く)

② 速度を落とす

微調整:

レバーを上または下に軽く操作して手 を離す

調整:

希望の車速になるまでレバーを保持す る

車間制御モードでは、設定速度は、次のとおりに増減されます。:

微調整:レバー操作するごとに約 1km/h

調整:レバーを保持するあいだ、0.75 秒ごとに約 5km/h

定速制御モード (→ P. 225) では、設定速度は、次のとおりに増減されます。:

微調整:レバー操作するごとに約 1.6km/h

調整:レバーを保持するあいだ

車間距離を変更する

スイッチを押すごとに次のように車 間距離を切りかえます。

- (1) 長い
- (2) 中間
- (3) 短い

パワースイッチが ON モードになるたびに(1)に設定されます。

先行車がいる場合、先行車マークも表示されます。



4

車間距離選択の目安

次の目安を参考に車間距離を選択してください。

(速度 80km/h で走行している場合)

なお、車速に応じて車間距離は増減します。また、制御停車したときの車間 距離は設定にかかわらず約3~5mです。

| 車間距離選択 | 車間距離 |
|--------|-------|
| 長い | 約 50m |
| 中間 | 約 40m |
| 短い | 約 30m |

制御停車から追従走行に復帰させる

先行車の発進後、レバーを上げる

先行車の発進後にアクセルを操作して も追従走行に復帰します。

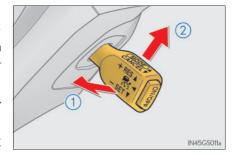


制御を解除する・復帰させる

- ② もとの制御状態にもどすには、レ バーを上げる

レバーを上げると、もとの定速走行に もどります。

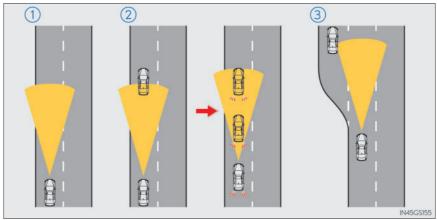
ただし、車間制御モード時で先行車を 検知していない場合、実際の速度が約 40km/h以下のときは復帰しません。ま た、定速制御モード時で実際の速度が 約 40km/h 以下のときは、設定速度が 消去されるため、復帰しません。



車間制御モードでの走行

レーダーセンサーにより、車両前方約 100m 以内の先行車の有無・先行車との車間距離を判定して先行車との適切な車間距離を確保する制御をします。

長い下り坂を走行しているときは、車間距離が短めになります。



1 定速走行:

先行車がいないとき

運転者が設定した車速で定速走行します。また、車間距離切りかえスイッチを操作して、希望の車間距離に設定することもできます。

2) 減速走行一追従走行:

設定した車速より遅い先行車が現れたとき

先行車を検知すると自動で減速し、より大きな減速が必要な場合はブレーキがかかります。先行車の車速変化に合わせて、運転者の設定した車間距離になるよう追従 走行します。十分に減速できない状態で先行車に接近した場合は、接近警報を鳴ら します。

先行車が停止したときは、続いて停止します。先行車の発進後、クルーズコントロールレバーを上げるか、アクセルを踏むと追従走行にもどります。

(3) 加速走行:

設定した車速より遅い先行車がいなくなったとき

設定車速まで加速し、定速走行にもどります。

接近警報

追従走行中の他車の割り込みなど、十分な減速ができない状態で先行車に接 近したときは、表示の点滅とブザーで運転者に注意をうながします。その場 合は、ブレーキを踏むなど適切な車間距離を確保してください。

■ 警報されないとき

車間距離が短くても、次のような場合は警報されないことがあります。

- 先行車と自車の車速が同じか先行車の方が速いとき
- 先行車が極端な低速走行をしているとき
- 速度を設定した直後
- アクセルペダルが踏まれたとき

定速制御モードを選択する

定速制御モードは先行車の車速変化に合わせた追従走行を行わず、一定の速度で走行します。レーダーセンサーの汚れなどにより、車間制御モードで走行できない場合のみご使用ください。

① ON/OFF スイッチを押して、システムを ON にする

メーター内のレーダークルーズコントロール表示灯が点灯します。

OFF にするには再度 ON/OFF スイッチ を押します。

② 定速制御モードに切りかえ (約 1 秒間レバーを前方に押し続ける)

定速制御モードに切りかえると、クルーズコントロール表示灯が点灯します。

定速制御モードから車間制御モードに もどすには、再度レバーを前方に約 1 秒間押し続けます。

希望の速度を設定したあとは車間制御 モードに切りかえることはできません。

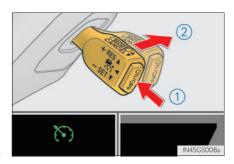
パワースイッチを OFF にし、再度パワースイッチを ON モードにした場合は、自動で車間制御モードにもどります。

設定速度をかえるには

→ P. 216

制御を解除する・復帰させるには

→ P. 216



□知識

■設定条件について

- ●シフトレバーが D または S の 4 レンジ以上のとき設定できます。
- ●パドルシフトで D の 4 レンジ以上を選択したとき設定できます。
- ●車速は約50~約100km/hの範囲で設定できます。

■車速設定後の加速について

通常走行と同様にアクセル操作で加速できます。加速後、設定車速にもどります。 ただし、車間制御モード時は先行車との距離を保持するため設定車速以下になること もあります。

■車間制御走行の自動解除

次のとき、自動的に車間制御走行が解除されます。

- 先行車がいないとき速度が約 40km/h 以下になった
- ●速度が約 40km/h 以下で追従走行中に先行車がいなくなった
- ●VSC が作動した
- ●TRC が一定時間作動した
- ●TRC または VSC を OFF にした
- ●センサーが何かでふさがれて適切に働かない
- ワイパーが高速で作動した(ワイパーの設定をAUTOモードまたは高速作動にしたとき)
- ●走行モードをスノーモードにセットした
- パーキングブレーキが作動した
- ●急坂路で制御停車した
- プリクラッシュブレーキが作動した
- ●制御停止時に次を検出した
 - 運転席シートベルトを着用していない
 - 運転席ドアが開いた
 - トランクまたはボンネットが開いた

その他の理由で車間制御走行が自動解除されるときは、システムが故障している可能性があります。レクサス販売店にご相談ください。

■定速制御走行の自動解除

次のとき、自動的に定速制御が解除されます。

- ●設定速度より実際の速度が約 16km/h 以上低下した
- ●車速が約 40km/h 以下になった
- VSC が作動した
- ●TRC が一定時間作動した
- ●TRC または VSC を OFF にした

■LKA(レーンキーピングアシスト)使用時について

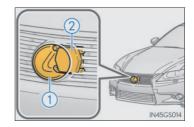
車間制御モードでレーダークルーズコントロールを使用すると、車線維持支援制御が 作動します。

■レーダーセンサーとグリルカバーについて

車間制御を正しく作動させるためにセンサーとグリルカバーは常にきれいにしておいてください。(ビニールやつらら・雪など、汚れ検知機能で検知できないものもあります)

汚れを検知したときは、レーダークルーズコントロールは解除されます。

- ① グリルカバー
- 2 レーダーセンサー



■レーダークルーズコントロールの警告メッセージ・警告ブザー

走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージ・警告ブザーで注意をうながします。 (→ P. 379)

■安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

レーダークルーズコントロールは運転者の操作の一部を支援し、操作負担を軽減するためのシステムで、支援の範囲には限りがあります。

システムが正常に機能していても、運転者が認識している先行車の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。なお、誤った使い方をしたり、操作慣れなどで注意を怠ったりすると、思わぬ危険を招くことがあります。

■システムの支援内容に関する注意点

システムの支援には限界があるため、次の点に注意してください。 システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合 死亡につながるおそれがあります。

●運転者が見る過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離を検知するのみであり、わき見やばんやり運転を許容するシステムでも、視界不良を補助するシステムでもありません。

運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。

●運転者が判断する過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離が適正かどうかを判断しており、それ以外の判断はしません。このため、危険性があるかどうかなど運転者は自ら安全の判断をする必要があります。

●運転者が操作する過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、先行車への追突を防止する機能はありません。 このため、危険性があれば運転者自らが安全を確保する必要があります。

■誤操作を防ぐために

レーダークルーズコントロールを使わないときは ON/OFF スイッチでシステムを OFF にしてください。

■レーダークルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、レーダークルーズコントロールを使用しないでください。 適切な制御が行われず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場 合死亡につながるおそれがあります。

- ●交通量の多い道
- ●急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- ●雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- ●急な下り坂や急で勾配の変化が激しい坂 急な下り坂では設定車速以上になることがあります。
- ●高速道路の出入り口
- ●レーダーセンサーが正しく働かないような悪天候時(霧・雪・砂嵐・激しい雨など)
- ●接近警報がひんぱんに鳴るとき

■センサーが正しく検知しないおそれのある先行車

次のような場合は、必要に応じてブレーキで減速してください。 センサーが正しく車両を検知できず、接近警報 (→ P. 224) も作動しないため、重 大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●先行車が急に割り込んできたとき
- ●先行車が低速で走行中のとき
- ●停車中の車がいるとき
- ●先行車の後部分が小さすぎるとき(荷物を積んでいないトレーラーなど)
- ●同じ車線を二輪車が走行中のとき

■車間制御が正しく働かないおそれのある状況

次の状況では、必要に応じてブレーキで減速してください。 レーダーセンサーが正常に車両を検知せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死 亡につながるおそれがあります。

- ●周囲の車両より水や雪がまき散らされ、レーダーセンサーの作動のさまたげになる 場合
- ●自車の車両姿勢が上向きになる場合(重い荷物を積んだときなど)
- ●カーブ路や車線幅が狭い道路などを走行する場合
- ●ハンドル操作が不安定な場合や、車線内の位置が一定でない場合
- ●先行車が急ブレーキをかけた場合

■レーダーセンサーの取り扱い

レーダークルーズコントロールが効果を発揮できるように次のことをお守りください。お守りいただかないと、センサーが正しく作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ●センサーとグリルカバーは常にきれいにしておく お手入れをする際は、センサーやグリルカバーを傷付けないよう、やわらかい布を 使ってください。
- ●センサー周辺への強い衝撃を避ける センサーの位置がずれると、システムに異常が起こるおそれがあります。センサー、 または周辺に強い衝撃を受けた際は、必ずレクサス販売店にて点検を受け、調整し てください。
- ●センサーを分解しない
- ●センサーやグリルカバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカーを貼ったりしない
- ●センサーやグリルカバーを改造したり塗装したりしない
- ●純正品以外の部品に交換しない
- ●センサーは電波法の基準に適合しています。センサーに貼り付けられているラベル はその証明ですので、はがさないでください。また、センサーを分解・改造すると 罰せられることがあります。

LKA(レーンキーピングアシスト)★

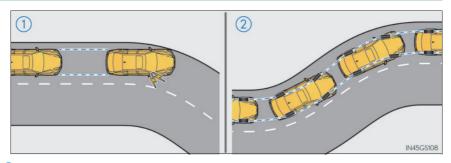
機能概要

白(黄)線の整備された高速道路や急なカーブがない自動車専用道路を走行中に、インナーミラーの上の白線認識用カメラを利用して車線を認識させることにより、車線内の走行を支援します。

白線認識用カメラ



LKA に含まれる機能



1 車線逸脱警報機能

車線から逸脱する可能性があるとシステムが判断した場合に、ブザーや画面表示、体感警報[※]を用いて注意をうながします。

※ ハンドルに短時間、車線の中央方向への小さな操舵力を与えます。

(2) 車線維持支援機能

- ・車線逸脱警報機能が作動中に、車速が約65km/h以上でレーダークルーズコントロール (→ P. 219)の車間制御モードがセットされたときに、車線維持支援機能が作動します。
- ・小さい操舵力を連続的に与えることにより、車線中央付近を走行しやす いように運転者のハンドル操作を支援します。

車線維持支援機能中に、ハンドルを操作しなかったり、ハンドルに軽く手を添えた運転が続いたりしたときは、機能が一時的に解除されます。 (→ P. 235)

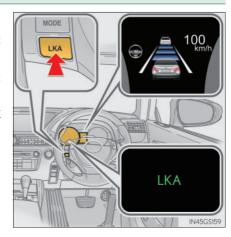
設定のしかた

LKA を使用するにはスイッチを押す

メーター内の LKA 表示灯が点灯しま す。

解除するには再度スイッチを押しま す。

LKA はパワースイッチが ON モードに なるたびに解除されます。



各機能の作動条件

■ 車線逸脱警報機能

- 車速が約 50km/h 以上のとき
- 車線の幅が 2.8m 以上のとき
- 直線路または半径 120m よりゆるいカーブを走行しているとき

■ 車線維持支援機能

- 車速が約 65 ~ 100km/h のとき
- レーダークルーズコントロールの車間制御モードが ON で、設定車速が 65km/h 以上のとき (レーダークルーズコントロールが定速制御モード のときは、作動しません)
- 車線の幅が約 2.8 ~ 4.0m のとき
- 直線路または半径 230m よりゆるいカーブを走行しているとき

マルチインフォメーションディスプレイ表示

LKA が制御中のとき、車線表示とハンドル表示によって、LKA が作動していることを表示します。

(1) 車線維持支援機能の作動表示

ハンドル表示:

機能が作動中であることを示しています。(このときに車線逸脱警報が作動すると、橙色で点滅します)

ハンドル非表示:

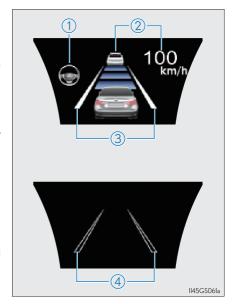
機能が作動していないことを示しています。(このとき "ピピッ" というブザーが鳴ります)

- ② レーダークルーズコントロール表示
- ③ 車線逸脱警報機能表示 (白線の内側が白いとき):

機能が白(黄)線を認識していることを示しています。(このとき車線逸脱警報が作動すると、橙色で点滅します)

④ 車線逸脱警報機能表示 (白線の内側が黒いとき):

> 機能が白(黄)線を認識できていない、 または機能が一時的に解除されている ことを示しています。



□知識

■機能の一時解除

次のいずれかの場合、機能を一時的に解除します。解除されたときの状況が改善されると、作動を再開します。

- ■車線変更に相当する程度の操舵力でハンドルを操作したとき
- ●システムが手放し運転をしていると判断したとき(車線維持支援機能は一時的に解除されますが、車線逸脱警報機能は継続します)
- ●方向指示レバーを操作したとき
- ●作動条件以外の車速になったとき(車線維持支援機能の作動中はブザーが鳴ります)
- ●走行中の白(黄)線が認識できなくなったとき(車線維持支援機能の作動中はブザーが鳴ります)
- ●ワイパースイッチを高速作動にしたとき、またはAUTOモードにしてワイパーが高速 作動したとき(車線維持支援機能は一時的に解除されますが、車線逸脱警報機能は 継続します)
- ●車体のおよそ半分以上が白(黄)線をまたいだとき(車線維持支援機能は一時的に解除されますが、車線逸脱警報機能は継続します)
- ●車線逸脱警報機能が作動したとき車線逸脱警報機能が作動してから数秒間は、再度車線を逸脱しても警報は作動しません。

■車線逸脱警報について

路面状況などにより、体感警報が感じにくい場合があります。

■手放し運転警告について

車線維持支援機能中に、直線路で約15秒、またはカーブで約5秒ハンドルを操作しないと、"ピピッ"とブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイの表示が点滅し、機能が一時的に解除されます。ハンドルに軽く手を添えた運転が続いたときも同様です。

ただし路面状況などにより、作動が中断しない場合があります。

■炎天下に駐車したあとは

走行開始後、しばらくのあいだ LKA は作動せず、警告メッセージ (\rightarrow P. 390) が表示されることがあります。室内温度が低下し、白線認識用カメラ周辺 (\rightarrow P. 231) の温度が適温になると作動するので、いったん LKA スイッチを OFF にして、しばらくしてから ON にしてください。

■白(黄)線が片側にしかないとき

車線維持支援機能は作動しません。また、白(黄)線が認識できていない方向への車 線逸脱警報は作動しません。

■機能が正常に作動しないおそれのある状況

次の状況では、LKA が作動しない、または十分な性能が確保できない場合があります。 また、白線認識用力メラが白(黄)線を正しく検知できず、車線逸脱警報機能が誤作 動したり、車線維持支援機能が正しく作動しないことがありますが、故障ではありま

- ●料金所や検札所の手前や交差点など、白(黄)線がない場所を走行するとき
- ●急カーブを走行するとき
- ●車線の幅が極端に狭いときや広いとき
- ●重い荷物の積載やタイヤ空気圧の調整不良などで、車両が著しく傾いているとき
- ●先行車との車間距離が極端に短くなったとき
- ●車線が黄色のとき(白線にくらべて認識率が低下することがあります)
- ●白(黄)線がかすれていたり、キャッツアイや置き石などのとき
- ●白(黄)線が砂ぼこりなどで見えない、または見えにくくなっているとき
- ●白(黄)線と平行に近い影があったり、白(黄)線が影の中にあるとき
- コンクリート路のような明るい路面を走行するとき
- ●照り返しなどにより明るくなった路面を走行するとき
- ●トンネルの出入口など明るさが急変する場所を走行するとき
- ●対向車のヘッドランプ光・太陽光などがカメラに入射するとき
- 分岐・合流路などを走行するとき
- ●雨天・雨上がり・水たまりなどぬれた路面を走行するとき
- ●悪路や道路の継ぎ目などを走行時に、車両に大きな上下動が発生するとき
- ●夜間にヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや、光軸がずれているとき
- ●横風を受けて走行しているとき
- ●左右に傾いた道路やうねった道路を走行するとき
- ●舗装されていない道路や荒れた道路を走行するとき

■タイヤを交換したとき

タイヤによっては十分な性能が確保できない場合があります。

■LKA の警告メッセージ・警告ブザー

走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッ セージ・警告表示・警告ブザーで注意をうながします。(→ P. 380, 390)

■LKA をお使いになる前に

LKA を過信しないでください。LKA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。

適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるお それがあります。

■誤操作を防ぐために

LKA を使用しないときは、LKA スイッチでシステムを OFF してください。

■LKA を使用してはいけない状況

次の状況では、LKA を使用しないでください。 適切な制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●スタッドレスタイヤ・応急用タイヤ・タイヤチェーンなどを装着しているとき
- ●タイヤの残り溝が十分にないとき、または空気圧が不足しているとき
- ●路側物に白(黄)線と見間違えるような構造物・模様があるとき(ガードレール・ 縁石・反射ポールなど)
- ●雪道を走行するとき
- ●雨・雪・霧などで白(黄)線が見えにくいとき
- ●道路の修復で、アスファルト修復跡や白(黄)線の跡が残っているとき
- ●雨天時や積雪・凍結などですべりやすい道路を走行するとき
- ●高速道路などの本線(走行車線・追いこし車線)以外の車線を走行するとき
- ●工事による車線規制や仮設の車線を走行するとき

⚠ 注意

■LKA の故障や誤作動を防ぐために

- ヘッドランプを改造したり、ランプの表面にステッカーなどを貼ったりしないでください。
- ●サスペンションなどを改造したり、純正品以外の部品に交換したりしないでください。
- ●ボンネットやグリルの上には、何も取り付けたり置いたりしないでください。また、グリルガード(ブルバー・カンガルーバーなど)を取り付けないでください。
- ●サンバイザーを改造したり、純正品以外のものに交換したりしないでください。
- ●フロントウインドウガラスの修理が必要な場合は、レクサス販売店にご相談ください。



■白線認識用カメラ (→ P. 231)

LKA の故障や誤作動を避けるために、次のことをお守りください。

- ●フロントウインドウガラスは、いつもきれいにしておく 汚れていたり、雨滴・結露・氷雪などが付着していたりすると、性能が低下することがあります。
- ●カメラのレンズ前のフロントウインドウガラスにステッカーなどを貼らない
- ●カメラの近くには、何も取り付けたり、置いたりしない



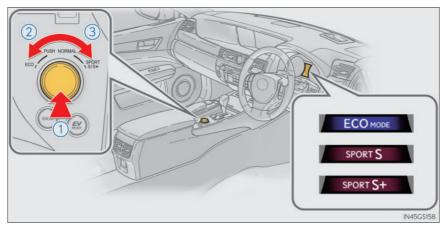
- インナーミラーがカメラのレンズ前にかからないようにする
- ●フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない
- カメラのレンズ前にアンテナを取り付けない
- フロントウインドウガラスが曇った場合は、フロントデフロスターでガラスの曇りを取る

寒冷時などにヒーターを足元モードで使用していると、フロントウインドウガラス の上部が曇り、映像に影響を与えることがあります。

- ●ダッシュボードの上にものを置かない フロントウインドウガラスに映り込んだ映像を、白(黄)線と誤って認識する場合 があります。
- ●カメラのレンズを汚したり、傷を付けたりしない フロントウインドウガラスの内側を掃除するときは、ガラスクリーナーなどがレン ズに付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。 カメラのレンズのお手入れは、レクサス販売店にご相談ください。
- ●カメラの向きは細密に調整されているため、取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない
- ●カメラに強い衝撃や力を加えない、また分解しない

ドライブモードセレクトスイッチ

走行・使用状況に合わせて次のモードを選択できます。



1 ノーマルモード

通常の走行に適しています。

エコドライブモードまたはスポーツモード時にスイッチを押すと、ノーマルモード にもどります。

(2) エコドライブモード

通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆる やかになり、またエアコン(暖房/冷房)の作動を抑え、燃費を向上させ る走行に適しています。

エコドライブモード以外のときにスイッチを左へまわすとエコドライブモードに 切りかわり、マルチインフォメーションディスプレイに「ECO MODE」と表示さ れます。

③ スポーツモード

・スポーツSモード

ハイブリッドシステムの制御により、アクセルレスポンスを向上させ、山 岳路などできびきびとした走りを楽しみたいときに適しています。

スポーツ S モード以外のときにスイッチを右へまわすとスポーツ S モードに切りかわり、マルチインフォメーションディスプレイに「SPORT S」と表示され、ハイブリッドシステムインジケーターからタコメーター表示に切りかわります。 (\rightarrow P. 82)

また、サイド画面にもドライブモード 画面が自動で表示されます。



・スポーツS+モード

ハイブリッドシステムに加え、ステアリングやサスペンションを総合的に 制御することにより操縦性・安定性の確保に貢献し、スポーティーな走り を楽しみたいときに適しています。

スポーツ S モードのときにスイッチを右へまわすとスポーツ S +モードに切りかわり、マルチインフォメーションディスプレイに「SPORT S +」と表示され、ハイブリッドシステムインジケーターからタコメーター表示に切りかわります。 (\rightarrow P. 82)

また、サイド画面にもドライブモード 画面が自動で表示されます。



□知識

■エコドライブモード時のエアコン作動について

エコドライブモードは、暖房/冷房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。空調の効きをよりよくしたいときは、風量の調整またはエコドライブモードの解除をしてください。

詳しくは別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

■エコドライブモード時のシートヒーター自動作動について

エコドライブモードは、暖房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。寒冷時にエコドライブモードを選択すると、暖房性能を補助するためシートヒーターが自動で作動することがあります。(→ P. 298)

■スポーツモードの自動解除

スポーツモードを選択して走行後、パワースイッチを OFF にし、再度パワースイッチを ON モードにした場合は、自動でノーマルモードにもどります。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で 作動します。ただし、これらのシステムは補助的なものなので、過信せずに 運転には十分に注意してください。

◆ ABS (アンチロックブレーキシステム)

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防 ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ ナビ・ブレーキアシスト

ナビゲーションシステムからの情報を利用したブレーキアシストです。 一時停止を見落としている可能性がある場合に、音声で注意喚起し、その 後、運転者の急ブレーキ操作に対して、ブレーキの効きを強める機能です。 別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

◆ VSC (ビークルスタビリティコントロール)

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC(トラクションコントロール)

すべりやすい路面での発進時や加速時に後輪の空転を抑え、駆動力の確保に貢献します。

◆ VGRS (バリアブルギヤレシオステアリング) *

車速やハンドルの動きに合わせて、フロントホイールが切れる角度を調整 します。

◆ DRS (ダイナミックリヤステアリング) ★

ハンドル操作に応じて後輪もわずかに切れることより、車両の旋回性や応 答性に寄与します。

◆ EPS (エレクトリックパワーステアリング)

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

NAVI · AI-AVS (AVS: アダプティブバリアブルサスペンションシステム)

路面の状態や運転操作などに応じ、ショックアブソーバーの減衰力を4輪独立に制御することで、なめらかな乗り心地と優れた操縦安定性の確保に 貢献し、車両の姿勢維持に寄与します。

また、ドライブモードセレクトスイッチでスポーツS+E-Fを選択したときには、スポーツ走行に適した減衰力に切りかわります。 ($\rightarrow P.~240$)

◆ LDH (レクサスダイナミックハンドリングシステム) ★

VGRS・DRS・EPS を総合的に制御します。ハンドル操作と車速に応じて、前輪・後輪の切れる角度を制御することで、低速では旋回性、中速では応答性、高速では安定性の向上に寄与します。

◆ VDIM (ビークルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント)

ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・EPS・VGRS★・DRS★・トランスミッションを総合的に制御します。

すべりやすい路面の走行などで急な運転操作をした際に、ブレーキ・ハイブリッドシステム出力・ハンドル操作力・前輪/後輪の切れる角度などを制御することで、車両の安定性確保に貢献します。

◆ PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★

→ P. 251

◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に制動灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意を うながし、追突される可能性を低減させます。

TRC・VSC・ABS が作動しているとき

TRC・VSC・ABS が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



TRC や VSC を停止するには

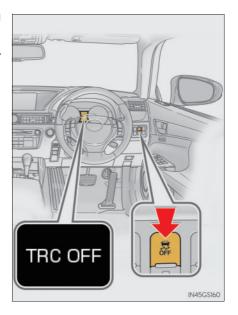
ぬかるみや新雪などから脱出するときに、TRC や VSC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。

このようなときに VSC OFF スイッチを押すことにより、脱出しやすくなります。

■ TRC を停止するには

TRC を停止するにはスイッチを押す

マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。 もう一度スイッチを押すと、システム作動可能状態にもどります。

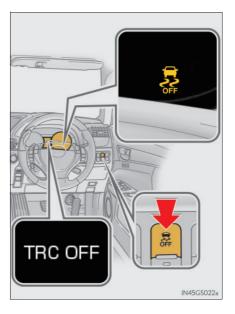


■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには、停車 時にスイッチを押し 3 秒以上保持 する

スリップ OFF 表示灯が点灯し、マ ルチインフォメーションディスプレ イに「TRC OFF」と表示されます。 もう一度スイッチを押すと、システ

ム作動可能状態にもどります。



□ 知識

■VSC OFF スイッチを押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに TRC OFF 表示がされたとき

TRC が作動できない状態になっています。レクサス販売店にご相談ください。

■VGRS の作動が停止する場合

次の状況では VGRS が作動を停止することがあります。この場合、直進のハンドル位置がずれることがありますが、システムの復帰と共にもとにもどります。

- ●停車中か極低速走行中に長時間ハンドルを操作し続けたとき
- ●ハンドルをいっぱいに切った状態で、長く力をかけ続けたとき これらの状況が改善されれば、システムは復帰します。

■補機バッテリー端子の脱着をしたときは

ハンドルの直進位置がずれる場合がありますが、そのまま走行することで自動的に修正されます。

■ABS・ブレーキアシスト・VSC・TRC・VGRS の作動音と振動

- ●ハイブリッドシステム始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときに、 エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- ●上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・車体やハンドルに振動を感じる
 - ・車両停止後もモーター音が聞こえる

■EPS・VGRS・DRS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音("ウィーン"という音)が聞こえることがありますが、異常ではありません。

■TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にした場合でも、ハイブリッドシステム停止後に再始動すると、自動的に TRC と VSC は作動可能状態にもどります。

■TRC OFF の作動制限

TRC のみ作動を停止している場合は、車速が高くなると TRC は作動を再開します。 ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による作動再開はありません。

■EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPSの効果が下がりハンドルが重く感じられるようになります。※その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。しばらくすると効果が改善されます。

※ その際、LKA (レーンキーピングアシスト)が作動できない場合もあり、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されます。

■ NAVI · AI-AVS の NAVI 協調機能について

ナビゲーションの道路コーナー情報により、コーナーの前からあらかじめ減衰力を制御します。これにより、優れたコーナーリング性能を確保します。ナビゲーションにおいてルート探索可能な道路で作動します。

■緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 事業点滅灯が点滅していないこと
- ●車速 55km/h 以上
- ●ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

■緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- ●非常点滅灯を点滅させた
- ●ブレーキペダルを離した
- ●車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

■ABS の効果を発揮できないとき

- ●タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- ●雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- ●泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- ●タイヤチェーンを装着しているとき
- ●道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- ●凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■スリップ表示灯が点滅しているとき

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無 謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に 慎重に運転してください。

■TRC や VSC を OFF にするとき

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。 そのため、必要なとき以外は TRC 機能、VSC 機能を作動停止状態にしないでくだ さい。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に 慎重な運転を心がけてください。

■タイヤを交換するとき

4輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・銘柄・トレッドパターン(溝模様)の タイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。(→ P. 446) 異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC が正常に作動しません。 タイヤ、またはホイールを交換するときは、レクサス販売店に相談してください。

■タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助 するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

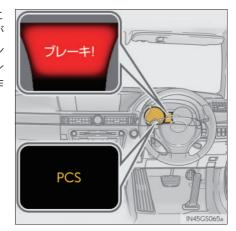
PCS(プリクラッシュセーフティシステム)★

レーダーセンサーにより、前方の車両や障害物と衝突の可能性があると判断したときに、警報により運転者に対して回避操作をうながし、衝突の防止に役立ちます。前方の障害物と衝突の可能性が高い、または前方の障害物と衝突が避けられないと検知したとき、自動的にシートベルトやブレーキなどに働きかけ、車両損傷の低減に寄与します。

必要に応じて、スイッチ操作でプリクラッシュセーフティシステムの ON / OFF を切りかえることができます。 (\rightarrow P. 253)

◆ 衝突警告表示

衝突の可能性が高いと検知したとき、"ピピピ・・・"とブザー音が鳴り、PCS 警告灯が点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに衝突警告表示を出し、回避操作をうながします。



◆ プリクラッシュシートベルト(フロント席)

プリクラッシュセンサーにより衝突物が検知され、衝突が避けられないと 判断したとき、衝突前にシートベルトを巻き取ります。

また、急ブレーキをかけたときや、車がコントロールを失ったときも同様 に作動します。(→ P. 29)

◆ プリクラッシュブレーキアシスト

衝突の可能性が高いときには、ブレーキペダルが踏まれる強さに反応して ブレーキ力を増強します。

◆ プリクラッシュブレーキ。

衝突の可能性が高いときに警告灯・警告表示・ブザー音で警報を行い、さ らに衝突が避けられないと判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝 突速度を低減します。

◆ サスペンションコントロール

衝突が避けられないと判断したとき、NAVI·AI-AVS (→ P. 240) の働き を利用して、ショックアブソーバーの減衰力を最適に制御します。

◆ ステアリングコントロール★

衝突の可能性が高く、かつハンドル操作がされたとき、LDH によって前・ 後輪の切れ角とハンドルの重さを制御し、ハンドル操作に対する応答性を 高めます。

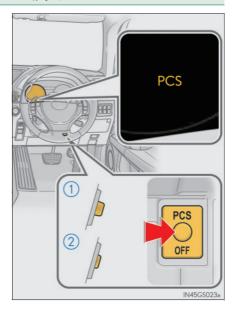
◆ ドライバーモニター*

衝突の可能性があり、かつ運転者が正面を向いていない、または運転者の 眼が閉じていると判断した場合に、より早い段階で警報し、早期に危険を 知らせます。さらに衝突の可能性が高まり、作動条件(→ P. 254)を満 たした場合は、警報ブレーキが作動します。

プリクラッシュセーフティシステムの切りかえ

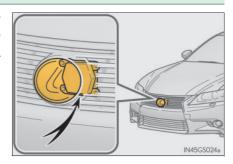
- (1) ON
- (2) OFF

OFF にすると PCS 警告灯が点灯します。



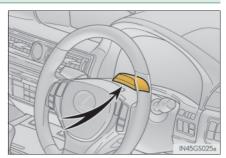
レーダーセンサー

走行中に路上またはその付近に車や 障害物があるかどうかを検知し、その 位置や速度・進路から衝突するおそれ があるかどうか判断します。



ドライバーモニター用カメラ(ドライバーモニター装着車)

運転者の顔の向きと眼の開閉状態を 検知し、正面を向いていない、または 眼を閉じている状態をシステムが判 断します。



| 知識

■システムの作動条件

PCS OFF スイッチが押されておらず、次の状態のとき、作動します。

- ●警報の作動条件:
 - ・ 車速が約 15km/h 以上
 - ・ 自車から見た対向車か障害物の接近速度が約 15km/h 以上
- ●プリクラッシュシートベルトの作動条件(1):
 - ・ 車速が約30km/h以上
 - ・緊急ブレーキや車両の横すべりを判断したとき
 - フロント席の乗員がシートベルトを着用している
- ●プリクラッシュシートベルトの作動条件②:
 - ・車速が約 5km/h 以上
 - ・ 自車から見た対向車か障害物の接近速度が約 30km/h 以上
 - フロント席の乗員がシートベルトを着用している
- プリクラッシュブレーキアシストの作動条件:
 - 車速が約30km/h以上
 - ・ 自車から見た対向車や障害物の接近速度が約 30km/h 以上
 - ブレーキペダルが踏まれているとき
- ●プリクラッシュブレーキの作動条件:
 - ・ 車速が約 15km/h 以上
 - ・ 自車から見た先行車や障害物との接近速度が約 15km/h 以上
- ●サスペンションコントロールの作動条件:
 - ・車速が約 5km/h 以上
 - ・ 自車から見た先行車や障害物との接近速度が約 30km/h 以上
- ●ステアリングコントロールの作動条件:
 - · 車速が約 30km/h 以上
 - ・ 自車から見た先行車や障害物の接近速度が約 30km/h 以上
- ●警報ブレーキの作動条件(ドライバーモニター装着車のみ):
 - 運転者が正面を向いていない、または眼を閉じていると判断したとき
 - ・車速が約 40km/h 以上
 - ・ 自車から見た先行車との接近速度が約 40km/h 以上
 - · 車両直進状態

■衝突の可能性がなくてもシステムが作動するとき

衝突の可能性がなくても、次の場合、システムが作動することがあります。

- ●カーブ入り口の道路脇に障害物があったとき
- カーブで対向車とすれ違ったとき
- ●狭い鉄橋を走行したとき
- ●路面に金属物があったとき
- ●凹凸のある路面を走行したとき
- ●右折時に対向車とすれ違ったとき
- ●前を走っている車に急に近付いたとき
- 立体交差・標識・看板などが進行方向に見えたとき
- ▶り坂走行中に看板などの上方金属物が前方に見えるとき
- ●陸橋を通過したとき
- ●車両姿勢が極端に変化しているとき
- ●ETC ゲートを高速で通過したとき
- ●レーダーセンサー周辺への強い衝撃などにより、レーダーセンサーの向きがずれているとき

また、このとき、シートベルトがすばやく引きもどされたり、ブレーキをかけたとき に通常よりブレーキが強くかかったりすることがあります。シートベルトが巻き取ら れた状態でロックした場合は車を安全な場所に停止してシートベルトをはずし、再度 装着してください。

■センサーが検知しない場合

パイロンなどのプラスチック類は検知できません。人や動物・二輪車・木・雪の吹き だまりなどは検知しない場合があります。

■システムの作動しない環境

プリクラッシュセーフティシステムは、想定されていない状況では有効に作動しない 場合があります。

- ●きついカーブや起伏がある場所
- ●交差点などで、自車の進行方向に急な飛び出しがある状況
- 白重の進行方向に重の急な割り込みがある状況
- ■雨・霧・雪・砂嵐などの悪天候の状況
- ●車が横すべりしている状態
- ●車両姿勢が極端に変化している状態

■システムの自動解除

システムの異常が検知された場合、センサーが障害物を検知できない状況(センサーの汚れなど)では、システムの動作が自動的に解除されます。このような場合には、衝突の可能性があってもシステムは有効に作動しません。

■システムに異常があるとき

PCS 警告灯が点滅し、警告メッセージが表示されます。(→ P. 372, 379)

▲ 警告

■安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

プリクラッシュセーフティシステムは運転者が衝突の危険を見逃してしまった場合に、警報やブレーキ制御により運転者を支援するものです。本システムだけで衝突を回避したり、安全に停止するというものではないため、システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、状況によっては有効に機能しない場合があります。

■レーダーセンサーの取り扱い

プリクラッシュセーフティシステムが効果を発揮できるように次のことをお守りください。お守りいただかないと、センサーが正しく作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ●センサーとグリルカバーは常にきれいにしておく お手入れをする際は、センサーやグリルカバーを傷付けないよう、やわらかい布を 使ってください。
- ●センサー周辺への強い衝撃を避ける センサーの位置がずれると、システムに異常が起こるおそれがあります。センサー、 または周辺に強い衝撃を受けた際は、必ずレクサス販売店にて点検を受け、調整し てください。
- ●センサーを分解しない
- ●センサーやグリルカバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカーを貼ったりしない
- ●センサーやグリルカバーを改造したり塗装したりしない
- ●純正品以外の部品に交換しない
- ●センサーは電波法の基準に適合しています。センサーに貼り付けられているラベル はその証明ですので、はがさないでください。また、センサーを分解・改造すると 罰せられることがあります。

■顔向き/眼の開閉判定について(ドライバーモニター装着車)

次のときは正常に顔向き/眼の開閉判定ができない場合があります。

- カメラと顔のあいだにさえぎるものがあるとき (カメラの前にものを置くなど)
- ●顔の一部が隠れる状況
- ■太陽光などの強い光が、直接顔やカメラにあたる状況
- ●正しい運転姿勢をしていないとき

■ドライバーモニター用カメラの取り扱い(ドライバーモニター装着車)

ドライバーモニターの効果を発揮できるように次のことをお守りください。 お守りいただかないと、故障の原因になったり、顔向き/眼の開閉判定ができない おそれがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●カメラを改造したり、傷付けたり、持ち上げたり、引っぱったりしない
- ●走行中はカメラをさわらない
- ●カメラをぬらしたり、飲料水をかけたりしない
- ●カメラにものを落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えない
- ●カメラ前面部に傷・汚れ・シール貼りなどがないようにする
- ●カメラ前面部の前にものを置いたり、覆ったりしない

■システムの支援内容に関する注意点

プリクラッシュセーフティシステムは、警報やブレーキ制御により衝突回避支援を 行うために、運転者が「見る」・「判断する」・「操作する」過程で、支援を行います。 システムの支援には限界があるため、次の点に注意してください。

- ●運転者が見る過程での支援内容
 - プリクラッシュセーフティシステムは、前方の障害物を可能な範囲で検知するのみであり、わき見やぼんやり運転を許容するシステムでも、視界不良時の運転を補助するシステムでもありません。運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。
- ●運転者が判断する過程での支援内容 プリクラッシュセーフティシステムは、検知しうる前方の障害物の情報のみから衝 突の可能性を判断するものです。安全の確保の判断は運転者自らが行う必要があり ます。
- ●運転者が操作する過程での支援内容 被害軽減制動制御は、衝突が避けられないと判断した段階で作動するもので、単独 で衝突を回避したり、安全に停止させるものではありません。このため、危険性が あれば自らが安全を確保する必要があります。

⚠ 注意

- ■ドライバーモニター用カメラのお手入れ時の注意(ドライバーモニター装着車)
 - ●傷を付けないよう、やわらかい布で軽くふいてください。
 - ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよくしぼってふき取 り、その後、乾いた布でふいてください。
 - ●ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・ワックスなどを使用しないでください。

ナイトビュー(歩行者検知機能付)★

ナイトビューは、夜間の走行を補助するシステムです。

夜間に肉眼では見えにくい前方の歩行者・障害物・道路状況を、投光器から 照射した近赤外線の反射光をカメラで撮影・映像化して、ナビゲーション画 面に表示します。

また、歩行者検知機能により歩行者の位置を強調表示※します。(→ P. 260)

※ 周囲の状況によっては強調表示しないことがあります。

ナイトビュー画面の表示のしかた

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- 2 ヘッドランプを点灯する
- 3 ナイトビュースイッチを押す

ナビゲーション画面にナイトビュー画 面が表示されます。

もとにもどすには再度スイッチを押します。

ライトセンサー (→ P. 194) が周囲の 明るさの状態から夜と判断していない ときは、ナイトビュースイッチを押し てもナイトビュー画面は表示できませ ん。



歩行者検知機能について

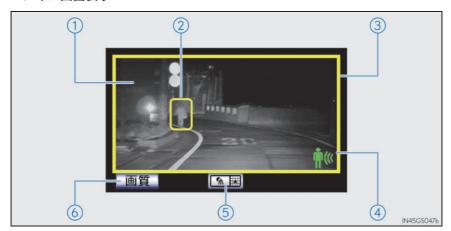
映像から歩行者を検知すると、次のように表示することにより運転者に注意 をうながします。

- ヘッドアップディスプレイへ検知表示をする (→ P. 96)
- 画面が3回白く点滅する
- 歩行者の位置を黄色の枠で表示する(歩行者検知枠)
- 画面の輪郭を黄色の枠で表示する(注意喚起枠)

歩行者検知機能は、ナイトビュー作動中で車速が約15~80km/hのとき、 作動します。

ナイトビュー画面表示について

■ メイン画面表示



1 ナイトビュー画面

歩行者を検知すると3回白く点滅します。

- ② 歩行者検知枠
 - ・歩行者を検知すると注意喚起枠と共に表示されます。
 - ・検知された人数分の歩行者検知枠が表示されます。
 - ・歩行者が検知されなくなると注意喚起枠と共に表示が消えます。
- ③ 注意喚起枠
 - ・歩行者を検知すると歩行者枠と共に表示されます。
 - ・歩行者が検知されなくなると歩行者検知枠と共に表示が消えます。
- (4) 歩行者検知作動インジケーター

歩行者を検知可能かどうかアイコンで知らせます。





(5) サイド画面※表示切りかえスイッチ

ナイトビューをメイン画面で表示しているとき、リモートタッチ[※]を使って選択するとサイド画面を地図表示に変更できます。

再度スイッチを選択すると、もとの表示画面にもどります。

※ 別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

(6) 画質調整表示切りかえスイッチ

リモートタッチ[※]を使って選択すると表示画面の明るさを調整できます。

お好みの明るさに調整したあと、「完了」を選択してください。

「明」: 明るくする 「暗|: 暗くする



※ 別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

■ サイド画面表示

ナイトビューをメイン画面に表示中、 他の画面をメイン画面に表示すると、 ナイトビュー画面はサイド画面に表示されます。

(1) ナイトビュー画面

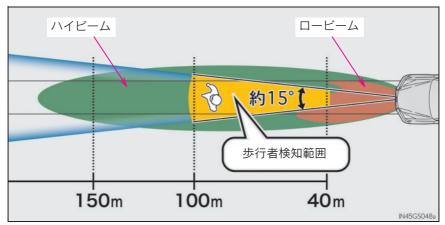
メイン画面と同様に、歩行者検知枠・ 注意喚起枠・歩行者検知作動インジ ケーターが表示されます。(→ P. 261)

② メイン画面表示スイッチ

ナイトビューを、サイド画面表示から メイン画面表示へ切りかえます。



ナイトビューが映し出せる範囲



■ 映像化できる範囲

ヘッドランプのロービーム照射範囲の先から、ハイビーム照射範囲の先までです。

■ 歩行者検知の範囲

車両前方約 15° 以内、距離は約 $40 \sim 100$ m のあいだまでです。 車両の速度に応じて検知範囲はかわります。

□知識

■歩行者検知機能が作動しない環境

- ●ワイパーが連続で作動したとき
- ●周囲の明るさが一定以上のとき ナイトビュー画面を表示可能な周囲の明るさと、歩行者検知機能が作動する周囲の の明るさは異なるため、ナイトビュー画面が表示されても歩行者検知機能が作動し ないことがあります。

■ナイトビュー作動中で車速が約 15km/h 以下のとき

近赤外線が照射されなくなるため、ナイトビュー画面に映像は表示されますが、映像 化できる範囲や距離に制限があります。

■ナイトビューが作動可能なとき以外にナイトビュースイッチを押したとき ナビゲーション画面にアドバイス情報が表示されます。表示されたアドバイスに従っ てください。

■ナビゲーションシステムの起動完了前

ナビゲーションシステムの起動完了前にナイトビュースイッチを押しても、ナイトビュー画面は表示できません。

■ナイトビュー作動中にシフトレバーを R にしたとき

ナイトビュー画面は次のように切りかわります。

メイン画面:バックガイドモニター画面に切りかわります。

サイド画面:黒色になり映像は表示されません。

■ナイトビューをお使いになる前に

ナイトビューを過信しないでください。

ナイトビューは、夜間走行中に見えにくい前方の道路状況、歩行者認知を補助する ものです。機能には限界がありますので、使用する場合は次の警告内容をお守りい ただいた上で、安全運転に心がけてください。

■ナイトビュー画面について

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●通常の目視のかわりに、ナイトビュー画面のみを見て運転しないでください。
- ●運転中にナイトビュー画面を見続けないでください。前方の歩行者、障害物などを 見落とすおそれがあり危険です。ナイトビューはあくまで運転の補助として使用し てください。
- ●ナイトビューは夜間のカーブの少ない道路を走行するときに運転者の視覚を補助するためのものです。坂道やカーブの多い場所、市街地では使用しないでください。道路形状(カーブの大きさ・勾配など)により表示できない場所があります。
- ●ナイトビューはすべてのものを明るく映像化できるわけではありません。全体が暗く映ったり、一部が見えにくくなることがあります。ナイトビューを過信せずに、ナイトビューを装着していない車と同様、必ず周囲の安全を確認しながら慎重に運転してください。

映像に映りにくいもの:

- 特定の素材の衣類(本革ジャケットなど)
- 看板の文字
- 道路案内板の情報など

映像が映りにくい状況:

- ・雨・霧・降雪・吹雪などの悪天候時
- ・雨上がりの水たまりなど路面反射が大きいとき
- カメラ前面のフロントウインドウが曇っているとき・汚れているとき・氷結しているとき
- ヘッドランプ付近に氷・雪・泥などが付着しているとき
- ・ 著しく補機バッテリーの電圧が低下しているとき
- ・対向する強い光源が前方にあるとき

■注意喚起枠について

注意喚起枠は、ナイトビューの歩行者検知機能が歩行者を検知したときに表示され、 運転者に注意を促すものです。

- ●注意喚起枠が表示された場合は、前方に歩行者がいるおそれがあるため、周囲の安 全を十分に確認して運転してください。
- ●注意喚起枠が出ても、ナイトビュー画面を見続けないでください。前方の危険を見 落とすおそれがあります。
- ●天候や道路状況、歩行者の状況により注意喚起するタイミングが遅くなり、歩行者 との距離が近くなる場合があります。注意喚起枠が出た場合は、まず直接周囲の安 全を十分に確認して運転してください。
- ●わき見運転の状態では機能を発揮できません。

■歩行者検知機能について

歩行者検知機能には限界があります。機能作動状態でも、次のような歩行者を検知 できないおそれのある状況では作動しないことがあります。

- ●映像が映りにくい状況
 - ・雨・霧・降雪・吹雪などの悪天候時
 - ・ワイパー作動中および間欠作動時(ワイパー低速作動、高速作動中は歩行者検 知機能を停止)
 - カメラ前面のフロントウインドウが曇っているとき、汚れているとき、氷結し ているとき
 - ヘッドランプ付近に氷・雪・泥などが付着しているとき
 - ・ 著しく補機バッテリーの電圧が低下しているとき

など

- ●カーブや坂道・勾配のある道では、前方に歩行者がいても検知できない場合があり ます。
- ●街路灯・照明・対向車の強いライトなど、強い光のある状態では検知しない場合が あります。
- ●自車の前方に歩行者が飛び出したときは、正しく検知できない場合があります。
- ●歩行者検知範囲内でも、ガードレール・街路樹・柱・停車車両などで歩行者の体の 一部が隠れている場合は検知できません。

●歩行者検知機能は、近赤外線カメラの映像の中から明暗の差・形状・大きさで歩行者を判断しているため、機能には限界があります。また次の場合は、正しく検知できない場合があります。

体型・姿勢の影響:

- 寝ている人、しゃがんでいる人
- 身長 1 m 以下、または 2 m 以上の人
- 連れだって歩く複数の人(ナイトビュー画面で重なって見える場合)
- 横向きに立っている人
- ・手を上げている人

衣服の影響:

- ・ト下で反射率が大きく異なる服を着た人
- ・近赤外線カメラで暗く映るような近赤外線の反射率の低い服(本革ジャケットなど)を着た人
- ・コートや着物などで手足のシルエットのような特徴が出にくい服装の人
- 反射材のタスキなどを身に付けた人

持ち物の影響:

- ・ 傘をさしている人
- ・大きな荷物・かばんなどを持っている人

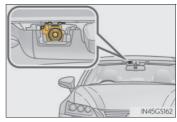
その他:

- ・自転車に乗った人、自転車を押している人
- ベビーカーを押している人
- ・車いすの人・車いすを押している人 など
- 動物は検知しません。
- ●歩行者検知機能は、近赤外線カメラの映像の中から明暗の差・形状・大きさで歩行者を判断しているため、人の形に似ているものがあった場合、誤認識することがあります(看板・植木・テールランプなど)。



■近赤外線カメラについて

ナイトビューの故障や誤作動を避けるため に、次のことをお守りください。



- ●フロントウインドウガラスは、いつもきれいにしておく 雨滴・結露・氷雪などの付着によって性能が低下することがあります。内側の汚れ が気になる場合は、ガーニッシュの脱着が必要なためレクサス販売店にご相談くだ さい。
- ●カメラに強い衝撃や力を加えない、または分解しない
- ●カメラの向きは厳密に調整されているため、取り付けを変更したり、取りはずしたりしない
- ●フロントウインドウガラスが曇ったときはフロントデフロスターでガラスの曇りを取る
 - 寒冷時などにヒーターを足元モードで使用していると、フロントウインドウガラス の上部が曇り、映像に影響を与えます。
- ●カメラのレンズを汚したり、傷を付けたりしない
- ●カメラのレンズ前のフロントウインドウガラスにシールなどを貼らない。

■近赤外線投光器について

ナイトビューの故障や誤作動を避けるため に、次のことをお守りください

- ヘッドランプ付近の汚れはナイトビューの 性能に影響を与えます。汚れている場合は洗 車などを行ってください。
- ●近赤外線投光器は目に見えない強いエネルギーを照射します。通常、停車時では近赤外線は照射されませんが、安全のため、近くで長時間のぞきこまないようにしてください。



ハイブリッド車運転のアドバイス

環境に配慮した経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

◆ エコドライブモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン(暖房/冷房)の作動を抑え、燃費向上につながります。(→P. 240)

◆ ハイブリッドシステムインジケーターの利用

メーター内のハイブリッドシステムインジケーターの針をエコエリアの 範囲に保つことで、環境に配慮した走行が可能です。(→ P. 81)

◆ 減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。 減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ 渋滞

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは燃費を悪化させます。お出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

◆ 高速道路での運転

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルペダルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時 に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ エアコンの ON / OFF

必要時以外は OFF にしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

夏季:

外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り燃費向上につながります。

冬季:

ガソリンエンジン・車室内が暖まるまで、ガソリンエンジンが自動停止しないので、燃料を消費します。また、過剰な暖房を避けると、燃費向上につながります。

◆ タイヤ空気圧の点検

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、 燃費の悪化につながります。

また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいため、乾燥した路面では燃費の悪化につながります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを 交換しましょう。

♦荷物

重い荷物が積まれていると、燃費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。また、大型ルーフキャリアの装着も重い荷物と同様に燃費の悪化につながります。

◆ 走行前の暖機運転

ガソリンエンジンが冷えているときは、ガソリンエンジンの始動/停止を 自動的に行いますので、暖機運転は必要ありません。

なお、短距離走行のくり返しは、暖機運転のためのガソリンエンジン始動がひんぱんに行われることになりますので、燃費の悪化につながります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転 してください。

冬を迎える前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・エンジンオイル
 - ・冷却水
 - ウォッシャー液
- 補機バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ (4 輪) やタイヤチェーン (後部タイヤ用) を使用してください。**

タイヤは4輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。

(タイヤについて: → P. 325)

※ 19 インチタイヤには、タイヤチェーンを取り付けないでください。

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま 湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分にふき取ってくださ い。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆつくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してくだ さい。

駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなる おそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをPに入 れて駐車し、輪止め※をしてください。

※ 輪止めは、レクサス販売店で購入することができます。

ワイパー停止位置の切りかえ(寒冷地仕様車)

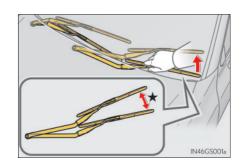
積雪や凍結のおそれがある場合は、あらかじめボンネット下に格納されてい るワイパーを積雪時の停止位置に切りかえておきます。

ワイパーアームのフック部をしっかり持って、ワイパー停止位置の切りかえ を行ってください。

■ 積雪時の停止位置にする

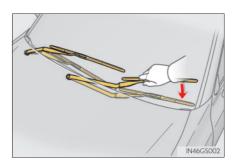
ガラス面にそって引き上げます。

★:10cm以上



■ 通常の停止位置にもどす

フック上部を手で押します。



□知識

■タイヤチェーンについて(19インチタイヤ装着車を除く)

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- ●安全に作業できる場所で行う
- ●後2輪に取り付ける
- ●タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- ●取り付け後約 0.5 ~ 1.0km 走行したら締め直しを行う

■寒冷地用ワイパーブレードについて

- ●降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。レクサス販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- ●高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

■冬用タイヤ装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- ●指定サイズのタイヤを使用する
- ●空気圧を推奨値に調整する
- ●装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない。
- ●冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する
- ■LKA (レーンキーピングアシスト) ★を使用しない

■タイヤチェーン装着時の警告(19 インチタイヤ装着車を除く)

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につなが り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低い方をこ える速度で走行しない
- ●路面の凹凸や穴を避ける
- ●急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使 用は避ける
- ●カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ
- ■LKA(レーンキーピングアシスト) *を使用しない

■駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止 めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



▲ 注意

■タイヤチェーンの使用について(19 インチタイヤ装着車を除く)

レクサス純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。 レクサス純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行の さまたげとなるおそれがあるものもあります。 詳しくはレクサス販売店にご相談ください。

■タイヤを修理・交換するとき

レクサス販売店へご依頼ください。 タイヤの取り付け・取りはずしはタイヤ空気圧バルブ/送信機の作動に影響します。 (タイヤについての詳しい説明は P. 325 を参照してください)

■タイヤチェーンの装着(19 インチタイヤ装着車を除く)

タイヤチェーンを装着すると、タイヤ空気圧バルブ/送信機が正しく作動しないお それがあります。

■フロントウインドウガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。 ウインドウガラスの内側(車内側)が割れるおそれがあります。

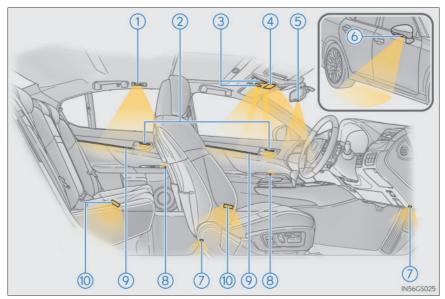
■ワイパーアームを立てるとき(寒冷地仕様車)

ワイパーを積雪時の停止位置に切りかえてから立ててください。(→ P. 272)

停止位置を切りかえずに立てると、ワイパーアームとボンネットが干渉し、傷が付 くおそれがあります。

| 5-1. | 室内灯のつけ方 |
|------|---------------------------|
| | 室内灯一覧278 |
| | ・インテリアランプ279 |
| | ・パーソナルランプ279 |
| 5-2. | 収納装備 |
| | 収納装備一覧281 |
| | ・グローブボックス282 |
| | ・コンソールボックス283 |
| | ・カップホルダー284 |
| | ・小物入れ286 |
| | トランク内装備287 |
| 5-3. | その他の室内装備の使い方 |
| | サンバイザー/ |
| | バニティミラー290 |
| | 時計291 |
| | 灰皿292 |
| | アクセサリーソケット/ |
| | アクセサリーコンセント293 |
| | ステアリングヒーター296 |
| | シートヒーター/ シートベンチレーター298 |
| | リヤアームレスト301 |
| | リヤサンシェード/ |
| | リヤドアサンシェード302 |
| | コートフック305 |
| | アシストグリップ306 |
| | ユーティリティーフック307 |
| | |

内灯一覧



1 リヤパーソナルランプ

 $(\to P. 279)$

- (2) ドアハンドル照明※
- ③ フロントパーソナルランプ (→ P. 279)
- 4 インテリアランプ

(→ P. 279)

- (5) シフト照明
- (6) ドアミラー照明
- 7 足元照明※
- 8 パワーウインドウスイッチ照明
- (9) オーナメント照明※
- 10 ドアカーテシランプ

[※] 車幅灯が点灯しているときにインストルメントパネル照度調整スイッチ(→P.80) を最も暗く設定すると、消灯します。

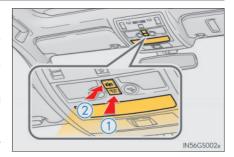
5

インテリアランプ

(1) ランプを点灯・消灯する

リヤパーソナルランプも連動して点 灯・消灯します。ただし、リヤパーソ ナルランプが点灯している状態でイン テリアランプを点灯したあとに消灯し た場合、リヤパーソナルランプは連動 して消灯しません。

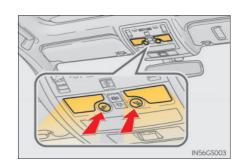
② ドアの開閉に連動してランプの点 灯・消灯を切りかえる



パーソナルランプ

■ フロント

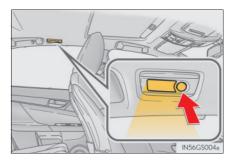
ランプを点灯・消灯する



■リヤ

ランプを点灯・消灯する

インテリアランプに連動して点灯し ているときは、スイッチを押しても 消灯しません。



□知識

■イルミネーテッドエントリーシステム

電子キーの検知・ドアの施錠/解錠・ドアの開閉・パワースイッチのモードにより、 各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

■補機バッテリーあがりを防ぐために

パワースイッチが OFF の場合、室内灯が点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

■カスタマイズ機能

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。 $(カスタマイズー覧: \rightarrow P.448)$

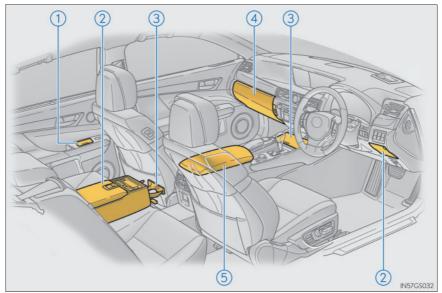


■補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

5

収納装備一覧



小物入れ★

 $(\to P. 286)$

③ カップホルダー (→ P. 284)

灰皿★

 $(\to P. 292)$

(4) グローブボックス (→ P. 282)

(2) 小物入れ

(→ P. 286)

(5) コンソールボックス(→ P. 283)

▲ 警告

■収納装備に放置してはいけないもの

メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。 放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- ●室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひ び割れを起こす
- ●室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触 でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

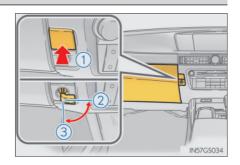
■収納装備を使わないときや走行中の留意事項

フタを必ず閉じてください。

急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが 飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

グローブボックス

- (1) 開ける(ボタンを押す)
- (2) メカニカルキーで解錠
- (3) メカニカルキーで施錠



知識

■グローブボックスランプ

車幅灯点灯時は、グローブボックス内のランプが点灯します。

■トランクオープナーメインスイッチ

グローブボックス内に、トランクオープナーメインスイッチがあります。 $(\rightarrow P. 130)$

■仕切りの取りはずし

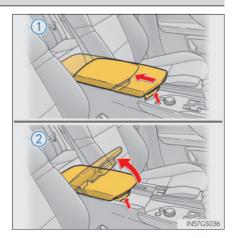
グローブボックス内の仕切りを取りはずして使用することができます。

■グローブボックスのドアについて

グローブボックスのドアには、助手席 SRS ニーエアバッグが内蔵されています。 (→ P. 33)

コンソールボックス

- 1 半開で使用する ノブを握ってロックを解除し、アームレストをいちばんうしろまでスライドさせる
- ② 全開で使用する ノブを握ってロックを解除し、開く



__ 知識

■コンソールボックス内のトレイについて

トレイを前後に移動する、または引き上げて取りはずすことができます。



■コンソールボックスランプ

車幅灯点灯時は、コンソールボックス内のランプが点灯します。

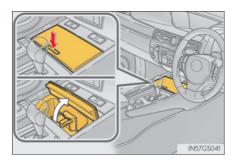
▲ 警告

コンソールボックスを半開で使用しているときは、アームレストに過度の負荷をかけないでください。アームレストが破損し、けがをするおそれがあります。

カップホルダー

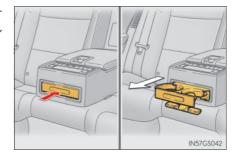
■ フロント

カップホルダーのフタを押して開 ける



■リヤ

リヤアームレストを引き出し、アー ムレストのカップホルダーを押し て開ける

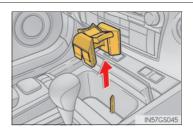


5

□知識

■仕切りの取りはずし(フロントカップホルダー)

カップホルダー内を清掃するために、仕切りを取りはずすことができます。



■カップホルダーを収納するとき(リヤカップホルダー)

アームレストを倒した状態で収納してください。アームレストを倒した状態にしないと、収納できません。



■収納してはいけないもの

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。 急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために 温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。



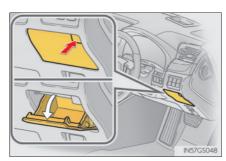
■カップホルダーの破損を防ぐために

リヤカップホルダーが出ている状態で、リヤアームレストを格納しないでください。

小物入れ

▶ Aタイプ

ボタンを押して開ける



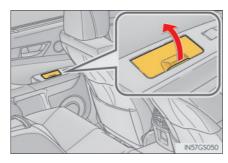
▶ Bタイプ

ノブを引いてロックを解除し、フタ を持ち上げて開く



▶ C タイプ ★

フタを開ける



▲ 警告

■安全にお使いいただくために(Cタイプ)

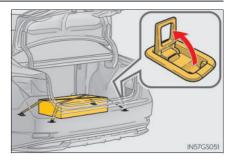
小物入れを灰皿として使用しないでください。

トランク内装備

荷物固定用フック

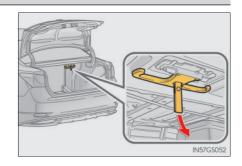
フックを起こして使用する

フックを使って荷物を固定することができます。

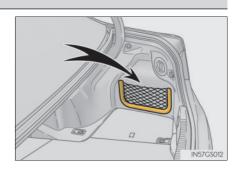


ラゲージフック

ストラップを引いて使用する



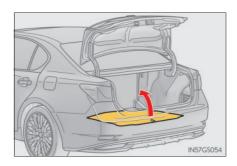
救急箱等固定用ネット



ラゲージマット

▶ 応急用タイヤ装着車

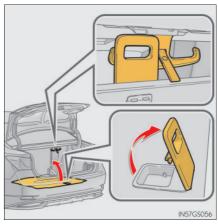
ストラップを持ってラゲージマット を持ち上げます。



▶ タイヤパンク応急修理キット装 着車

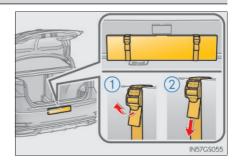
レバーを引き上げ、ラゲージマットを持ち上げます。

レバーはラゲージフックにかけることができます。



三角表示板等固定用バンド

- (1) ベルトをゆるめる
- (2) ベルトを締める



□ 知識

■三角表示板の収納について

三角表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。





■荷物固定用フックを使用しないとき

けがをしないように、必ずもとの位置にもどしておいてください。

■三角表示板を収納するとき

確実に固定されていることを確認してください。 確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときなどに三角表示板が飛び出し、 思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



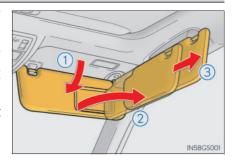
■ラゲージフックの破損を防ぐために

5kg 以上のものをフックに吊り下げないでください。 フックが折れたり、走行中にはずれたりするおそれがあります。

-/バニティミラー

サンバイザー

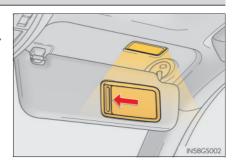
- (1) 前方をさえぎるには、バイザーを下 ろす
- (2) 側方をさえぎるには、バイザーを下 ろした状態でフックからはずし、横 へまわす
- (3) エクステンダーを使用するには、バ イザーを横にした状態からうしろ ヘ引く



バニティミラー

カバーをスライドして開ける

カバーを開けるとバニティミラーラン プが点灯します。



▲ 注意

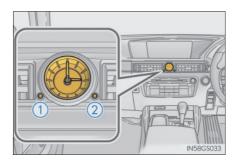
■補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

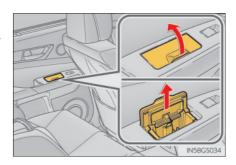
- (1) 針をもどす
- (2) 針を進める



灰皿★

フタを開ける

取りはずすときは、フタを持って引き 上げます。



A 警告

■使用しないとき

灰皿のフタを必ず閉じてください。

急ブレーキ時などに、開いた灰皿が体にあたったり、灰が飛び出したりして、思わ ぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■出火を防ぐために

- ●マッチ・タバコなどの火は完全に消してから灰皿の中に入れ、確実に閉めてください。
- ●灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。

アクセサリーソケット/アクセサリーコンセント★

次の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

アクセサリーソケット:

DC12V で最大電流 10A (最大消費電力 120W) 以下の電気製品

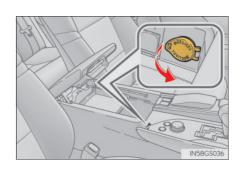
アクセサリーコンセント:

AC100V で最大消費電力 100W 以下の電気製品

アクセサリーソケット

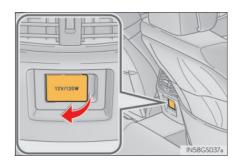
■ フロント

フタを開けて使用する



■ リヤ*

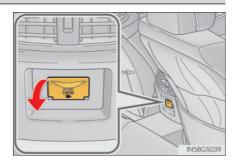
フタを開けて使用する



★:仕様により異なる装備やオプション装備

アクセサリーコンセント★ (リヤのみ)

フタを開けて使用する



知識

■使用条件

アクセサリーソケット:パワースイッチがアクセサリーモードまたはONモードのとき アクセサリーコンセント:パワースイッチが ON モードのとき



■ショートや故障を防ぐために

ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。

■ヒューズが切れるのを防ぐために

アクセサリーソケット:

DC12V で最大電流 10A (最大消費電力 120W) 以上の電気製品を使用しないでください。

アクセサリーコンセント:

AC100V で最大消費電力 100W 以上の電気製品を使用しないでください。消費電力が100Wをこえる電気製品を使用すると、保護回路が作動して電源を遮断します。

■補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリーソケット/アクセサリーコンセントを長時間使用しないでください。

■正しく作動しないおそれがある電気製品(アクセサリーコンセント)

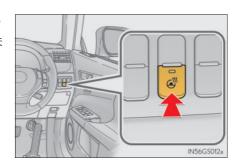
次のような AC100V の電気製品は、消費電力が 100W 以下の場合でも正常に作動しないおそれがあります。

- ●起動時のピーク電力が高い製品
- ●精密なデータ処理をする計測機器
- ■電源周波数の切りかえ(50 / 60Hz)のある機器
- ●極めて安定した電力供給を必要とするその他の電気製品

ステアリングヒーター★

ハンドルの左右のグリップ部分を暖めることができます。

システムの ON / OFF を切りかえる 作動中はインジケーターが点灯しま す。



□ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■タイマー機能

約30分後に自動で OFF になります。

■インジケーターが点滅した場合

スイッチを OFF にし、もう一度スイッチを押してください。点滅がさらに続く場合はシステムの異常が考えられます。作動を停止し、レクサス販売店で点検を受けてください。





■やけどについて

低温やけどを負うおそれがあるため、次の方がふれないようにご注意ください。

- ●乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
- ●皮膚の弱い方
- ●疲労の激しい方
- ●深酒や眠気をさそう薬(睡眠薬・風邪薬など)を服用された方

⚠ 注意

■補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムが停止しているときは、スイッチを OFF にしてください。

シートヒーター*/シートベンチレーター*

シートを暖めたり、シートから風を出して通気をよくできます。

|シートヒーター

■ フロントシート

シートを暖める

- ▶ シートベンチレーター非装着車
- (1) 強
- (2) 中
- (3) 弱
- (4) OFF

作動中は、レベルインジケーター (黄) が点灯します。



▶ シートベンチレーター装着車

- (1) 強
- (2) 中
- (3) 弱
- 4 OFF

作動中は、スイッチトのインジケー ター(黄)と、レベルインジケーター (緑) が点灯します。



■ リヤシート*

シートを暖める

- (1) 強
- (2) 中
- (3) 弱
- 4 OFF

作動中は、レベルインジケーター (黄) が点灯します。



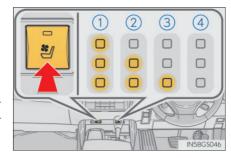
★:仕様により異なる装備やオプション装備

■シートベンチレーター*(フロントシート)

シートから風を出す

- (1) 強
- (2) 中
- (3) 弱
- (4) OFF

作動中は、スイッチ上のインジケーター (緑) と、レベルインジケーター (緑) が点灯します。



□ 知識

■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■シートヒーターのタイマー制御について

シートヒーターの作動状態は、自動で強→中→弱→ OFF の順に切りかわります。切りかわるまでの時間は、シートヒーターを作動させたときの室内温度などにより異なります。

■エコドライブモード時のシートヒーター自動作動について

エコドライブモードは、暖房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。寒冷時にドライブモードセレクトスイッチをエコドライブモードにすると、暖房の性能を補助するためシートヒーターが自動で作動することがあります。(→ P. 240)

■ボタンロック機能(リヤコントロールパネル装着車)

誤った作動を防止するために、リヤコントロールパネルの操作を禁止することができます。

ロックするには MODE ボタンをブザーが鳴る まで押してください。

もう一度 MODE ボタンをブザーが鳴るまで押すと解除されます。

ボタンロック中は、ディスプレイにインジケー ターが表示されます。



■画面消灯機能(リヤコントロールパネル装着車)

リヤコントロールパネルの画面を消灯することができます。

画面を消灯するにはPWRボタンをブザーが鳴るまで押してください。

もう一度 PWR ボタンをブザーが鳴るまで押す と、画面が表示されます。



▲ 警告

■やけどについて(シートヒーター装着車)

- ●低温やけどを負うおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。
 - ・乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・疲労の激しい方
 - ・深酒や眠気をさそう薬(睡眠薬・風邪薬など)を服用された方
- ●シートに毛布・クッションなどを使用しないでください。シートヒーターの使用により保温性が高まり、異常過熱の原因になります。
- ●シートヒーターを必要以上に使用しないでください。 低温やけどを負ったり、シートヒーターの異常過熱の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

■シートヒーター/シートベンチレーターの故障を防ぐために

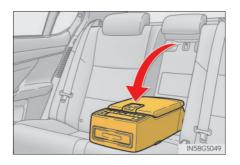
凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステムが停止しているときは、シートヒーター/シートベンチレーターを使用しないでください。

リヤアームレスト

手前に倒して使用します。





■アームレストの破損を防ぐために

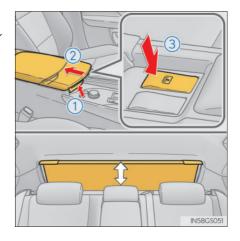
過度の負荷をかけないでください。

リヤサンシェード

スイッチ操作でリヤサンシェードが上昇/下降します。

■ フロント席からの操作

- (1) ノブを握ってロックを解除する
- 2 アームレストをうしろにスライ ドさせる
- ③ 上昇/下降



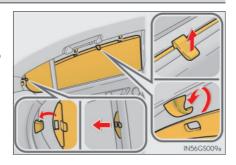
■ リヤ席からの操作★ 上昇/下降



リヤドアサンシェード

ツマミをしっかりと持って引き出し、 フックにかける

もどすときはフックからはずし、ゆっくり収納します。



□ 知識

■リヤサンシェードの作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■パワースイッチ OFF 後の作動

パワースイッチを OFF にしたあと、約1分間リヤサンシェードを操作できます。

■リバース連動機能

リヤサンシェードが上がった状態でシフトレバーをRにすると、後方を見やすくするためにリヤサンシェードが下降します。

ただし、次のいずれかを行うと、リヤサンシェードは再度上昇します。

- ●スイッチをもう一度押す※
- ●シフトレバーをPに入れる
- ●シフトレバーを R 以外にし、15km/h 以上で走行する リバース連動機能により、リヤサンシェードが下降した状態でハイブリッドシステムを停止した場合は、再びハイブリッドシステムを始動させて 15km/h 以上で走行しても上昇しません。上昇させるには、スイッチを押してください。
- ** スイッチ操作後はリバース連動機能が作動しない場合があります。作動可能状態にするには、再度上記の操作を行ってください。

■ボタンロック機能(リヤコントロールパネル装着車)

誤った作動を防止するために、リヤコントロールパネルのボタン操作を禁止することができます。 (\rightarrow P. 299)

■画面消灯機能(リヤコントロールパネル装着車)

リヤコントロールパネルの画面を消灯することができます。(→ P. 300)

■カスタマイズ機能

シフトレバーを R にしてからリバース連動機能が働くまでの時間を変更できます。 (カスタマイズー覧: \rightarrow P. 448)

▲ 警告

■リヤサンシェードが作動しているとき

リヤサンシェードの留め金部分や溝に指を置かないでください。 巻き込まれてけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

■補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステムが停止しているときは、リヤサンシェードを操作しないでください。

■正常に機能させるために

次のことをお守りください。

- ●リヤサンシェードのモーターや他の部分に負荷をかけすぎない
- 開閉のさまたげになる部分にものを置かない
- ●リヤサンシェード・リヤドアサンシェードにものを貼らない
- ●溝をきれいに保つ
- ●長時間リヤサンシェードの操作を続けない

コートフック

コートフックは、リヤのアシストグ リップに付いています。



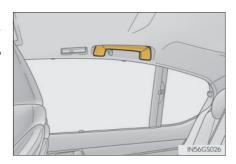
A 警告

■コートフックへかけてはいけないもの

ハンガーや他の硬いもの、鋭利なものをかけないでください。 SRS カーテンシールドエアバッグがふくらんだときにそれらのものが飛び、重大な 傷害または死亡につながるおそれがあります。

アシストグリップ

天井に取り付けられているアシスト グリップは、走行中にシートに座って いる状態で体を支えるときにお使い ください。



A 警告

■アシストグリップについて

アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がるときなどに使用しないでくだ さい。

アシストグリップが破損し、転倒などしてけがをするおそれがあります。

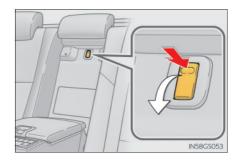
▲ 注意

■破損を防ぐために

アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけたりしないでください。

ユーティリティーフック★

使用するときは、フックを押します。



▲ 警告

■使用しないとき

必ずフックをもとの位置に戻しておいてください。

⚠ 注意

■破損を防ぐために

2kg 以上のものや大きいものをフックに吊り下げないでください。 フックが折れたり、走行中にはずれたりするおそれがあります。 お手入れのしかた

| 6-1. | お手人れのしかた | |
|------|--------------|------|
| | 外装の手入れ | .310 |
| | 内装の手入れ | .314 |
| 6-2. | 簡単な点検・部品交換 | |
| | ボンネット | .317 |
| | ガレージジャッキ | .320 |
| | エンジンルームカバー | .322 |
| | ウォッシャー液の補充 | .324 |
| | タイヤについて | .325 |
| | 電子キーの電池交換 | .333 |
| | ヒューズの点検・交換 | .335 |
| | 電球 (バルブ) の交換 | .347 |

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを 洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける(およそ体温以下を目安としてください)

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、レクサスケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。 詳しくはレクサス販売店にお問い合わせください。

□ 知識

■自動洗車機を使うとき

- ●ドアミラーを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ●ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。
- ●洗車機によっては、アンテナ・リヤスポイラー★が引っかかり洗車できない場合や、 傷付いたり、破損するおそれがあります。

■高圧洗浄機を使うとき

- ■室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- ●洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。
- ●駆動系部品(ディファレンシャルギヤなど)のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。

近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■洗車などで車に水をかけたとき

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

- ●電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する (電子キーの盗難に注意してください)
- 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー & スタートシステムの作動を 停止する (→ P. 118)

■アルミホイール

- ●中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- ●夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- ●洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■フロントドアガラスの撥水コーティングについて

- ●撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。
 - ・フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
 - 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
 - ・コンパウンド(磨き粉)が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
 - ・金属製の道具で霜取りをしない
- ●水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。 詳しくはレクサス販売店にお問い合わせください。

▲ 警告

■洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。 電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■フロントウインドウガラスを清掃するとき

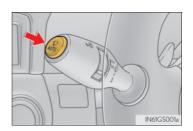
ワイパーを間欠時間調整式に切りかえてくだ さい。(→ P. 204)

ワイパーが AUTO モードになっていると、次 のようなときにワイパーが不意に作動し、指 などを挟み重大な傷害を受けたり、ワイパー ブレードなどを損傷するおそれがあります。

- ●雨滴センサー上部のフロントウインドウガ ラスに手でふれたとき
- ●水分を含んだ布などを雨滴センサーに近付 けたとき
- ●フロントウインドウガラスに衝撃を与えた とき
- ●車内から雨滴センサー本体にふれるなどし て衝撃を与えたとき



排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管 が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。



▲ 注意

■塗装の劣化や車体・部品(ホイールなど)の腐食を防ぐために

- ●次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・海岸地帯を走行したあと
 - ・凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- ●塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ●ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ランプの清掃

- ●注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。 ランプを損傷させるおそれがあります。
- ●ランプにワックスがけを行わないでください。 レンズを損傷するおそれがあります。

■自動洗車機を使用するとき

ワイパーを間欠時間調整式に切りかえてください。(→ P. 204) ワイパーが AUTO モードになっていると、不意にワイパーが作動してワイパーブレードなどを損傷するおそれがあります。

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る ウール用の中性洗剤を約5%の水溶液までうすめたものを使用してください。
- 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機をかけて、大まかな汚れを取る
- スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
- 数分間洗剤につけておいてから汚れを落とし、固くしぼったきれいな布で 洗剤をふき取る

□ 知識

■本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

■ グローブボックス・コンソールボックスなどの植毛部分を掃除する場合 粘着力の強いテープを使用すると植毛がはがれるおそれがあります。



■車両への水の浸入

- ●床・トランク内・駆動用電池冷却用吸入口など、車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。(→ P. 61)

 取動用電池や電気部尺などに水がなかると、地管や車両火災につながるなるれがあ
 - 駆動用電池や電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 33) 電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大 な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■内装の手入れをするときは(特にインストルメントパネル)

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■清掃するとき使用する溶剤について

- ●変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・シート以外の部分:ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・シート部分: シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤
- ●艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。 インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるお それがあります。

■革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- ●革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- ●直射日光に長時間さらさないようにする 特に夏場は日陰で車を保管する
- ●ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因 となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

■フロントウインドウガラスの内側を掃除するときは (LKA [レーンキーピングアシスト] 装着車)

白線認識用カメラ (→ P. 231) にさわらないように注意してください。 誤って傷を付けたり衝撃を与えたりすると、LKA の誤作動や故障につながるおそれ があります。

■リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

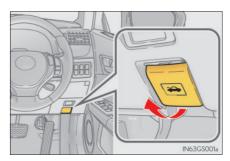
- 熱線やアンテナを損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線やアンテナにそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- ●熱線やアンテナを引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

6

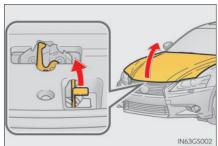
ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

1 ボンネット解除レバーを引く ボンネットが少し浮き上がります。



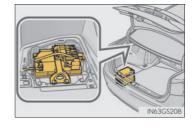
2 レバーを引き上げて、ボンネットを 開ける



□ 知識

■補機バッテリーについて

この車両の補機バッテリーはトランク(助手席側)のカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。(補機バッテリーはバッテリー液の補充が必要ないタイプのため、バッテリー液量等の点検は不要です)



▲ 警告

■走行前の確認

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。 ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶ か、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■修理・車検・整備点検をする場合は

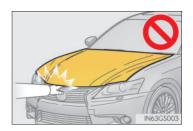
整備モードに切りかえる必要がありますので、必ずレクサス販売店にご相談くださ い。高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、重大な傷害におよぶ か、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。 点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障 の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながる おそれがあり危険です。

■ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。 重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



■補機バッテリーの交換について

交換する際は GS450h 専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、ガス (水素) が室内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあり危険です。 補機バッテリーの交換については、レクサス販売店にご相談ください。

⚠ 注意

■ボンネットやダンパーステーへの損傷を防ぐために

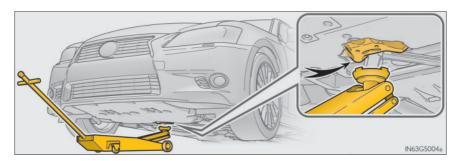
- ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。 ボンネットがへこむおそれがあります。
- ●ボンネットには、ボンネットを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部 (棒部) に付着させない
 - ロッド部を軍手などでふれない
 - ・ボンネットにレクサス純正品以外のアクセサリー用品を付けない
 - ・ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない

ガレージジャッキ

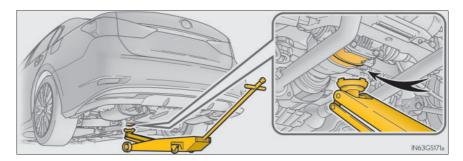
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレー ジジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあり ます。

◆ フロント側



リヤ側

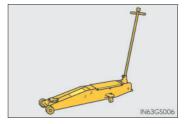


▲ 警告

■車両を持ち上げるとき

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■図のようなガレージジャッキを使用して車両を持ち上げる



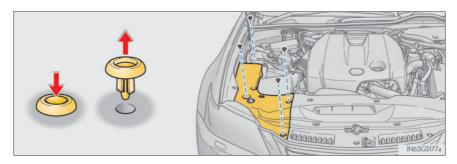
- ガレージジャッキを使用するときは、必ずガレージジャッキ付属の取扱説明書を十分に確認の上、使用する
- ●車に搭載されているジャッキを使用しない 車両が落下するおそれがあります。
- ガレージジャッキのみで支えられた車両の下に体の一部を入れたり、もぐり込んだりしない
- ガレージジャッキおよび、自動車用ジャッキスタンドをしつかりとした傾きのない 平坦な床面で使用する
- ●車両がジャッキアップされた状態でハイブリッドシステムを始動しない
- ●平らで硬い地面に停車させ、しっかりとパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにする
- ガレージジャッキは、必ずジャッキポイントに正しくセットする ガレージジャッキを正しくセットせずに車両を持ち上げると、車両が損傷します。 また、車両がガレージジャッキから落下するおそれがあります。
- ●車内に乗員がいるときは車両を持ち上げない
- ●車両を持ち上げるときは、ガレージジャッキの上下にものを置かない

エンジンルームカバー

ヒューズや電球(バルブ)の交換・点検などを行うときに取りはずします。

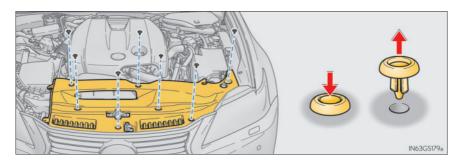
エンジンルームカバーの取りはずし方

▶ 運転席側



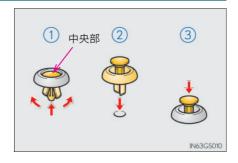
▶ 中央

運転席側エンジンルームカバーをはずしてから行います。



クリップの取り付け方

- (1) クリップの中央部分を押し上げる
- (2) 挿し込む
- ③ クリップ中央部分を押す





■けがを防ぐために

エンジンルームカバーを取りはずす前に、パワースイッチを OFF にしてください。 熱くなった部品でやけどをしたり、作動中の部品に巻き込まれて重大な傷害を受け るおそれがあり危険です。



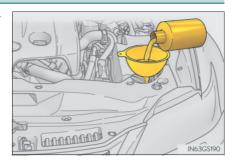
■エンジンルームカバー取り付け後の確認

もとの場所に確実に取り付けられていることを確認してください。

ウォッシャー液の補充

補充のしかた

ウォッシャー液が出なかったり、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたら、ウォッシャー液を補充する



▲ 警告

■ウォッシャー液を補充するとき

ハイブリッドシステムが熱いときやハイブリッドシステム作動中は、ウォッシャー 液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せつけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。 塗装にしみが付くおそれがあります。

■ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤ を点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション (タイヤ位置交換) を 10,000km ごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。 点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ
- タイヤの異常摩耗(極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど)の有無

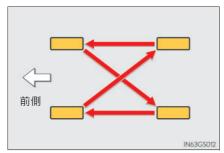
タイヤローテーションのしかた

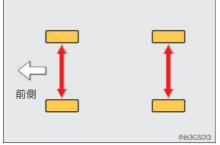
図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、レクサスは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。

▶ 前後のタイヤサイズが同じ車両

▶ 前後のタイヤサイズが異なる車 両





タイヤローテーション後は、タイヤ空気圧警報システムの初期化を確実に行ってく ださい。

タイヤ空気圧警報システム

ディスクホイールに装着された空気圧バルブ、および送信機が一定周期ごと に各輪のタイヤ空気圧を監視し、タイヤの空気圧の低下を早期に知らせるタ イヤ空気圧警報システムが付いています。

- ▶ タイヤ空気圧表示機能非装着車 空気圧が一定値をこえて低下している場合、警告灯で警報します。 (→ P. 374)
- ▶ タイヤ空気圧表示機能装着車
 - 空気圧が一定値をこえて低下している場合、画面表示と警告灯で警報します。(→ P. 393)
 - タイヤ空気圧警報システムが検知した空気圧をマルチインフォメーションディスプレイに表示できます。(→ P. 86)

空気圧バルブ/送信機の装着について

タイヤやホイールを交換するときは、付けかえたホイールにも空気圧バル ブ/送信機を装着してください。

新しいバルブ/送信機を装着する場合は専用の ID コードをコンピューターに登録する必要があります。登録の際は、レクサス販売店へご依頼ください。(→ P. 328)

タイヤ空気圧警報システムの初期化

■ 初期化が必要な場合

走行速度・重量変化などでタイヤ空気圧を変更した場合、およびタイヤローテーションを実施したときは、初期化操作を行ってください。

システムを初期化すると、現在のタイヤの空気圧が標準値として記憶されます。

■ 初期化のしかた

- **1** 車を安全な場所に駐車し、ハイブリッドシステムを停止する 車両が動いているときは、初期化できません。
- ② タイヤの空気圧を指定の数値に調整する (→ P. 328, 446) タイヤ空気圧の調整はタイヤが冷えた状態で行ってください。タイヤ空気圧警報システムは、この空気圧を基準として作動します。
- |3| パワースイッチを ON モードにする
- 4 タイヤ空気圧警告灯が 3 回点滅 するまでリセットスイッチを押 し続ける



- **5** パワースイッチを ON モードにしたまま数分**待ち、その後パワースイッチを OFF にする
 - ※ 設定が完了するには 2~3分かかります。

ID コードの登録について

タイヤ空気圧バルブ/送信機には固有の ID コードが設定されており、タイヤ空気圧バルブ/送信機の交換時は、車両のコンピューターに ID コードを登録する必要があります。

ID コードの登録については、レクサス販売店にご依頼ください。

□ 知識

■タイヤ空気圧の数値

| タイヤサイズ | 空気圧 [※] kPa(kg/cm ²) | | |
|----------|---|-----------|--|
| 91 791 8 | 前輪後輪 | | |
| 19 インチ以外 | 240 (2.4) | | |
| 19 インチ | 240 (2.4) | 250 (2.5) | |

応急用タイヤ★: 420kPa (4.2kg/cm²) **

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気 圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧



■タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、レクサス販売店にご相談ください。

■ホイールごとタイヤを交換するとき

タイヤ空気圧バルブ/送信機の ID コードが登録されていないと、タイヤ空気圧警報システムは正しく作動しません。その場合、約 20 分走行したあとシステム異常となり、タイヤ空気圧警告灯が約 1 分間点滅、その後点灯します。

■タイヤ空気圧警報システムについて

タイヤ空気圧警報システムは、日常点検の代用ではありません。 日常点検として必ずタイヤを点検してください。 タイヤの点検方法は、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

■タイヤローテーションを行うとき(タイヤ空気圧表示機能装着車)

必ずパワースイッチが OFF の状態で行ってください。ON モードのままタイヤローテーションを行うと、タイヤ位置情報が更新されません。

誤ってそのような状態になってしまったときは、パワースイッチをいったん OFF にしてから再度 ON モードにするか、タイヤ空気圧が正しく調整されていることを確認した上で、初期化操作を行ってください。

■低偏平タイヤについて(18 インチ/19 インチタイヤ装着車)

雪道や凍結路では、普通のタイヤとくらべてグリップ力が低下します。冬用タイヤかタイヤチェーン**を使用し、道路状態に応じた速度で注意深く運転するようにしてください。

※19 インチタイヤには、タイヤチェーンを装着できません。冬用タイヤを使用してください。

■低偏平タイヤの空気圧点検(18 インチ/ 19 インチタイヤ装着車)

低偏平タイヤは、走行性能を優先したタイヤです。特に空気圧は定期的に点検してください。2週間に1回(最低でも1ヶ月に1回)、または長距離ドライブの前には、必ず空気圧を点検してください。

■タイヤ空気圧警報システムが正常に働かないおそれのある状況

- ●次の場合は、タイヤ空気圧警報システムが正しく作動しない場合があります。
 - ・純正ホイール以外を使用したとき
 - · OE タイヤ (純正装着タイヤ) 以外に交換したとき
 - ・ 指定サイズ以外のタイヤに交換したとき
 - タイヤチェーンなどを装着しているとき
 - ロックナットを装着しているとき
 - 中子式ランフラットタイヤを装着しているとき
 - ・電波を遮断するフィルムがウインドウに貼り付けられているとき
 - ・車両(特にホイール・ホイールハウスの周辺)に多くの雪や氷などが付着しているとき
 - タイヤ空気圧が指定空気圧より極端に高いとき
- ●次の場合は正しい性能が確保できない場合があります。
 - 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港など、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
 - ・無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器が車両付近にあるとき 電波状況によってタイヤ位置情報が正しく表示されない場合は、走行して電波状況 がかわることで正しく表示されることがあります。(タイヤ空気圧表示機能装着車の み)
- ●停車時は警報開始・警報解除までの時間が長くなる場合があります。
- ●タイヤが破裂(バースト)したときなど、空気圧が急激に低下したときは、警報できない場合があります。

■初期化操作について

- ●必ず指定空気圧に調整した上で初期化してください。なお、空気圧の調整および初期化操作は、タイヤが冷えた状態で行ってください。
- 初期化中にパワースイッチを OFF にしてしまった場合は、次回 ON モードにしたとき、自動的に初期化処理が再開されるため、あらためてリセットスイッチを押し直す必要はありません。
- ●初期化の必要がない状態で誤ってリセットスイッチを押してしまったときは、タイヤが冷えている状態で指定空気圧に調整し、再度初期化操作を行ってください。

■タイヤ空気圧警報システムの初期化がうまくいかないとき

通常 2、3 分で終了します。ただし、次の場合は、初期化されておらずシステムが適切に働かないおそれがありますので、初期化し直してください。それでもうまくいかないときは、レクサス販売店にて点検を受けてください。

- ●スイッチ操作時に警告灯が3回点滅しない場合(走行中は初期化を受け付けません)
- 初期化してから約20分走行したあと、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後点灯した場合

▲ 警告

■点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害 におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のない タイヤを使用する
- ●メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ●ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- ●サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

■異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ●破裂などの修理できない損傷を与える
- ●車両が横すべりする
- ●車両の本来の性能(燃費・車両の安定性・制動距離など)が発揮されない

▲ 警告

■ホイールを交換するとき("F SPORT" グレードのみ)

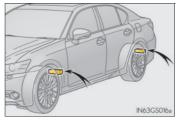
スチールホイールは取り付けないでください。 ホイールの接触面が損傷し、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪 の場合死亡につながるおそれがあります。

■タイヤ空気圧警報システムを初期化するとき

必ず指定空気圧に調整してからリセットスイッチを押してください。 お守りいただかないと、タイヤ空気圧が低下してもタイヤ空気圧警告灯が点灯しない、または適切な空気圧でもタイヤ空気圧警告灯が点灯してしまうことがあります。

■電波がおよぼす影響についての警告 (タイヤ空気圧表示機能装着車)

●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器を装着されている方は、アン テナから約 45cm 以内に近付かないように してください。電波により植え込み型心臓 ペースメーカーおよび植え込み型除細動器 の作動に影響を与えるおそれがあります。



●植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

■低偏平タイヤについて(18 インチ/19 インチタイヤ装着車)

低偏平タイヤのホイールは、路面から衝撃を受けたとき、ホイールに通常より大きなダメージを与えることがあります。そのため次のことにご注意ください。

- ●適切なタイヤ空気圧で使用する空気圧が低すぎると簡単に損傷することがあります。
- ●段差や凹凸のある路面、路上にあいた穴、平らでない舗道・縁石や他の障害物を避ける

タイヤおよびホイールがひどく損傷することがあります。

■走行中に空気もれが起こったら

走行を続けないでください。 タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■タイヤ・ホイール・空気圧バルブ/送信機・バルブキャップの修理・交換

- タイヤをホイールから脱着する際は、空気圧バルブ/送信機が損傷しないよう注意 してください。脱着手順の詳細は、レクサス販売店へご相談ください。
- ●レクサス指定の純正ホイールを使用してください。 レクサス指定の純正ホイール以外を使用すると、空気圧警報システムが正しく作動 しないおそれがあります。
- ●ホイールを交換したときは、空気圧バルブ/送信機を装着してください。空気圧バルブ/送信機が装着されていないと、タイヤ空気圧警告灯が消灯しません。
- ●バルブキャップを必ず取り付けてください。バルブキャップをはずしていると、水が浸入してバルブが固着する場合があります。
- ●バルブキャップを交換するときは、指定以外のバルブキャップを使用しないでください。バルブキャップが固着するおそれがあります。

■パンク修理剤を使用したとき

空気圧が正確に計測できなくなることがあります。できるだけ早くレクサス販売店 で点検を受け、空気圧バルブ/送信機を交換してください。

■悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。 タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホ イール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

電子キーの電池交換

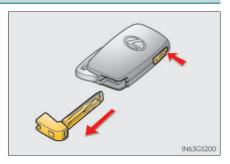
電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

- マイナスドライバー
- ◆ 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池 CR2032

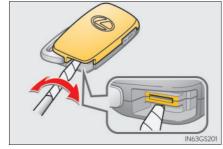
電池交換のしかた

1 メカニカルキーを抜く



2 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



3 消耗した電池を取り出す 新しい電池は、+極を上にして取り付けます。



4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

⊿知識

■リチウム電池 CR2032 の入手

電池はレクサス販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

■カードキーの電池交換が必要なときは

カードキーの電池は市販されていないため、レクサス販売店で交換してください。

■電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- ●スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- ●作動距離が短くなる



■取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、 最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

■交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

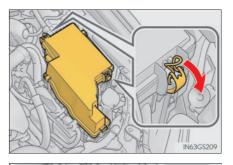
- ●ぬれた手で電池を交換しない 錆の原因になります。
- ●電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- ●電極を曲げない

ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが 考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

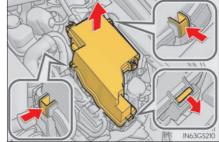
- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 故障の状況から、点検すべきヒューズを「ヒューズの配置と負荷」 (→ P. 338) で確認する
- 3 ヒューズボックスを開ける
 - ▶ エンジンルーム

エンジンルームカバーを取りはずし (→ P. 322)、すべてのクリップをはずす



左右のツメを押してロックをはずし、手前のプレートを引きながらカバーを持ち上げる

カバーを取り付けるときは、手前のプレートおよび左右のツメが確実にかみ合っていることを確認してください。

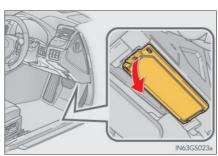


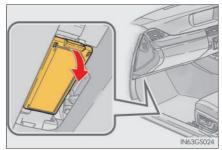
▶ 運転席足元

カバーを取りはずす



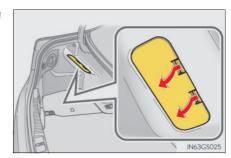
カバーを取りはずす



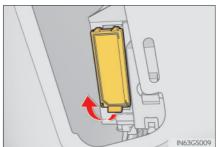


▶ トランク内

ツメを押しながら手前に引いて、カ バーを取りはずす

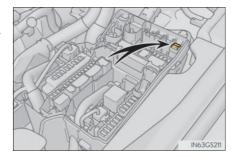


カバーを取りはずす



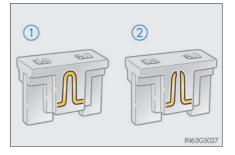
4 ヒューズを引き抜く

ヒューズはずしでヒューズを引き 抜くことができます。



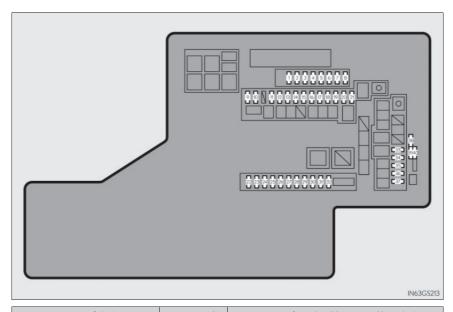
- **5** ヒューズが切れていないか点検する
 - (1) 正常
 - (2) ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規 定容量のヒューズに交換します。



ヒューズの配置と負荷

■ エンジンルーム

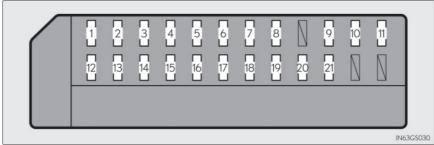


| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|------------|-------|---------------------------------|
| 1 | IGN | 10A | 始動系 |
| 2 | INJ | 10A | 燃料噴射システム |
| 3 | EFI NO.2 | 10A | 燃料システム、排気システム |
| 4 | IG2 MAIN | 20A | 始動系、メーター、燃料噴射システム、 SRS エアバッグ |
| 5 | EFI MAIN | 25A | 燃料噴射システム |
| 6 | A/F | 15A | 吸気系 |
| 7 | EDU | 20A | 燃料噴射システム |
| 8 | F/PMP | 25A | 燃料系 |
| 9 | H-LP RH-LO | 20A | ヘッドランプロービーム(運転席側) |
| 10 | H-LP LH-LO | 20A | ヘッドランプロービーム(助手席側) |
| 11 | ABS MAIN 2 | 10A | 電子制御ブレーキ |
| 12 | ABS MAIN 1 | 10A | 電子制御ブレーキ |
| 13 | IGCT NO.1 | 30A | ハイブリッドシステム |

| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|------------|-------|--|
| 14 | ECU-B | 7.5A | VGRS、スマートエントリー&スタート システム |
| 15 | INV W/P | 10A | ハイブリッドシステム |
| 16 | ETCS | 10A | 燃料噴射システム |
| 17 | EPS-B | 10A | 電動パワーステアリング |
| 18 | D/C CUT | 30A | DOME、MPX-B |
| 19 | HORN | 10A | ホーン |
| 20 | ODS | 5A | 未使用 |
| 21 | TV | 7.5A | ディスプレイ |
| 22 | IGCT NO.5 | 7.5A | パワーマネジメントシステム、シフトポ ジションセンサー |
| 23 | WIP-S | 7.5A | ワイパー、運転支援システム |
| 24 | WASH-S | 5A | ウォツシャー、運転支援システム |
| 25 | COMB SW | 5A | ワイパー |
| 26 | DOME | 7.5A | フロントパーソナルランプ、リヤパーソ ナルランプ、オーナメント照明、トラン クランプ、足元照明、ドアカーテシラン プ、バニティランプ、ドアハンドル照明、 パワートランクリッド |
| 27 | MPX-B | 10A | ボデー ECU、スマートエントリー&スタートシステム、チルト&テレスコピックステアリング、パワーシート、ヘッドアップディスプレイ、メーター、ステアリングセンサー、リヤコントロールスイッチ、パワートランクリッド、時計、オーバーヘッドモジュール、フロントドア ECU、CAN ゲートウェイ ECU、ヨーレート& G センサー |
| 28 | IGCT NO.4 | 10A | パワーコントロールユニット |
| 29 | IGCT NO.3 | 7.5A | 駆動用電池、DC/DC コンバーター |
| 30 | IGCT NO.2 | 5A | ハイブリッドシステム |
| 31 | IG2 NO.1 | 5A | CAN ゲートウェイ ECU、DCM |
| 32 | GAUGE | 5A | メーター |
| 33 | ECU-B NO.2 | 7.5A | グリルシャッター |

| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|------------|-------|-----------------|
| 34 | DEICER | 25A | フロントワイパーデアイサー |
| 35 | ABS MAIN 3 | 10A | 電子制御ブレーキ |
| 36 | FILTER | 10A | コンデンサー |
| 37 | A/C W/P | 7.5A | エアコン |
| 38 | SPARE | 10A | 予備ヒューズ |
| 39 | SPARE | 20A | 予備ヒューズ |
| 40 | SPARE | 30A | 予備ヒューズ |

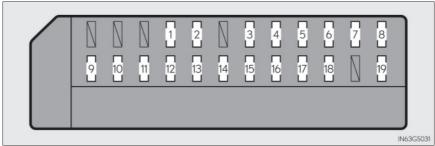
■ 運転席足元



| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|-------------|-------|--|
| 1 | STOP | 7.5A | 制動灯、ハイマウントストップランプ |
| 2 | P/SEAT1 F/R | 30A | パワーシート |
| 3 | FR P/OUTLET | 15A | アクセサリーソケット(フロント) |
| 4 | P/W-B | 5A | パワーウインドウマスタースイッチ |
| 5 | RR P/OUTLET | 15A | アクセサリーソケット(リヤ) |
| 6 | P/SEAT2 F/R | 25A | パワーシート |
| 7 | AVS | 20A | AVS |
| 8 | WIPER | 30A | ワイパー |
| 9 | WASH | 20A | ウォッシャー |
| 10 | RH ECU-IG | 10A | ナビゲーションシステム、VGRS、ナイトビュー、車両接近通報装置、電子制御ブレーキ、ステアリングヒータースイッチ、プリクラッシュシートベルト、DRS |
| 11 | RH-IG | 10A | パワーシート、ヘッドアップディスプレイ、ドライバーモニター、ナノイー、シフトロックシステム、チルト&テレスコピックステアリング、タイヤ空気圧警報システム、クリアランスソナースイッチ、テンションリデューサー、シートヒーター&ベンチレータースイッチ |
| 12 | DOOR FR | 30A | パワーウインドウ (フロント運転席側)、 アウターミラー、ミラーヒーター |
| 13 | DOOR RR | 30A | パワーウインドウ(リヤ運転席側) |
| 14 | RAD NO.2 | 30A | オーディオ |
| 15 | STRG LOCK | 15A | ステアリングロックシステム |

| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|------------|-------|--|
| 16 | MULTIMEDIA | 10A | ナビゲーションシステム、ETC/DSRC、 リモートタッチ |
| 17 | RAD NO.1 | 30A | オーディオ |
| 18 | AIR BAG | 10A | SRS エアバッグ |
| 19 | OBD | 7.5A | ダイアグノーシスコネクター |
| 20 | TI & TE | 20A | チルト&テレスコピックステアリング |
| 21 | ACC | 7.5A | ボデー ECU、ETC/DSRC、ヘッドアップディスプレイ、ディスプレイ、ナビゲーションシステム、リモートタッチ、シーケンシャルシフトスイッチ、時計 |

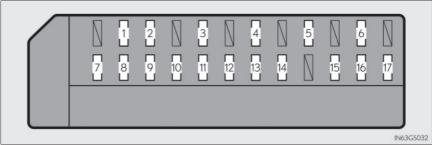
■ 助手席足元



| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|----------------|-------|--|
| 1 | P/SEAT1 F/L | 30A | パワーシート、パワーシートスイッチ |
| 2 | D/L NO.1 | 25A | ドアロックシステム |
| 3 | NV-IR | 10A | ナイトビューシステム |
| 4 | FL S/HTR | 10A | シートヒーター&ベンチレーター |
| 5 | STRG HTR | 15A | ステアリングヒーター |
| 6 | WIPER-IG | 5A | ワイパー |
| 7 | LH-IG | 10A | ボデーECU、AFS、センターディスプレイ、雨滴センサー、インナーミラー、白線認識用カメラ(LKA)、クリアランスソナー、ムーンルーフ、テンションリデューサー、フロントドア ECU(助手席側)、パワーシート、PTC ヒーター、ヘッドランプクリーナー |
| 8 | LH ECU-IG | 10A | エアコン、VGRS、AFS、運転支援システム、電動パーキングブレーキシステム |
| 9 | DOOR FL | 30A | フロントドア ECU |
| 10 | CAPACITOR (HV) | 10A | コンデンサー |
| 11 | AM2 | 7.5A | パワーマネジメントシステム |
| 12 | D/L NO.2 | 25A | ドアロックシステム |
| 13 | DOOR RL | 30A | パワーウインドウ(リヤ助手席側) |
| 14 | HAZ | 15A | 方向指示灯、非常点滅灯スイッチ |
| 15 | LH-IG2 | 10A | 燃料噴射システム、制動灯、スマートエントリー&スタートシステム、ステアリングロックシステム、電子制御ブレーキ、パワーマネジメントシステム |

| | ヒューズ名称 | アンペア数 | ヒューズの受け持つ主な装置名称 |
|----|-------------|-------|-----------------|
| 16 | LH J/B-B | 7.5A | ボデー ECU |
| 17 | S/ROOF | 20A | ムーンルーフ |
| 18 | P/SEAT2 F/L | 25A | パワーシート |
| 19 | A/C | 7.5A | エアコン |

■ トランク内



ヒューズ名称 アンペア数 ヒューズの受け持つ主な装置名称 1 PSB 30A プリクラッシュシートベルト 2 PTI 25A パワートランクリッド 3 RR J/B-B 10A スマートエントリー&スタートシステム RR S/HTR 4 20A シートヒーター(リヤ席) シートヒーター&ベンチレーター(フロ 5 FR S/HTR 10A ント席) リヤフォグランプ 6 RR FOG 10A 7 DC/DC-S (HV) 7.5A DC/DC コンバーター 8 BATT FAN (HV) 20A 駆動用電池冷却用ファン 9 SECURITY 7.5A SECURITY ECU-B NO.3 7.5A 電動パーキングブレーキシステム 10 TRK OPN 7.5A パワートランクリッド 11 DCM (HV) 7.5A DCM 12 13 AC INV (HV) 20A アクセサリーコンセント 14 RR-IG1 5A レーダーセンサー パワートランクリッド、電動パーキング ブレーキシステム、リヤ側コントロール 15 RR ECU-IG 10A スイッチ、タイヤ空気圧警報システム、 テンションリデューサー **EPS-IG** 5A 電動パワーステアリング 16 17 BACK UP 7.5A 後退灯

□知識

■ヒューズを交換したあとは

- ●交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。(→ P. 347)
- ●交換しても再度ヒューズが切れる場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。
- ■補機バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■電球(バルブ)を交換するとき

この車両に指定されているレクサス純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は 過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のレクサス純正品以 外は使用できない場合があります。

▲ 警告

■車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- ●規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- ●必ずレクサス純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ●ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。



■ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

電球(バルブ)の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、レクサス販売店で交換することをおすすめします。

電球の用意

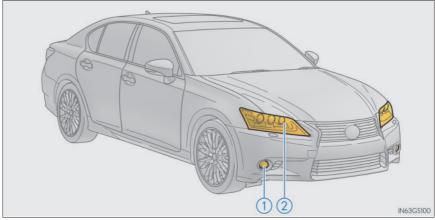
切れた電球の W (ワット) 数を確認してください。(→ P. 447)

エンジンルームカバーの取りはずし

→ P. 322

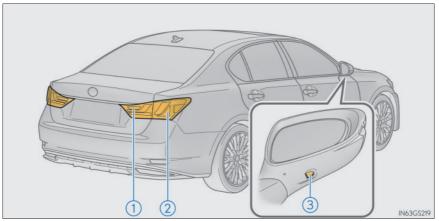
バルブ位置

■ フロント



- (1) フロントフォグランプ
- (2) フロント方向指示灯/非常点滅灯

■リヤ



- 1) 後退灯※
- ② リヤ方向指示灯/非常点滅灯
- ③ ドアミラー照明
- ※ リヤフォグランプ装着車の場合、後退灯は助手席側のみに装着されます。

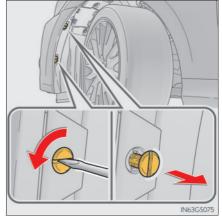
電球交換のしかた

■ フロントフォグランプ

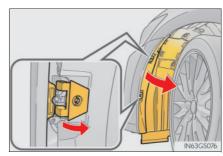
1 交換するランプの反対側にハンドルをいっぱいまでまわしてスペースを広げ、クリップ(2個)を取りはずす

運転席側を交換するときは左に、助 手席側を交換するときは右にハンド ルをまわします。

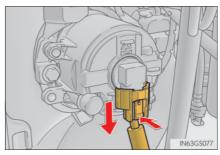
クリップをはずすときは、頭部をまわしてロックを解除し、引き抜きます。



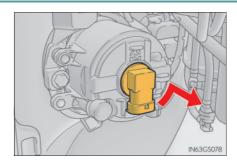
2 留め具を広げながら引いてツメ をはずし、フェンダーライナー をめくる



3 コネクターを取りはずす

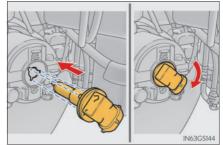


4 電球を取りはずす



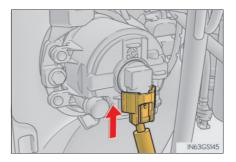
5 新しい電球を取り付ける

取り付け部と電球のツメ (3 か所) を合わせて挿し込み、右にまわして 固定します。

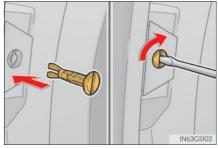


6 コネクターを取り付ける

コネクターを取り付けたあとは、いったんフォグランプを点灯させ、 バルブの取り付け部からランプの光 がもれていないことを目視確認して ください。

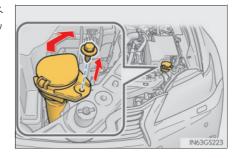


7 フェンダーライナーをもとにも どし、クリップを取り付ける クリップは、挿し込んでからまわし てロックします。



■ フロント方向指示灯/非常点滅灯

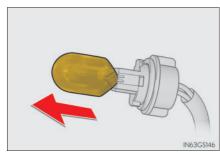
1 助手席側を交換するときは、ネジ(1本)を取りはずしてウォッシャー液注入口の位置をずらす



2 ソケットを取りはずす



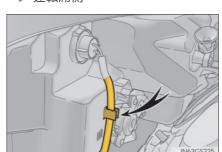
3 電球を取りはずす



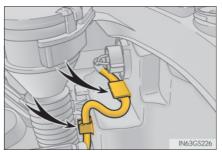
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

ソケットを取り付けたあとは、クリップでコードを固定してください。また、助 手席側の電球を交換したときは、ウォッシャー液注入口の固定ボルトを必ずも とどおりに取り付けてください。

▶ 運転席側

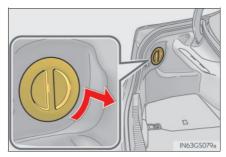


▶ 助手席側

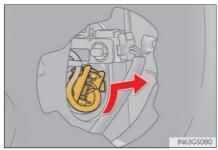


■ リヤ方向指示灯/非常点滅灯

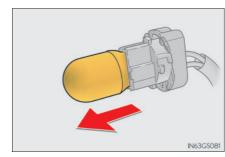
1 トランクを開け、カバーを取り はずす



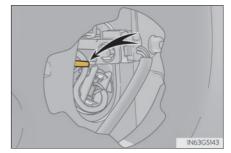
2 ソケットを取りはずす



3 電球を取りはずす



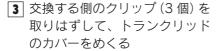
4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける ソケットを取り付けたあとは、クリップでコードを固定し、カバーをもとどおりに取り付けてください。



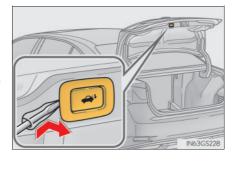
■ 後退灯

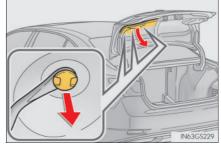
- 1 トランクを開ける
- 2 助手席側の電球を交換するときは、トランククローズスイッチ本体カバーの側方にマイナスドライバーを挿し込んで、片方ずつ手前に引き出す(パワートランクリッド装着車のみ)

傷が付くのを防ぐため、ドライバー の先端に布などを巻いて保護してく ださい。

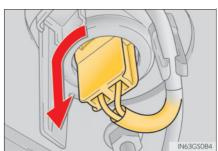


クリップの破損を防ぐため、市販の クリップリムーバーのご使用をおす すめします。

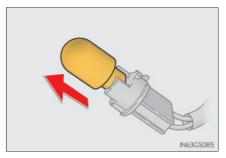




4 ソケットを取りはずす



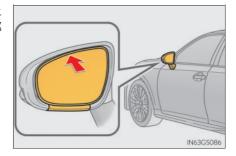
5 電球を取りはずす



6 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ ドアミラー照明

1 ミラーの上端を押して鏡面を上向きにし、ミラーのカバー下部に保護テープを貼り付ける



2 保護テープを巻いたマイナスドライバー(2本)の先端を挿し込んで、ミラー裏側のツメ(4か所)をはずす

ミラーを手前に引き出すようにして、2か所ずつツメをはずします。

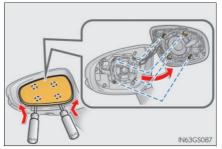
ミラーが急に落下しないよう、慎重 に作業してください。

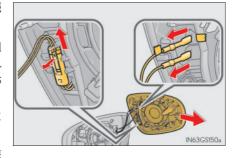
3 裏面にあるコネクター類の接続をはずし、ミラーを取りはずす細いコネクターをはずすときは、組み付け時に間違えないよう、いずれかの側にテープなどで印を付けておきます。

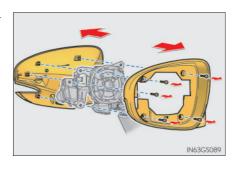
ミラーを落とさないように、慎重に 作業してください。

ミラーを持つときは、グリースが塗布してある箇所をつかまないように 注意してください。

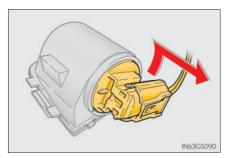
(4) ネジ(5本)をはずして、ミラー のカバー類を取りはずす



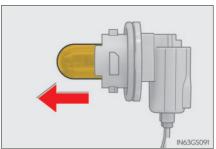




5 ソケットを取りはずす

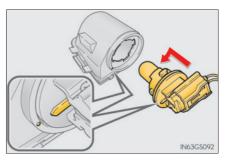


6 電球を取りはずす



7 新しい電球を取り付けてから、 ソケットをランプ本体に固定す る

ソケットを挿し込むときは、ランプ本体・ソケットそれぞれに刻印されているマークの位置を合わせてください。

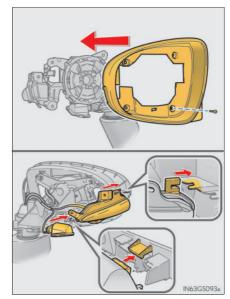


8 鏡面側のカバーをミラーのフレームに取り付けてネジ(1本)で固定し、サイド方向指示灯と足元照明を取り付ける

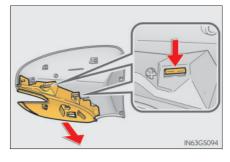
ここでは、図の位置のネジ (1 本) だけを取り付けます。

サイド方向指示灯は、ランプ側とカバー側のツメの位置を合わせて取り付けます。

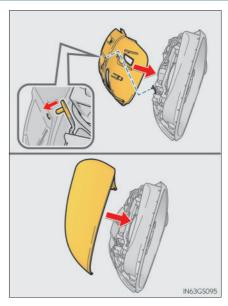
足元照明は、ランプ本体側の溝とカバー側のツメをかみ合わせて固定します。



9 ツメをはずして、アウターミラーの後部カバーを上下に分離する

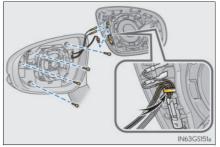


10 下側から上側の順にアウターミラーの後部カバーを取り付ける下側のカバーを取り付けるときは、サイド方向指示灯のピンをカバーの穴に挿し込んでください。



11 ネジ(4本)でカバーを固定し、 取りはずしたコネクター類をも とどおりに取り付ける

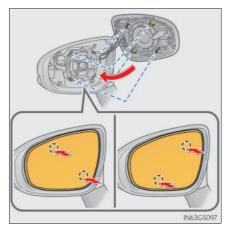
コード類はもとどおりフックにかけて固定します。



12 ツメの位置を合わせ、対角の 2 か所ずつ順番に鏡面を押し込んで、ミラーを固定する

必ず図の順序で2か所を同時に押し 込み、パチッと音がしてツメが固定 されたことを確認してください。

音が確認できないときは、無理に押し込まずにいったんミラーをはずして、ツメの位置が合っているか確認してください。



■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、レクサス販売店で交換してください。

- ヘッドランプ(前照灯)
- 車幅灯
- サイド方向指示灯/非常点滅灯
- 尾灯
- 尾灯/制動灯
- リヤフォグランプ ★
- ハイマウントストップランプ
- 番号灯

___ 知識

■LED ランプについて

フロントフォグランプ・フロントおよびリヤ方向指示灯/非常点滅灯・後退灯・ドアミラー照明以外のランプは、数個のLEDで構成されています。もしLEDがひとつでも点灯しないときは、レクサス販売店で交換してください。

■レンズ内の水滴と曇り

次のようなときは、レクサス販売店にご相談ください。ただし、レンズ内の一時的な 曇りは、機能上問題ありません。

- ●レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ●ランプ内に水がたまっている

■電球(バルブ)を交換するとき

→ P. 346

▲ 警告

■電球を交換するとき

- ●ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでくだ さい。やけどをすることがあります。
- ●電球のガラス部を素手でふれないでください。 プラスチック部または金属ケース部を持ってください。また、電球を傷付けたり、 落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- ●電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十 分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内 に曇りが発生することがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしつかりと取り付けられていることを確認してください。

注意

■ドアミラー照明を交換するとき

工具・体がフロントドアガラスにあたって作業しづらい場合は、ドアガラスを開け て作業スペースを広げてください。無理に作業すると、車両に傷が付く原因になり ます。

万一の場合には

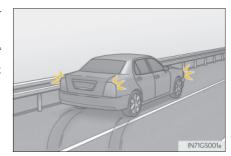
| 7-1. | まず初めに | |
|------|-------------------------------|-----|
| | 故障したときは | 362 |
| | 非常点滅灯 | |
| | (ハザードランプ) | 363 |
| | 発炎筒 | 364 |
| | 車両を緊急停止するには | 366 |
| 7-2. | 緊急時の対処法 | |
| | けん引について | 367 |
| | 警告灯がついたときは | 371 |
| | 警告メッセージが | |
| | 表示されたときは | 377 |
| | パンクしたときは | |
| | (応急用タイヤ装着車) | |
| | パンクしたときは(タイヤパン 応急修理キット装着車) | - |
| | ハイブリッドシステムが 始動できないときは | 425 |
| | シフトレバーが | |
| | シフトできないときは | 427 |
| | パーキングブレーキが | |
| | 解除できないときは | 428 |
| | 電子キーが正常に | 400 |
| | 働かないときは | 430 |
| | 補機バッテリーが | 120 |
| | あがったときは | |
| | オーバーヒートしたときは | |
| | スタックしたときは | 439 |

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

非常点滅灯 (→ P. 363) を点滅させ ながら、車を路肩に寄せ停車する

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず 路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次の ことに従う

- 同乗者を避難させる
- 車両の50m以上後方に発炎筒 (→ P. 364)と停止表示板を置 くか、停止表示灯を使用する
 - ・見通しが悪い場合はさらに後方に置 いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル 内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに 避難する



□ 知識

■停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- ●停止表示板・停止表示灯は、レクサス販売店 で購入することができます。

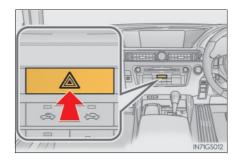


非常点滅灯(ハザードランプ)

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。 もう一度押すと消灯します。



□ 知識

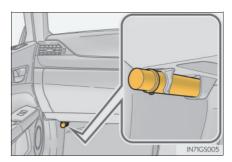
■非常点滅灯について

ハイブリッドシステム停止中(READY インジケーターが点灯していないとき)に、非常点滅灯を長時間使用すると、補機バッテリーがあがるおそれがあります。

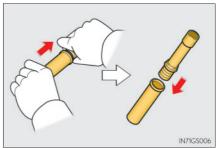
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください) 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

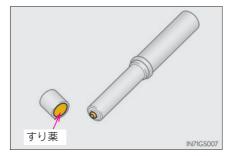
1 助手席足元の発炎筒を取り出す



2 本体をまわしながら抜き、本体を逆 さにして挿し込む



3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒 の先端をこすり、着火させる 必ず車外で使用してください。 着火させる際は、筒先を顔や体に向け ないでください。



知識

■発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、レクサス販売店でお求めください。有効 期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

A 警告

■発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。 煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ●ガソリンなど可燃物の近く

■発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。 お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ●使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- ●発炎筒は、お子さまにさわらせない

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させ てください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制 動距離も長くなります。
- **2** シフトレバーを N に入れる
- ▶ シフトレバーが N に入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 ハイブリッドシステムを停止する
- ▶ シフトレバーが N に入らない場合
- |3||ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 パワースイッチを 2 秒以上押し続 けるか、素早く 3 回以上連続で押 してハイブリッドシステムを停止 する



|**5**| 車を安全な道路脇に停める

A 警告

■走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するとき

ブレーキの効きが悪くなると共にハンドルが重くなるため、車のコントロールがし にくくなり危険です。ハイブリッドシステムを停止する前に、十分に減速するよう にしてください。

けん引について

けん引は、できるだけレクサス販売店または専門業者にご依頼ください。

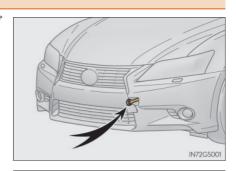
けん引される前に

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、レクサス販売店へご連絡ください。

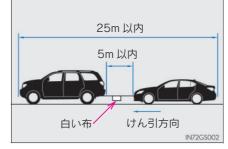
- ハイブリッドシステムは始動するが、車が動かない
- 異常な音がする

けん引されるとき

1 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける 前進方向でけん引してください。



2 ロープの中央に白い布を付ける 布の大きさ:0.3m 平方 (30cm × 30cm) 以上



3 ハイブリッドシステムを始動する

ハイブリッドシステムが始動しないときは、パワースイッチをアクセサリーモード、または ON モードにしてください。

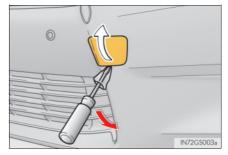
4 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレーキを 解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

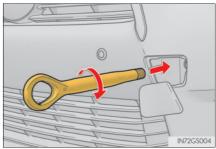
けん引フックの取り付け方

- **1** けん引フックを取り出す (→ P. 403, 413)
- **2** マイナスドライバーを使ってフタ をはずす

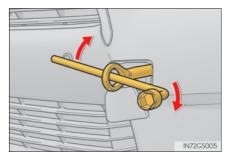
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



(4) ホイールナットレンチを使い確実 に取り付ける



□ 知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引されるときに使うものであり、他車をけん引するためのもので はありません。

■けん引されるときに

ハイブリッドシステムが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

▲ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれが あります。

■けん引するとき

後輪が地面に付いた状態で前からけん引しないでください。

お守りいただかないと駆動装置が損傷したり、車が台車から飛び出すおそれがあります。



■けん引中の運転について

- ●けん引を行うときは、細心の注意を払ってください。 けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進は避けてください。 けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたるおそれがあります。
- ●パワースイッチを OFF にしないでください。 ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

■けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。 指定の位置にしっかり取り付けていないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。

⚠ 注意

■車両の損傷を防ぐために

- ●けん引するときは次のことを必ずお守りください。
 - ワイヤーロープは使用しない
 - ・速度は30km/h以下、距離は車両積載車までの移動など、できるだけ短距離に とどめる
 - 前進方向でけん引する
 - サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート (トレーラー) などをけん引しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。

ただちに停車してください。走行を続けると危険です。

次の警告はブレーキの故障のおそれがあることを意味します。ただちに安全 な場所に停車し、レクサス販売店へ連絡してください。

| 警告灯 | 警告灯名・警告内容 |
|-----|---|
| | ブレーキ警告灯(警告ブザー)・ ブレーキ液の不足・ ブレーキ系統の異常 |

ただちに停車してください。

次の警告は、お車への損傷や思わぬ危険を招くおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、レクサス販売店へ連絡してください。

| 警告灯 | 警告灯名・警告内容 | |
|----------|-----------|--|
| | 充電警告灯 | |
| <u> </u> | 充電系統の異常 | |

ただちに点検を受けてください。

次の警告は、放置するとシステムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招く おそれがあることを意味します。ただちにレクサス販売店で点検を受けてく ださい。

| 警告灯 | 警告灯名・警告内容 |
|-------------|---|
| | エンジン警告灯 ・ハイブリッドシステムの異常 ・エンジン電子制御システムの異常 ・電子制御スロットルの異常 ・トランスミッション電子制御システムの異常 |
| × | SRS エアバッグ/プリテンショナー警告灯 ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 |
| (ABS) | ABS & ブレーキアシスト警告灯 ・ ABS の異常 ・ ブレーキアシストの異常 |
| ©! | パ ワーステアリング警告灯 EPS(エレクトリックパワーステアリング)の異常 |
| PCS (点滅) | PCS 警告灯 [★] プリクラッシュセーフティシステムの異常 システムの異常時以外にも、警告灯が次のように作動します。 ・システムの作動時には、速い点滅でお知らせします。 (→ P. 251) ・プリクラッシュセーフティシステムを OFF にすると点灯します。(→ P. 253) ・システムが一時的に使用できないときに点滅します。 (→ P. 394) |

| 警告灯 | 警告灯名・警告内容 |
|---------------------|--|
| | スリップ表示灯 ・ VSC システムの異常 ・ TRC システムの異常 上記のシステムの作動時には、点滅します。(→P. 245) |
| AFS OFF (点滅) | AFS OFF 表示灯 アダプティブフロントライティングシステムの異常 |
| HOLD (点滅) | ブレーキホールド作動表示灯 ブレーキホールドシステムの異常 |
| (点滅) | パーキングブレーキ表示灯 パーキングブレーキシステムの異常 |
| | ブレーキ警告灯 ・電子制御ブレーキシステムの異常 ・回生ブレーキシステムの異常 ・パーキングブレーキシステムの異常 |

ただちに処置してください。

次の警告はそれぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認 してください。

| 警告灯 | 警告灯名·警告内容 | 対処方法 |
|-------------|--|---|
| | 半ドア警告灯 (警告ブザー** 1) いずれかのドア、またはトランクが確 実に閉まっていない | 全ドアおよびトランク を閉める |
| | 燃料残量警告灯 燃料の残量が約 9.9L 以下になった | 燃料を補給する |
| * | シートベルト非着用警告灯(警告ブザー** 2)運転席・助手席シートベルトの非着用 | シートベルトを着用する |
| | マスターウォーニング システムの異常時にブザーと共に点 灯・点滅し、マルチインフォメーショ ンディスプレイ上に警告メッセージ を表示します。 | → P. 377 |
| | タイヤ空気圧警告灯 | |
| <u>(!</u>) | 警告灯が点灯した場合: 次のようなタイヤ空気圧の低下を表します。 ・自然要因 (→ P. 375) ・タイヤのパンク (→ P. 402, 412) | 指定された空気圧に調整してください。 調整して数分後に警告灯が消灯します。 空気圧を調整してむ 警告灯が消灯しない場合は、レクサス 場合は、レクサスに 店でで点検を受けてさい。 |
| | 警告灯が1分間点滅したあとに点灯した場合: タイヤ空気圧警報システムに異常があります。 | レクサス販売店で点検 を受けてください。 |

※1 半ドア走行時警告ブザー:

→ P. 384

※2 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー:

運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブ ザーが1回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルトを非着用のまま30秒 を経過すると、30秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音がかわり90秒間鳴ります。

□ 知識

■シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■パワーステアリング警告灯/警告ブザーについて

補機バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

■タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合

空気圧を確認し、適切な値に調整してください。

■自然要因によるタイヤ空気圧警報について

自然な空気もれ、外気温による空気圧の変化など、自然要因によりタイヤ空気圧警告 灯が点灯することがあります。この場合、タイヤ空気圧を適切な値に調整してください。数分後に警告灯が消灯します。

■応急用タイヤに交換した場合

応急用タイヤには空気圧バルブ/送信機は装備されていません。タイヤがパンクした場合、応急用タイヤに交換しても空気圧警告灯は消灯しません。

■タイヤ空気圧警報システムが正常に働かないおそれがある状況

→ P. 329

▲ 警告

■パワーステアリング警告灯が点灯したとき

ハンドルが非常に重くなることがあります。

ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしつかりと持ち、通常より強く操作してください。

■タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害 におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●できる限り速やかに安全な場所に停車し、タイヤ空気圧を調整してください。
- タイヤ空気圧を調整したあとも警告灯が点灯してる場合はタイヤがパンクしている可能性がありますので、確認してください。

タイヤがパンクしている場合は応急用タイヤに交換するか、タイヤパンク応急修理 キットで応急修理し、最寄りのレクサス販売店でタイヤの修理をしてください。

●急ハンドル・急ブレーキは避けてください。 もしタイヤの状態が悪化した場合、ハンドル操作またはブレーキが効かなくなるお それがあります。

■タイヤの破裂、突然の空気もれが発生した場合

急激にタイヤ空気圧が低下した場合は、タイヤ空気圧警報システムによる警報ができない場合があります。

🛕 注意

■タイヤ空気圧警報システムについての注意

- ●純正ホイール以外を使用した場合、バルブ/送信機から発信する電波の飛び方がかわり、システムが正常に作動しないことがあります。
- タイヤの種類によっては、純正ホイールを使用していてもバルブ/送信機が正常に 作動しないことがあります。(例:スチールフィラー入りタイヤ)
- ●タイヤ空気圧警告灯の点灯および点滅は、初期化スイッチ操作(→ P. 327)では 解除できません。

■メーカー指定以外のタイヤを使用した場合

構造・メーカー・銘柄・トレッドパターンが異なるタイヤを使用した場合、タイヤ 空気圧警報システムが正常に作動しないことがあります。

警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。

- マスターウォーニング
 マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。
- ② マルチインフォメーションディス プレイ



処置後に再度メッセージが表示されたときは、レクサス販売店へご連絡ください。

ただちに停車してください。走行を続けると危険です。

次の警告は、ブレーキの故障のおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、レクサス販売店へ連絡してください。



| 警告メッセージ | 警告内容 |
|-------------------------|---|
| ブレーキ システムチェック (1) | 回生ブレーキシステムの異常 電子制御ブレーキシステムの異常 電動パーキングブレーキシステムの異常 警告ブザーが鳴ります。 |

ただちに停車してください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告は、お車への損傷や思わぬ危険を招くおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、レクサス販売店へ連絡してください。

| 警告メッセージ | 警告内容 |
|--------------------|---|
| エンジン油圧不足 | エンジンオイル圧力の異常 エンジンオイルの圧力が異常に低いと表示されます。 |
| ハイブリッド システムチェック | ハイブリッドシステムの異常 |

ただちに点検を受けてください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告は、放置すると、システムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招くおそれがあることを意味します。ただちにレクサス販売店で点検を受けてください。

| 警告メッセージ | 警告内容 |
|---------------------------------|---|
| PCSシステムチェック PCS (点滅) | PCS(プリクラッシュセーフティシステム) [★] の異常 |
| ッナー システム チェック | クリアランスソナー[★]の異常 異常のあるソナーが点滅して表示されます。 |
| クルーズ システムチェック | クルーズコントロールシステム [★] またはレーダーク ルーズコントロールシステム [★] の異常 ON/OFF スイッチを一度 OFF にし、再度設定してく ださい。 |
| クルーズシステムチェック ブレーキを 踏んで下さい | レーダークルーズコントロール (全車速追従機能付き) ★の異常 ブレーキペダルを踏んでください。 |

| 警告メッセージ | 警告内容 |
|----------------------------|------------------------------------|
| LKAシステム チェック | LKA(レーンキーピングアシスト) [★] の異常 |
| ヘッドランプ システムチェック (点滅) | LED ヘッドランプシステムの異常 |
| AFSチェック | AFS (アダプティブフロントライティングシステム) の 異常 |
| エアバッグ システムチェック | SRS エアバッグ・シートベルトプリテンショナーの異常 |
| AHBシステムチェック | オートマチックハイビーム★の異常 |

| 警告メッセージ | 警告内容 |
|-------------------------------------|--|
| ABSチェック | ABS・ブレーキアシストの異常 |
| Brake Hold システムチェック HOLD (点滅) | ブレーキホールドシステムの異常 |
| ブレーキを踏んで下さい Brake Hold ジステムチェック | ブレーキホールドシステムの異常 ブレーキペダルを踏んでください。 |
| バーキングブレーキ 動作できません (点滅) | パーキングブレーキシステムの異常 |
| バーキングブレーキ システムチェック | パーキングブレーキシステムの異常 |

| 警告メッセージ | 警告内容 |
|--------------------------------|---|
| パワーステアリング システムチェック | パワーステアリングシステムの異常 |
| VGRS システムチェック | VGRS(バリアブルギアレシオステアリング) [★] の異常 |
| DRS システムチェック | DRS(ダイナミックリヤステアリング) [★] の異常 |
| スマートエントリー& スタートシステム チェック | スマートエントリー&スタートシステムの異常 |
| グリルシャッター 動作不良 | グリルシャッターシステムの異常 グリルシャッター周辺の異物、氷などの付着 |

| 警告メッセージ | 警告内容 |
|-------------------------|--|
| ナビ・ブレーキアシスト システムチェック | ナビ・ブレーキアシストの異常 カーナビゲーションからの情報を利用したブレーキアシスト機能(ナビ・ブレーキアシスト)が作動できない状態を表します。 通常の走行に支障はありません。 ナビ・ブレーキアシストについては、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。 |

ただちに処置してください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告はそれぞれの対処 方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------|--|-----------|
| | 各ドアが確実に閉まっていない 開いているドアが表示されます。 各ドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5km/h をこえたときには します。 | 各ドアを閉める |
| ボンネットオープン | ボンネットが確実に閉まっていない ボンネットが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5km/h をこえたときには が点滅します。 | ボンネットを閉める |

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------------------|---|--------------------|
| トランクオープン | トランクが確実に閉まっていない トランクが確実に閉まっていない状態のまま、車速が 5km/h をこえたときにはが点滅します。 | トランクを閉める |
| 窓が開いています | 窓が確実に閉まっていない状態でパワースイッチ を OFF にして運転席ドア を開けた | 窓を閉める |
| ムーンルーフが 開いています | ムーンルーフ [★] が確実に 閉まっていない状態でパ ワースイッチを OFF にし て運転席ドアを開けた | ムーンルーフを閉める |
| 窓・ムーンルーフが 開いています (点滅) | 窓・ムーンルーフ★が確実 に閉まっていない状態で パワースイッチを OFF に して運転席ドアを開けた | 窓・ムーンルーフを閉める |
| バーキングブレーキを 解除して下さい | パーキングブレーキが解除されていない パーキングブレーキをかけたまま、車速が5km/hをこえたときには が点滅します。 | パーキングブレーキを解 除する |

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|---|---|---|
| バーキングブレーキ オーバーヒート (点滅) (点滅) | パーキングブレーキシス テムの過熱 | システムが通常温度になるまでしばらく待つ |
| 急坂路 Brake Hold できません (点滅) | 急坂路でのブレーキホー ルドシステムの使用不可 | ブレーキホールドシステ ムが使用できる状況に なってから使用する |
| Brake Hold 解除時は ブレーキを 踏んで下さい | ブレーキホールドシステ ムのブレーキホールド解 除不可 | ブレーキペダルを踏む |
| Brake Hold 使用時は ドアを閉じて下さい Brake Hold 使用時は シートベルトを して下さい Brake Hold 使用時は トランク、ボンネットを 閉じて下さい | ブレーキホールドシステ ムを使用できない状況 使用できない理由が表 示されます。 | ・ 運転席ドアを閉める・ 運転席シートベルトを 着用する・ トランク、ボンネットを 閉める |

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|---|--|--|
| Brake Hold 継続するには ブレーキを 踏んで下さい Brake Hold 継続するには ト・7を閉じて下さい Brake Hold 継続するには シートベルトを して下さい | ブレーキホールドシステ ムのブレーキ保持を継続 できない状況 継続できない理由が表 示されます。 | ブレーキペダルを踏む運転席ドアを閉める運転席シートベルトを 着用する |
| バーキングブレーキが 自動でロック されました | ブレーキホールドシステムのブレーキ保持中に、 パーキングブレーキが自動的にかかった | パーキングブレーキを解 除する |
| 駆動用電池充電量低下 Nレンジ以外で 充電します | 駆動用電池の残量が低下 | シフトレバーが N の状態 では充電できないため、長 時間停車するときはシフ トレバーを P に入れる |
| 駆動用電池保護モード Pレンジで 再始動して下さい | 長時間シフトレバーが N になっているため駆動用電池の残量が低下 | 車両を動かす場合は、ハイ ブリッドシステムを再始 動する |

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|----------------------------|--|--|
| 安全に停車して Pレンジに 入れて下さい | ガソリンエンジンの異常 シフトレバーが長時間 N になっている | 停車してシフトレバーを Pに入れる |
| Nレンジです (点滅) | シフトレバーが N のとき、 アクセルペダルを踏んだ | アクセルペダルから足を 離し、シフトレバーを D ま たは R に入れる |
| EVモードに現在 切替できません | EVドライブモードに切りかえできない状況** EVドライブモードを使用できない理由(暖機中/電池充電不足/EV速度域超過/アクセル踏み過ぎ)の表示がでる場合があります。 | EV ドライブモードが使用 できる状況になってから 使用する |
| EVモードが 解除されました | EV ドライブモードが自動解除された** EV ドライブモードを使用できない理由(電池充電不足/EV速度域超過/アクセル踏み過ぎ)の表示がでる場合があります。 | しばらく走行する |
| エンジンオイル不足 | エンジンオイルの不足 | エンジンオイル量を点検 し、オイルを補給する |

[※] EV ドライブモードの作動条件については、P. 177 を参照してください。

| | · | 2. 30.0.123 037.37.2.2 |
|---|---|---|
| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
| ジナー * * * * * * * * * * * * * * * * * * * | クリアランスソナー★の センサー部分の汚れ、氷な どの付着 | 汚れおよび氷などを取り 除く |
| レーダー汚れ 清掃必要 | レーダークルーズコント ロール [★] のセンサー部分 の汚れ、氷などの付着 | 汚れおよび氷などを取り 除く |
| クルーズ 現在使用できません | レーダークルーズコント ロール [★] の車間制御の測 定不可 | ・スノーモードを OFF に する ・ワイパーを止めるか、 オートまたは高速作動 以外にかえる |
| 100 km/h | (レーダークルーズコント ロール★の車間制御中) 衝 突の危険性 ヘッドアップディスプ レイ★に が点滅 表示されます。 | ブレーキで減速する |
| ブレーキ! PCS (点滅) | 衝突の可能性が高い、またはプリクラッシュブレーキが作動している(プリクラッシュセーフティシステム*) ヘッドアップディスプレイ*に 「ブレーキ! が点滅表示されます。 | ブレーキで減速する |

★:仕様により異なる装備やオプション装備

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|--------------------------------|--|--------------------------------------|
| LKA現在使用 できません | LKA (レーンキーピングア シスト) ★の一時停止 ・白線認識用カメラが 作動範囲外の高温状態 ・パワーステアリング システムの作動制限 中 | しばらく走行してから LKA を再起動する |
| 100 km/h | (LKA [レーンキーピング アシスト] ★制御中) 車線 逸脱警報 警告ブザーが連続して鳴ります。 白線またはハンドルマークが点滅して表示されます。 ヘッドアップディスプレイ★に 表示されます。(部分点滅) | 周囲の安全を確認してから、ハンドルを操作して車 両を車線内にもどす |
| LKA アシスト停止 ハンドルを保持して 下さい | (LKA [レーンキーピング アシスト] ★車線維持支援 機能中) 手放し運転警告 警告ブザーが "ピピツ" と鳴ります。 | ハンドルをしっかりにぎる |
| ハイブリッドシステム 過熱 | ハイブリッドシステムの 過熱 負荷の高い走行状況 (例 えば、長い上り坂を走 行) のときにメッセージ が表示される場合があ ります。 | 車両を停車して点検する (→ P. 435) |

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|----------------------|--|------------------------------------|
| 高油温 出力制限中 | エンジンオイルが過熱し ているため、出力が制限さ れている | 警告メッセージが消える までは安全な速度で走行 する |
| 暖機運転中 最高速度110km/h | 暖機運転中のため、最高速 度が110km/hに制限され ている | 暖機運転が終了するまで は110km/h未満で走行す る |
| 給油して下さい | 燃料の不足 | 燃料を補給する |
| 駐車時はPレンジに 入れてください | ハイブリッドシステム作 動中でシフトレバーが P 以外のとき、運転席ドアを 開けた | シフトレバーをPにする |

⊿知識

■レーダークルーズコントロール★の警告メッセージについて

次のような場合は、車間距離が短くても、車間制御中の警告メッセージが表示されな いおそれがあります。

- ●先行車と自車の車速が同じか先行車の方が速いとき
- ●先行車が非常に低速で走行しているとき
- ●速度を設定した直後
- ●アクセルペダルが踏まれたとき

■LKA (レーンキーピングアシスト) *の車線逸脱警報について

次のような場合は、白(黄)線をまたいでも警告メッセージが表示されません。

- ●LKA の作動条件以外の車速のとき
- ●白(黄)線を認識できていないとき
- ●車線変更に相当する程度の操舵力でハンドルを操作したとき

ただちに処置してください。

次の警告は対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-------------------------------------|--|--|
| クルーズできません ブレーキを踏んで 下さい | レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付き)の車間制御の測定不可 | ・ブレーキペダルを踏む ・スノーモードを OFF に する ・ワイパーを止めるか、 オートまたは高速作動 以外にかえる |
| AHBはハイビーム 点灯が必要です | ヘッドランプがロービー ムの状態でオートマチッ クハイビームスイッチを 押した | ヘッドランプをハイビー ムに切りかえてから、オー トマチックハイビームス イッチを押す |
| Brake Hold 路面凍結に注意! | すべりやすい路面でのブ レーキホールドシステム の使用不可 | ブレーキホールドシステムが使用できる状況に なってから使用する |
| ウォッシャー液不足 | ウォッシャー液が残りわ ずか | ウォツシャー液を補充する |
| TIRE PRESSURE [kPa] 230 160 230 230 | タイヤ空気圧の低下★ | タイヤ空気圧を点検・調整 する |

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|------------------------------|---|--|
| TIRE PRESSURE (!) | タイヤ空気圧警告システ ムの異常★ | 安全な場所に停車し再度ONモードにするタイヤ空気圧警告灯が1分間点滅し、その後点灯した場合はシステム異常です。レクサス販売店で点検を受けてください。 |
| TIRE PRESSURE [kPa] | タイヤの情報が電波状況 などにより認識できてい ない★ | しばられるか確認する 電波などが表示する 電波状況をがあります。 表示する場合があります。 を表示する場合しない停チられる場合しない停チられるが表示な場所イッかられていたさいでしていたさいでしたがあります。 となっていたがあります。 を受けてください。 |
| PCS現在使用 できません PCS (点滅) | PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★が現在機能していない システムの過熱保護のため一時的に機能していない場合にも表示されます。 | グリルまたはレーダーセンサーの汚れを取り除く システムの過熱保護の ために表示された場合 は、システムが通常温度 になるまでしばらくお 待ちください。 |

ただちに処置してください。

ハイブリッドシステム始動操作を行ったとき、次の警告が表示された場合は、 警告メッセージの表示状態に従ってそれぞれ処置してください。

| 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|----------------------------------|--------------------------|---|
| 補機バッテリー (始動用)充電不足 取扱書確認下さい | 補 機 バ ッ テ リーが充電不 足 | 数秒後 [※] に表示が消えたときは 約 15 分以上、ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機 バッテリーを充電してください。 表示が消えないときは 「補機バッテリーがあがったときは」(→ P. 432) の手順でハイブ リッドシステムを始動してください。 |

[※] 約6秒間表示されます。



■「補機バッテリー(始動用)充電不足」がひんぱんに表示されるときは

補機バッテリーが劣化している可能性があります。その状態で放置しておくと、補機バッテリーあがりを起こすおそれがあるため、レクサス販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

ただちに処置してください。

それぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認し てください。

| 車内 警告 ブザー | 車外 警告 ブザー | 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------|-----------------|------------|--|--|
| 1 🛛 | なし | キーが見つかりません | 電子キーを携帯していないが正常に作動しないブランステムを がいがい がいかい がいかい がい | 電子キーを携帯 してハイブリッドシステムを始動する |
| 1 0 | 3 🛭 | キーが見つかりません | パワースイッチ がOFF以外の状態で運転席以外 のドアが開閉され同乗者が電子 キーを持ち出した | 電子キーを車内にもどす |
| 1 | 3 回 | (点滅) | シフトレバーが P の状態でパ ワースイッチを OFF にせずに キーを持ち出し たまま運転席ド アが開閉された | パワースイッチ を OFF にするま たは電子キーを 車内にもどす |

| 車内 警告 ブザー | 車外 警告 ブザー | 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------|------------------------|--|--|--------------------------|
| 1回 連続音 | | キーが見つかりません | シフトレバーが P の状態でパ ワースイッチを | パワースイッチ |
| | 電源をOFFして下さい (交互に表示) | OFF にせずに、 電子キーを外に 持ち出してドア を施錠しようと した | をOFFにしたあ と、再度施錠す る | |
| | | (点滅) | 正規の電子キー | |
| 90 | なし | キーが見つかりません | が車室内に無い状態で走行をはじめた | 車室内に電子 キーがあるか確 認する |
| 連続音 なし | なし | Pレンジに 入れて下さい | シフトレバーが P以外の状態で、 パワースイッチ を OFF にせずに | シフトレバーを Pにする |
| | | (点滅) | 運転席ドアが開いた | |

| 車内 警告 ブザー | 車外 警告 ブザー | 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------|-----------------|-------------------------|--|---|
| | Pレンジに 入れて下さい | シフトレバーが P 以外の状態で | 2.711.18 | |
| 連続音 | 連続音 | キーが見つかりません | パワースイッチ をOFFにせずに キーを持ち出し たまま運転席ド アが開閉された | シフトレバーをPにする電子キーを車内に入れる |
| | | (交互に表示) | | |
| なし | 連続音 | 車室内に キーがあります (点滅) | 車内に電子キーを置いたまま、 スマートエント リー&スタート システムでドフ を施錠しようと した | 車内から電子 キーを取り出し たあと、再度施 錠する |
| 1 回 | 連続音 | 車室内に キーがあります (点滅) | 車内になった。マールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、では、アールでは、アールでは、アールでは、アールをは、アールでは、アー | 車内から電子 キーを取り出し たあと、再度施 錠する |

| 車内 警告 ブザー | 車外 警告 ブザー | 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------|-----------------|---|---|---|
| 1 回 | なし | ブレーキを踏みながら キーでパワースイッチに 触れて下さい (点滅) | ・ サースし内出たッとででが続いしスし内出たッとででがが | ブレーキを踏み ながら電子キー でパワースイッ チにふれる |
| 1 🗆 | なし | 始動時はPレンジに 入れて下さい (点滅) | ハイブリッドシ ステム始動不可 能 なシフトレ バー位置でハイ ブリッドシステ ムを動動し としている | シフトレバーを P にしてからハ イブリッドシス テムを始動させ る |
| なし | なし | バッテリー保護の為 自動電源OFFしました | 自動電源 OFF 機能が作動した | 次回ハイテンジートリットを表示では、 大のロスエンシーのでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大ののでは、 大のでは、 大のできるが、 でのできるが、 はいでもなが、 はいでもなが、 はいでもなが、 はいでもなが、 はいでもなが、 はいでもながでもなが、 はいでもなが、 はいでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもながでもなが |

| 車内 警告 ブザー | 車外 警告 ブザー | 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------|-----------------|---|--|--|
| 1 🛽 | なし | キーバッテリー 残りわずか | 電子キーの電池残量が少ない | 新しい電池と交換する (→ P. 333) |
| 1 🖸 | 1回 なし | 始励時はブレーキを踏みながらパワースイッチを押して下さい ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | パワースの で 運転席のドアの がのFFののドアの で で がのアクト で がりりが が りりが が りりが が り り り り り り り り り | ブレーキを踏ん でパワースイッ チを押す |
| | | | 電常とリム法でイスの 子に動のド始 P. 431 がなイスの分けの がなイスの がなイスの でイック でイッを いがまれた | ブザーが鳴って から 10 秒以内 にパワースイッ チを押す |
| 1 回 | なし | ステアリングロック 未解除 (点滅) | パワースイッチ を押してから約 3 秒以内にステ アリングロック が解除できな かった | ブレーキを踏ん でハンドルを左 右にまわしなが らパワースイッ チを押す |

| 車内 警告 ブザー | 車外 警告 ブザー | 警告メッセージ | 警告内容 | 対処方法 |
|-----------------|-----------------|-------------------------|--|----------------------|
| 1 回 | なし | Pレンジに 入れて下さい (点滅) | シフトレバーが P または N 以外 の状態でパワー スイッチを OFF にした | シフトレバーを Pにする |
| 1 💷 | なし | 電源をOFFして下さい (点滅) | シフトレバーが P 以外でパワー スイッチを OFF にしたあとシフ トレバーを P に した | パワースイッチ を OFF にする |

□ 知識

■警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

パンクしたときは(応急用タイヤ装着車)

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。 (タイヤについての詳しい説明は P. 325 を参照してください)

▲ 警告

■タイヤがパンクしたときは

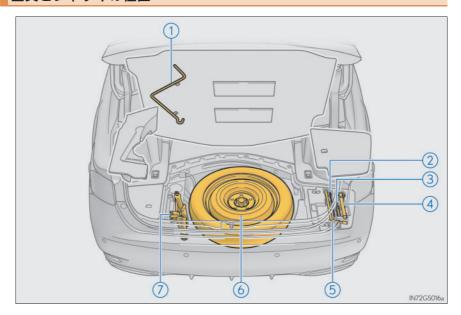
パンクしたまま走行しないでください。

短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につ ながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの位置



- 1) ジャッキハンドル
- ② パーキングブレーキ解除ツール
- ③ ドライバー
- 4 けん引フック

- 5 ホイールナットレンチ
- (6) 応急用タイヤ
- (7) ジャッキ

▲ 警告

■ジャッキの使用について

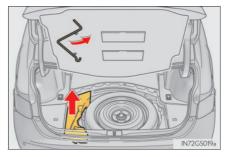
次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ●ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ●ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ●ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- ●車がジャッキで支えられている状態で、ハイブリッドシステムを始動したり車を走らせない
- ●車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- ●車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- ●車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- ●車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- ●車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

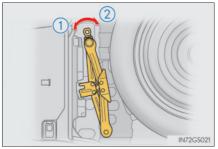
ジャッキの取り出し方

- **1** ラゲージマットを取りはずす (→ P. 288)
- スペーサーを取り出し、ジャッキハンドルをラゲージマットの裏から取りはずす



- 3 ジャッキをゆるめて取りはずす
 - (1) 締まる
 - (2) ゆるむ

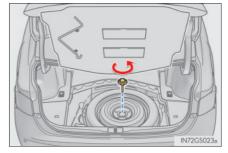
ジャッキを収納するときは、ジャッキを締めてトレイへ押し付けてください。



応急用タイヤの取り出し方

- **1** ラゲージマットを取りはずす(→ P. 288)
- 2 留め具をはずし、スペアタイヤを取り出す

スペアタイヤの留め具が固くてまわらないときは、車載のレンチを使用してください。(タイヤを固定するときは、留め具を手で取り付けてください。レンチなどの工具は使用しないでください)



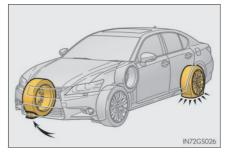
▲ 警告

■応急用タイヤを収納するとき

ボデーと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

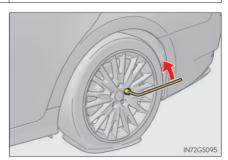
パンクしたタイヤの交換

- 1 輪止め※をする
 - ※輪止めは、レクサス販売店で購入する ことができます。

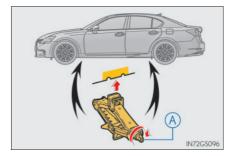


| パンクしたタイヤ | | 輪止めの位置 | |
|----------|----|---------|--|
| 前輪 | 左側 | 右側後輪うしろ | |
| 月リ早冊 | 右側 | 左側後輪うしろ | |
| 後輪 | 左側 | 右側前輪前 | |
| 1支押 | 右側 | 左側前輪前 | |

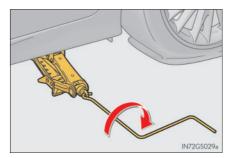
2 ナットを少し(約1回転)ゆるめる



3 ジャッキの A 部を手でまわして、 ジャッキ溝をジャッキセット位置 にしっかりかける

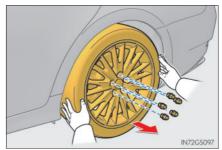


4 タイヤが地面から少し離れるまで、 車体を上げる



5 ナットすべてを取りはずし、タイヤ を取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの表面に傷が付かないよう表面 を上にします。



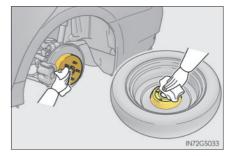
▲ 警告

■タイヤ交換について

- ●走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。 走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- ●次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な 傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ねじ部にオイルやグリースを塗らない ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディス クホイールが損傷するおそれがあります。またナットがゆるみホイールが落下 するおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき 取ってください。
 - ・ホイールの交換後は、すぐに 103N·m (1050kqf·cm) の力でナットを締める
 - ・タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、レクサス販売店で点検を受ける

応急用タイヤの取り付け

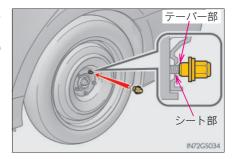
1 ホイール接触面の汚れをふき取る ホイール接触面が汚れていると、走行 中にナットがゆるみ、タイヤがはずれ るおそれがあります。



2 応急用タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮 締めする

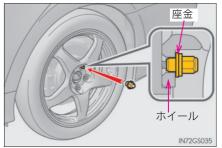
アルミホイールからスチールホ イールにかえるとき:

ナットのテーパー部がホイールの シート部に軽くあたるまでまわす

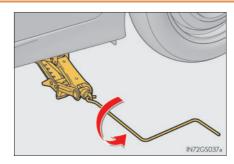


アルミホイールからアルミホイー ルにかえるとき:

ナットの座金がホイールにあたる までまわす

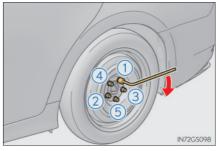


3 車体を下げる



4 図の番号順でナットを 2、3 度しつかり締め付ける

締め付けトルク: 103N·m (1050kgf·cm)



[5] すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

__ 知識

■応急用タイヤについて

- タイヤの側面にTEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- ●空気圧を必ず点検してください。(→ P. 446)

■応急用タイヤを使用するとき

応急用タイヤにはタイヤ空気圧バルブ送信機が装着されていません。指定の通常タイヤに交換し、正しい空気圧に調整するまではタイヤ空気圧警告灯は消灯しません。

■応急用タイヤを装着しているとき

標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。

■雪道・凍結路で後輪がパンクしたとき(前後のタイヤサイズが異なる車両を除く)

- 1 前輪を応急用タイヤに交換する
- 2 パンクした後輪をはずした前輪に交換する
- 3 タイヤチェーンを後輪に装着する

▲ 警告

■応急用タイヤを使用するとき

- ●お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- ●同時に2つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- ●できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- ●急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使 用は避けてください。

■応急用タイヤを装着しているとき

正確な車両速度が検出できない場合があり、次のシステムが正常に作動しなくなる おそれがあります。

· LDH★

TRC

VDIM

PCS★

· GPS ボイスナビゲーション

タイヤ空気圧警報システム

· AFS

AVS

· EPS

ABS

・ブレーキアシスト

VSC

・LKA (レーンキーピングアシスト) ★

NAVI · AI-AVS★

・レーダークルーズコントロール★

VGRS★

DRS★

・クルーズコントロール★

■応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、100km/h 以上の速度で走行しないでくださ (1)

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあ ります。

⚠ 注意

■タイヤチェーンの装着について

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。 タイヤチェーンが車体にあたり、車を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりする おそれがあります。

■タイヤ・ホイール・バルブ/送信機・バルブキャップの修理・交換

→ P. 332

★:仕様により異なる装備やオプション装備

パンクしたときは (タイヤパンク応急修理キット装着車)

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。 釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。 (パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です)

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換について は、レクサス販売店にご相談ください。

▲ 警告

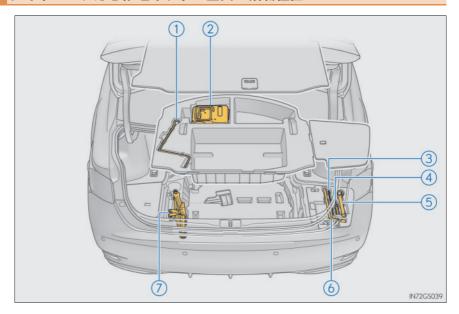
■パンクしたままの走行について

タイヤがパンクした状態で走行を続けないでください。 短い距離の運転でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事 故につながるおそれがあり危険です。

応急修理する前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P にする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

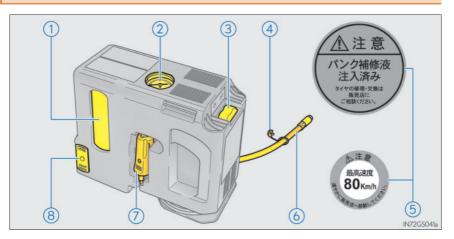
タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置



- (1) ジャッキハンドル
- (2) タイヤパンク応急修理キット (6) ホイールナットレンチ
- ③ パーキングブレーキ解除ツール (7) ジャッキ※
- (4) ドライバー
 - ※ ジャッキの使い方 (→ P. 406)

- (5) けん引フック

タイヤパンク応急修理キットの内容/各部の名称

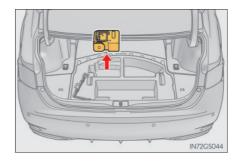


- (1) パンク補修液
- ② 空気圧計
- (3) 電源スイッチ
- (4) 空気逃がしキャップ

- (5) ラベル
- **6** ホース
- (7) 電源プラグ
- (8) 差し込みパーツ

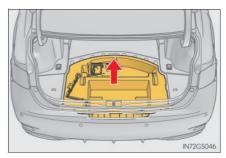
応急修理キットの取り出し方

- **1** ラゲージマットを取りはずす (→ P. 288)
- 2 応急修理キットを取り出す



ジャッキの取り出し方

- **1** ラゲージマットを取りはずす (→ P. 288)
- 2 ラゲージトレイを取りはずす



- 3 ジャッキを取りはずす
 - ① 締まる
 - ② ゆるむ



応急修理する前に

タイヤの損傷程度を確認してください。

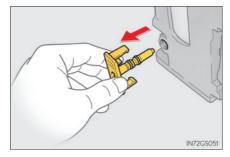
釘やネジなどが刺さっている場合の み、タイヤを応急修理してください。

- タイヤに刺さっている釘やネジな どは抜かないでください。抜いてし まうと穴が大きくなりすぎ、応急修 理ができなくなることがあります。
- パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。



応急修理するとき

1 応急修理キットから差し込みパー ツを引き抜く



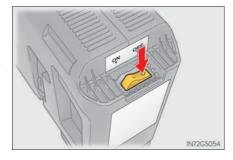
② 応急修理キット底面を上に向けて 置く

シールをはがし、差し込みパーツを"パチッ"と音がするまで差し込みます。

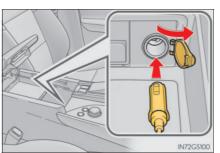


③ 応急修理キットの向きをもとにも どし、スイッチが OFF であること を確認する

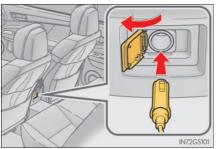
応急修理キットは、スイッチがある面を上にしてご使用ください。



- ▲ 応急修理キットの電源プラグをアクセサリーソケットに挿し込む (→ P. 293)
- ▶ フロント

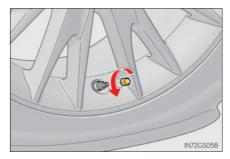


▶リヤ★



★:仕様により異なる装備やオプション装備

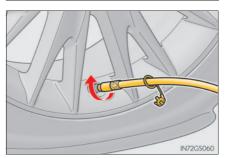
5 パンクしたタイヤのバルブから、バルブキャップを取りはずす



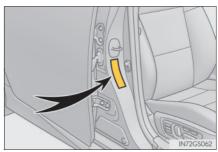
6 ホースから空気逃がしキャップを 取りはずす



ホースをバルブに接続する ホース先端を時計まわりにまわして、 できるだけ奥までねじ込みます。

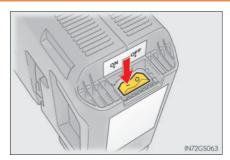


8 タイヤの指定空気圧を確認する 運転席側の空気圧ラベルで確認することができます。(→ P. 446)

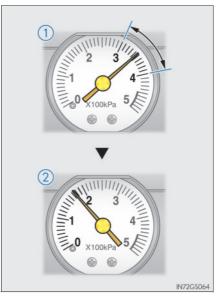


9 ハイブリッドシステムを始動する (→ P. 169)

10 応急修理キットのスイッチをONに し、パンク補修液と空気を充填する

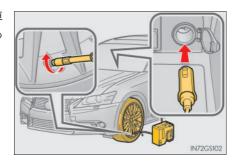


- 11 空気圧が指定空気圧になるまで充 填する
 - 一時的に空気圧計が300~450kPa まで上昇し、徐々に減少します。
 - 2 スイッチを ON にしてから 1 分 程度で実際の空気圧表示になり ます。
 - ・応急修理キットのスイッチを OFFにして空気圧を確認して ください。空気の入れすぎに 注意して、指定空気圧になる まで充填・確認をくり返して ください。
 - ・空気圧計の針が赤いゾーン (450kPa 以上)に達した場合、 タイヤまたは応急修理キット に異常がある可能性がありま す。ただちに修理を中止して、 レクサス販売店にご連絡くだ さい。
 - ・10 分以上充填しても指定空 気圧にならない場合は、応急 修理できません。応急修理 キットのスイッチをOFFにし てレクサス販売店にご連絡く ださい。
 - ・空気を入れすぎたときは、指 定空気圧になるまで空気を抜 いてください。(→ P. 446)



[12] アクセサリーソケットから電源プラグを抜き、タイヤのバルブから応急修 理キットのホースを取りはずす

- **13** タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、すみやかに 5km 程度走行する
- [14] 走行後、平坦で安全な場所に停車 し、再度応急修理キットを接続する



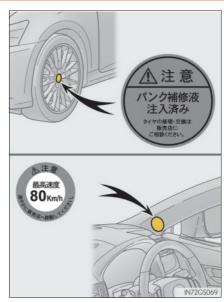
- 15 応急修理キットのスイッチをONにして数秒間経過後、スイッチをOFFにして空気圧を確認する
 - ① 空気圧が 130kPa 未満の場合: 応急修理できません。レクサス 販売店にご連絡ください。
 - ② 空気圧が 130kPa 以上、指定空 気圧未満の場合: 手順 16 へ
 - ③ 空気圧が指定空気圧の場合:手順 **17** へ



16 応急修理キットのスイッチを ON にして指定空気圧まで空気を充填し、再度、約 5km 走行後にあらためて手順 14 から実施する

17 応急修理キットを収納し、付属のラベル 2 枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

急ブレーキ・急ハンドルを避け、 80km/h 以下で最寄りのレクサス販売 店まで慎重に走行してください。



□ 知識

■応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。レクサス販売店にご連絡ください。

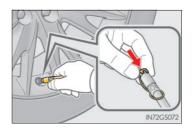
- ●タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- ●タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- ●2本以上のタイヤがパンクしているとき
- ●1本のタイヤに2箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

■応急修理キットについて

- ●パンク補修液には有効期限があります。有効期限は容器に表示されています。有効期限が切れる前に交換してください。交換については、レクサス販売店にご相談ください。
- ●応急修理キットのパンク補修液は、1本のタイヤを一度だけ応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、レクサス販売店にご相談ください。
- ●外気温度が-30°~60°のときに使用できます。
- ●応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、 他の用途には使用しないでください。
- ●パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- ●パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- ●応急修理キット作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。

■空気を入れすぎてしまったとき

- 1 タイヤからホースを取りはずす
- 2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、 キャップの突起部をタイヤのバルブに押し あてて空気を抜く



- 3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- 4 応急修理キットのスイッチを ON にして数秒間経過後、スイッチを OFF にして空気圧計を確認する

指定空気圧より低いときは、再度、応急修理キットのスイッチを ON にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

▲ 警告

■パンク補修液について

- ●誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- ●もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■パンクしたタイヤを応急修理するとき

- ●車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- ●タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしつかりと接続してください。
- ●接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- ●充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。
- ●充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- ●破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにキットのスイッチをOFFにし、修理を中止してください。
- ●応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。10分以上連続で作動させないでください。
- ●応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。
- ●速度制限シールは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などの SRS エアバッグ展開部に貼ると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

■補修液を均等に広げるための運転について

- ●低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- ●車がまつすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次の ことを確認してください。
 - タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
 - ・空気圧を確認してください。130kPa 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

⚠ 注意

■応急修理をするとき

- ●タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。 取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- ●応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- ●砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。
- ●応急修理キットは倒れた状態では正常に作動しません。必ず立ててご使用ください。

■応急修理キットについて

- ●応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- ●応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- ●応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意 ください。
- ●分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

ハイブリッドシステムが始動できないときは

ハイブリッドシステムが始動できない原因は状況によって異なります。次の ことをご確認いただき、適切に対処してください。

正しいハイブリッドシステムの始動方法 (→ P. 169) に従っても始動できない

次の原因が考えられます。

- 電子キーが正常に働いていない可能性があります。(→ P. 431)
- イモビライザーシステムに異常がある可能性があります。(→ P. 66)
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。
- 電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、ハイブリッドシステムを一時的な処置でかけることができます。(→ P. 426)

室内灯・ヘッドランプが暗い/ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。(→ P. 432)
- 補機バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

室内灯・ヘッドランプが点灯しない/ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- 補機バッテリーあがりの可能性があります。(→ P. 432)
 対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもハイブリッドシステムが始動できないときは、レクサス販売店にご連絡ください。

緊急始動機能

通常のハイブリッドシステム始動操作でハイブリッドシステムが始動しないときは、次の手順でハイブリッドシステムが始動する場合があります。 緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

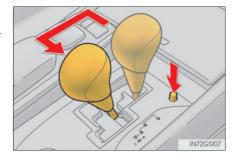
- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- **2** シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 パワースイッチをアクセサリーモードにする
- 4 ブレーキペダルをしっかり踏んでパワースイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でハイブリッドシステムが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにレクサス販売店で点検を受けてください。

シフトレバーがシフトできないときは

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム(シフトレバーの誤操作を防ぐ装置)などの故障が考えられます。ただちにレクサス販売店で点検を受けてください。 ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 パワースイッチをアクセサリーモードにする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 シフトロック解除ボタンを押す ボタンを押しているあいだは、レバー をシフトできます。



パーキングブレーキが解除できないときは

補機バッテリーがあがったときや、パーキングブレーキスイッチを操作してもパーキングブレーキが解除されないときは、次の手順で手動解除することができます。緊急時などでパーキングブレーキを解除する必要があるときのみ行ってください。補機バッテリーが正常のときにスイッチ操作で解除できない場合は、パーキングブレーキシステムの故障が考えられます。ただちにレクサス販売店で点検を受けてください。

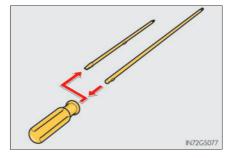
手動解除する前に

- シフトレバーを P にする
- パワースイッチを OFF にする
- パーキングブレーキ表示灯が消灯していることを確認する
- 輪止めをする

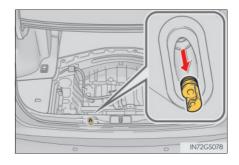
手動解除の方法

1 パーキングブレーキ解除ツールと 車載ドライバーをトランクから取り出す(→ P. 403, 413)

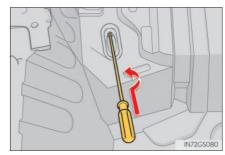
車載ドライバーのハンドルに専用工具 を取り付けます。



- 3 キャップを取りはずす



4 工具を挿し込み、強く押しあてなが ら左へ止まるまでまわす



□ 知識

■手動操作について

パーキングブレーキを手動でかけることはできません。

▲ 警告

■手動解除するときの警告

- ●パーキングブレーキを手動で解除するときは、必ずシフトレバーを P にして輪止めで固定してください。
 - 車両が動き出すおそれがあるため、特に注意してください。
- ●パーキングブレーキを手動で解除するときは、必ずパワースイッチを OFF にして、パーキングブレーキ表示灯が消灯していることを確認してください。 パワースイッチが ON モードのときに手動解除を行うと、システムが作動して挿し 込んだ工具が回転し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

電子キーが正常に働かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり (→ P. 118)、電子キーの電池 が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモ コンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアやトランク を開けたり、ハイブリッドシステムを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠、トランクの解錠とキー連動操作

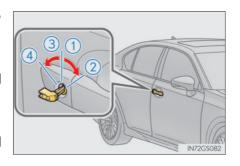
■ドア

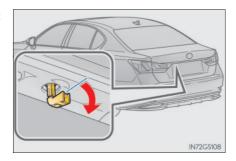
メカニカルキー(→P. 109)を使っ て次の操作ができます。

- (1) 全ドア施錠
- (2) ドアガラスとムーンルーフが閉 まる(まわし続ける)※
- (3) 全ドア解錠
- (4) ドアガラスとムーンルーフが開 く (まわし続ける) ※
 - ※ カスタマイズ機能での設定変更 が必要です。(→ P. 448)



メカニカルキーを時計まわりにま わして開ける



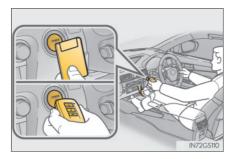


ハイブリッドシステム始動の方法

- 1 シフトレバーが P の状態でブレーキペダルを踏む
- **2** 電子キーのレクサスエンブレム面 で、パワースイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、 ONモードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定が非作動になっているときは、アクセサリーモードへ切りかわります。



ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイにが表示されていることを確認する

4 パワースイッチを押す

処置をしても作動しないときは、レクサス販売店にご連絡ください。

□ 知識

■ハイブリッドシステムの停止方法

通常のハイブリッドシステムの停止方法と同様に、シフトレバーを P にしてパワースイッチを押します。

■電池交換について

ここで説明しているハイブリッドシステムの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 333)

■モードの切りかえ

ハイブリッドシステム始動方法の手順**③**で、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→ P. 170)

■電子キーが正常に働かない場合

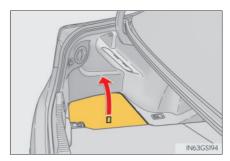
- 車両カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムの設定を確認し、 非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。(→ P. 448)
- 電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。 設定されている場合は解除してください。(→P. 118)

補機バッテリーがあがったときは

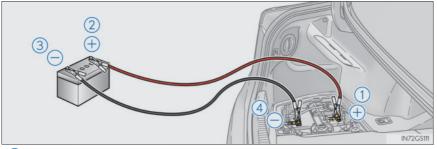
補機バッテリーがあがった場合、次の手順でハイブリッドシステムを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、ハイブリッドシステムを始動させることができます。

1 トランクを開け、カバーをはずす トランクオープナースイッチで開かな い場合は、メカニカルキーで開けます。 (→ P. 430)



2 補機バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ



- (1) 赤色のブースターケーブルを自車の補機バッテリーの+端子につなぐ
- ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
- ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの一端子につなぐ
- 4 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を、自車の補機バッテリーの - 端子につなぐ
- 3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車の補機 バッテリーを充電する
- 4 パワースイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する

- **5** 救援車のエンジン回転を維持したまま、パワースイッチをいったんON モードにしてからハイブリッドシステムを始動する
- 6 READY インジケーターが点灯することを確認する 点灯しない場合はレクサス販売店にご連絡ください。
- **7** ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだとき と逆の順ではずす

ハイブリッドシステムが始動しても、早めにレクサス販売店で点検を受けて ください。

□ 知識

■補機バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■補機バッテリーあがりを防ぐために

- ハイブリッドシステムが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- ●渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■補機バッテリーについて

 $\rightarrow P.317$

■補機バッテリーの充電について

補機バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、補機バッテリーがあがってハイブリッドシステムを始動できなくなるおそれがあります。(補機バッテリーはハイブリッドシステムの作動中に自動で充電されます)

■補機バッテリーあがり時や取りはずし時など

- ●オートアラームが作動したときに車内でキーを閉じ込めないように、補機バッテリーあがりなどで充電・交換する場合は車内にキーがないかを確認してください。
- ●補機バッテリー脱着直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- ●補機バッテリー脱着後、最初の始動操作ではハイブリッドシステムが始動できない ことがありますが異常ではありません。再度始動操作を行ってください。
- ●車両は常に電源の状態を記憶しています。補機バッテリー脱着時、車両は補機バッテリーをはずす前の状態に復帰します。補機バッテリーを脱着する際は、パワースイッチを OFF にしてから行ってください。

補機バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、補機バッテリー接続時は特に注意してください。

▲ 警告

■補機バッテリーの引火または爆発を防ぐために

補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です ので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ●ブースターケーブルは正しい端子以外に接続しない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部 に接触させない
- ●ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- ●補機バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■補機バッテリーの取り扱いについて

補機バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- ●補機バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液(酸)が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- ●必要以上、顔や頭などを補機バッテリーに近付けない
- ●誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で 洗い、すぐに医師の診察を受ける

また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく

- ●誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- ●補機バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- ●お子さまを補機バッテリーに近付けない

■補機バッテリーあがりの処置をしたあと

早めにレクサス販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。 補機バッテリーが劣化している場合、そのまま使い続けると補機バッテリーから異 臭ガスが発生し、乗員に健康障害をおよぼすおそれがあり危険です。

■補機バッテリーの交換について

→ P. 318

オーバーヒートしたときは

次のようなとき、オーバーヒートの可能性があります。

- メーター内の水温計の針がレッドゾーンに入った:エンジンが過熱している可能性があります。
- ●「ハイブリッドシステム過熱」がマルチインフォメーションディスプレイに表示:パワーコントロールユニットが過熱している可能性があります。

対処方法

- メーター内の水温計の針がレッドゾーンに入った
 - 1 車を安全な場所に止め、エアコンを止める
 - 2 エンジンルームから蒸気が出ているか確認する

蒸気が出ている場合:

ハイブリッドシステムを停止する。 蒸気が出なくなったら、注意してボンネットを開け、ハイブリッドシステムを再始動する

蒸気が出ていない場合:

READY インジケーターが点灯した状態のまま、注意してボンネットを開ける

3 ラジエーター冷却用のファンが作動しているか確認する

ファンが作動している場合:

水温計の針が下がってきてからハイブリッドシステムを停止する

ファンが作動していない場合:

すぐにハイブリッドシステムを停止して、レクサス販売店に連絡する

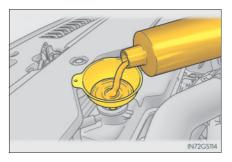
4 ハイブリッドシステムが十分に 冷えてから、冷却水の量や冷却 水もれを点検する

エンジンルームカバーを取りはずすには $(\rightarrow P. 322)$



5 冷却水が不足している場合は、 冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



早めに最寄りのレクサス販売店で点検を受けてください。

- ■「ハイブリッドシステム過熱」がマルチインフォメーションディスプレイ に表示されたとき
 - 1 車を安全な場所に止め、エアコンを止める
 - **2** READY インジケーターが点灯した状態のまま、注意してボンネットを開ける
 - **3** ラジエーター冷却用のファンが作動しているか確認するファンが作動している場合:

「ハイブリッドシステム過熱」が消えてからハイブリッドシステムを停止する

しばらく待っても消えない場合は、ハイブリッドシステムを停止して、 レクサス販売店に連絡する

ファンが作動していない場合:

すぐにハイブリッドシステムを停止して、レクサス販売店に連絡する

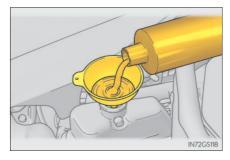
4 ハイブリッドシステムが十分に 冷えてから、冷却水の量や冷却 水もれを点検する

エンジンルームカバーを取りはずす には (→ P. 322)



5 冷却水が不足している場合は、 冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



早めに最寄りのレクサス販売店で点検を受けてください。

🗌 知識

■オーバーヒートとは

オーバーヒートのとき、車に次のような症状が現れます。

- ●メーター内の水温計の針がレッドゾーンに入る
- ●「ハイブリッドシステム過熱」がマルチインフォメーションディスプレイに表示される
- ●ハイブリッドシステム出力が低下する
- ●エンジンルームから蒸気が出る

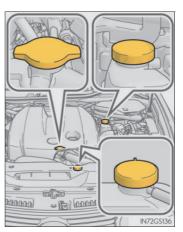
A 警告

■エンジンルームを点検しているとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ●エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- ●ハイブリッドシステムが作動しているときは、手や着衣をファンやベルトから離してください。
- ●ハイブリッド車は、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、ガソリンエンジンが停止していても、冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ベルトやファンなどの回転部分にふれたり、近付いたりすると、手や衣服・工具などが巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ●ハイブリッドシステムおよびラジエーター・冷却水リザーバータンクが熱いうちはラジエーターキャップや冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。 高温の蒸気や冷却水が噴き出すおそれがあります。



⚠ 注意

■冷却水を入れるとき

ハイブリッドシステムが十分に冷えてからゆっくり入れてください。 ハイブリッドシステムが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシ ステムが損傷するおそれがあります。

■冷却系統の故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- ■異物(砂やほこりなど)を冷却水に混入させない
- ●市販の冷却水用添加剤を使用しない

スタックしたときは

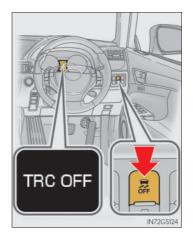
ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

- 1 パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にして、ハイブリッドシステムを停止する
- 2 後輪周辺の土や雪などを取り除く
- 3 後輪の下に木や石などをあてがう
- 4 ハイブリッドシステムを再始動する
- **5** シフトレバーを D または R に入れ、パーキングブレーキを解除して注意 しながらアクセルペダルを踏む

┙ 知識

■脱出しにくいとき





▲ 警告

■脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何もないことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、 特に注意してください。

■シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。 車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

1 注意

■トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために

- ●後輪が空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- ●上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報

| 8-I. | 忙 惊一莧 |
|------|-------------------------------|
| | メンテナンスデータ (指定燃料・オイル量など)442 |
| 8-2. | カスタマイズ機能 |
| | ユーザーカスタマイズ 機能一覧448 |
| 8-3. | 初期設定 |
| | 初期設定が必要な項目456 |

ンスデータ(指定燃料・オイル量など)

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。 お車には、最も適した弊社純正オイル・液類(以下、「指定銘柄」といいま す) のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使 用ください。

燃料

| 指定燃料 | 容量[L](参考値) |
|----------------------|------------|
| 無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク) | 66 |

エンジンオイル

| | 容量 [L] (参考値 ^{※ 1}) | | |
|--|------------------------------|----------------------------|--|
| 指定銘柄 | オイルのみ 交換 | オイルと オイル フィルター 交換 | |
| 弊社純正モーターオイル SN 0W-20 ** 2 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 0W-20 | | | |
| 弊社純正モーターオイル SN 5W-20 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-20 | F 0 | 6.2 | |
| 弊社純正モーターオイル SN 5W-30 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-30 | 5.9 | 6.3 | |
| 弊社純正モーターオイル SN 10W-30 —API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 10W-30 | | | |

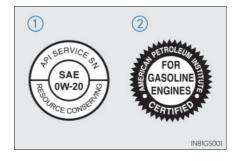
^{※ 1} エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンの 暖機後にハイブリッドシステムを停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで 行ってください。

^{※2} OW-20 は新車時に充填されている、省燃費性に優れるオイルです。

■ 指定エンジンオイル

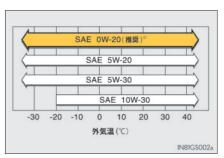
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサックサーティフィケーション) マークが付いています。

- API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されている、省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について(例として OW-20 で説明します):

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ OW-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。 粘度の高い(数値が大きい) オイルは高速または高負荷走行に適しています。

ラジエーター

| 指定銘柄 | 容量[L](参考値) | |
|--------------------------------|-------------------|-----|
| 弊社純正スーパーロングライフクーラント | ガソリンエンジン | 9.4 |
| 凍結保証温度 | 737 72 | 0.1 |
| 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C | パワーコントロール ユニット | 2.9 |

トランスミッション

| 指定銘柄 | 容量 [L] (参考値 [※]) |
|----------------|----------------------------|
| 弊社純正オートフルード WS | 5.69 |

[※] 交換が必要な際はレクサス販売店にご相談ください

ディファレンシャル

| オイルタイプ・推奨粘度 | 容量 [L](参考値) | |
|--|-------------|--|
| 弊社純正ディファレンシャルギヤオイル LT (API GL-5 SAE 75W-85) | 1.35 | |

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄

弊社純正ブレーキフルード 2500H

■ ブレーキペダル^{※ 1}

| 項目 | 基準値 [mm] |
|--------------------------------|----------|
| 遊び | 1 ~ 2 |
| 踏み込んだときの床板とのすき間 ^{※ 2} | 115 |

- ** 1 ブレーキペダルの点検に併せて、ハイブリッドシステムが作動している状態のとき、ブレーキ警告灯(赤色)が点灯していないことも必ず確認してください。 (警告灯が点灯した場合の対処については、P. 371 を参照してください)
- **2 ハイブリッドシステムが作動している状態で、500N (51kgf) の踏力をかけた ときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

| 項目 | パーキングブレーキ 表示灯の状態 |
|---------------------------|---------------------|
| パーキングブレーキスイッチを 1 秒以上押したとき | 点灯 |
| パーキングブレーキスイッチを 1 秒以上引いたとき | 消灯 |

このとき、ブレーキ警告灯(黄色)が点灯していないことを確認してください。 (警告灯が点灯した場合の対処については、P. 373 を参照してください)

ウォッシャータンク

| 容量 [L](参考值) | |
|-------------|--|
| 4.8 | |

タイヤ・ホイール

| タイヤサイズ | | ホイール サイズ | タイヤが冷えている ときの空気圧 kPa(kg/cm ²) | |
|---------|-----------------|-------------|---|-----------|
| | | | 前輪 | 後輪 |
| 標準タイヤ | 225/50R17 94W | 17 × 7 1/2J | 240 (2.4) | |
| | 235/45R18 94Y | 18 × 8J | | |
| | 235/40R19 92Y | 19 × 8J | 240 (2.4) | _ |
| | 265/35R19 94Y | 19 × 9J | _ | 250 (2.5) |
| 応急用タイヤ★ | T155/70D17 110M | 17 × 4T | 420 (4.2) | |
| 心思用夕气的 | T145/70D18 107M | 18 × 4T | | |

電球(バルブ)※

| 電球 | | W (ワット)数 |
|----|------------------------|----------|
| | フロントフォグランプ(バルブタイプ:H11) | 55 |
| | フロント方向指示灯/非常点滅灯 | 21 |
| 車外 | リヤ方向指示灯/非常点滅灯 | 21 |
| | 後退灯 | 16 |
| | ドアミラー照明 | 5 |
| | ドアカーテシランプ | 5 |
| 車内 | バニティランプ | 8 |
| | トランクランプ | 3.8 |

^{**} 表に記載のないランプは LED を採用しています。

車両仕様

| 名称 | 型式 | エンジン | 電動機型式 | 駆動方式 |
|--------|-------|------------------------|-------|----------|
| GS450h | GWL10 | 2GR-FXE (3.5L ガソリン) | 1KM | FR(後輪駆動) |

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてレクサス販売店で作動内容を変更することができます。また、ナビゲーションシステム・マルチインフォメーションディスプレイの操作により、設定を変更することができる機能もあります。

G-Link サービスご契約のお客様は、G-カスタマイズ機能(レクサス用 G-BOOK ユーザーサイトのご利用、またはレクサス販売店へのご依頼)により、遠隔で設定変更ができます。

設定変更のしかた

- ナビゲーションシステムで設定するには
 - 1 ナビゲーションシステム画面に「設定・編集」画面を表示し、「車両」 を選択する

ナビゲーションシステムの操作方法については、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

② 設定を変更したいカテゴリーを 選択する

> ここでは「ドアロック設定」を選択 した場合を例に説明します。

> 「ドアロック設定」に関する設定項目 が一覧で表示されます。



3 一覧表示された中から設定を変更する項目を選択する

ここでは「車速感応オートドアロック」を選択した場合を例に説明します。

機能の作動内容を選択するメニュー が表示されます。



する

しない する

する

する

IN82GS003

ドアロック設定

車速感応オートドアロック

4 機能の作動内容を選択する

作動・非作動を変更できる機能では、 「する」(作動)・「しない」(非作動) を選択します。

音量やセンサーの感度などを変更できる機能では、「+」または「-」を選択してレベルを調整し、「完了」を選択します。

⑤ 画面右下の「完了」を選択する 設定変更中画面が表示されます。 この画面が表示されているあいだは、他の操作を行わないでください。

- マルチインフォメーションディスプレイで設定するには
 - → P. 87
- G- カスタマイズ機能で設定するには (G-Link サービスご契約のお客様のみ)
 - →別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書|

車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しく はレクサス販売店へお問い合わせください。

- (1) ナビゲーションシステムの画面操作で設定変更可能
- ② マルチインフォメーションディスプレイで設定変更可能
- ③ レクサス販売店で設定変更可能
- ④ G-カスタマイズ機能で設定変更可能 (レクサス用 G-BOOK ユーザーサイトによる設定変更)
- (5) G-カスタマイズ機能で設定変更可能 (レクサス販売店への依頼による設定変更)

| 項目 | 機能の内容 | 初期 設定 | 変更後 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------------------------|--------------------------------------|-------|---------------|---|---------|---|---|---|
| オートアラーム | 窓が開いているとき の侵入センサーの感 標準 感度低 度調節 | | _ | | 0 | | _ | |
| (→ P. 67) | メカニカルキーを 使って解錠したとき のアラーム解除 | あり | なし | _ | _ | 0 | _ | _ |
| | 言語 | 日本語 | 英語 | | 0 | _ | | _ |
| | ECO ランプ | 有(自 | 無 | _ | 0 | _ | _ | _ |
| | | 動点灯) | 常時点灯 | | | | | |
| | じニノブエーカ | 从与泪 | 給油後 平均燃費 | | \circ | | | |
| マルチイン | ドライブモニター 外気温 月 | | 航続可能 距離 | | | | | |
| フォメーショ ンディスプレ イ (→ P. 83) | タコメーター切替 | 有(自 | 常時 HV メーター | | | | | |
| 1 (1.00) | タコメーター切替 | 動切替) | 常時タコ メーター | | 0 | _ | | _ |
| | ランプの明るさ | 標準 | 明るい | _ | 0 | _ | | _ |
| | SPORT ランプ | ON | OFF | _ | 0 | _ | _ | _ |
| | EV 走行表示 | ON | OFF | _ | 0 | _ | _ | — |
| | 初期設定 | しない | する | — | 0 | _ | — | — |

| 項目 | 機能の内容 | 初期 設定 | 変更後 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------------------------------|---|-------------------|------------------------------------|---|---|---|---|---|
| | メカニカルキーによ る解錠 | 1 回で 全ドア 解錠 | 1回で運 転席ドア 解錠、回 で全ドア 解錠 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| | 車速感応オートドア ロック | あり | なし | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| ドアロック (→ P. 125, P. 430) | シフトレバーをP以 外にしたときの全ド ア施錠 (シフト操作連動ド アロック) | なし | あり | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| | シフトレバーをPに したときの全ドア解 錠 (シフト操作連動ア ンロック) | あり | なし | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| | 運転席ドアを開けた ときの全ドア解錠 (運転席ドア開連動 アンロック) | なし | あり | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | 作動の合図 | レベル | OFF | | | | | |
| スマートエント リー&スタート システム | (ブザー音量調整) | 5 | レベル 1~7 | 0 | _ | 0 | _ | 0 |
| (→P. 113)、 ワイヤレスドア | 作動の合図 (非常点滅灯) | あり | なし | 0 | _ | 0 | _ | 0 |
| ロック (・D 100) | 解錠後、ドアを開け | 20 14 | 60 秒 | | | | | |
| (→ P. 123) 共通 | なかったときの自動 施錠までの時間 | 30 秒 | 120 秒 | | _ | 0 | | 0 |
| | 半ドア警告ブザー | あり | なし | _ | _ | 0 | _ | 0 |

| 項目 | 機能の内容 | 初期 設定 | 変更後 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------------------------|------------------------------|--------------------|---------------------------------------|---|---|---|---|---|
| スマートエン | スマートエントリー &スタートシステム | あり | なし | 0 | _ | 0 | _ | _ |
| トリー&ス タートシステ | 解錠されるドアの選択 | 全席 解錠 | 運転席の み解錠 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| Д(→P. 113) | 連続ロック操作の有 効回数 | 2 回 | 無制限 | _ | _ | 0 | 0 | 0 |
| | ワイヤレス機能 | あり | なし | | — | 0 | _ | _ |
| ワイヤレスドアロック | 解錠時の操作 | 1 回で 全ドア 解錠 | 1回で運 転席に 解錠、回 で全ド の 解錠 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| (→ P. 123) | | | 1回押し | | | | | |
| | | 1 🖂 🖽 | 2回押し | | | | | |
| | トランク解錠時の操作 | 1回押 し続け る(短) | 1 回押し 続ける (長) | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | 禁止 | | | | | |
| | 降車時の運転席シー | 振淮 | OFF 標準 | | | | | |
| フロント | 卜移動量調節 | (宗午 | 少なめ | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| シート (→ P. 136) | メモリーコール機能 と連動するドアの選 択 | 運転席ドア | 全ドア | | | 0 | 0 | 0 |
| | | ドアの | OFF | | | | | |
| ドアミラー (→ P. 148) | オート電動格納作動 | 施錠・ 解錠と 連動 | パワース イッチと 連動 | | _ | 0 | 0 | 0 |
| パワーウインドウ | ドアキー連動開閉機能 | なし | あり | _ | _ | 0 | 0 | 0 |
| (→ P. 151)、 ムーンルーフ* | ワイヤレスリモコン 連動開閉機能 | なし | あり | _ | _ | 0 | 0 | 0 |
| (→ P. 154) 共通 | ワイヤレスリモコン 連動作動合図 (ブザー) | あり | なし | _ | _ | 0 | _ | _ |

★:仕様により異なる装備やオプション装備

| 項目 | 機能の内容 | 初期 設定 | 変更後 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|--|------------|------------|---|---|---|---|---|
| 方向指示灯 (→ P. 185) | 方向指示灯の点滅中 に、点滅している側 へ方向指示レバーを 一段階操作したとき の作動 | 点滅し たまま | 消灯 | _ | _ | 0 | _ | _ |
| ランプ自動点 灯・消灯シス | ライトセンサーの感 度調整 | 標準 | - 2 ~ 2 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| テム (→ P. 192) | ライトを点灯するま での時間 | 標準 | 長め | _ | _ | 0 | 0 | 0 |
| クリアランス | フロントセンターセ ンサーの検知可能距 離 | 遠い | 近い | 0 | _ | 0 | _ | _ |
| ソナー★ (別 冊「ナ ビ ゲーションシ | リヤセンターセン サーの検知可能距離 | 遠い | 近い | 0 | | 0 | | _ |
| ステム取扱説明書」参照) | ブザー音量 | レベル 3 | レベル 1~5 | 0 | | 0 | | _ |
| | ソナー表示の切りかえ | すべて 表示 | 表示なし | 0 | | 0 | | _ |
| エアコン | AUTO スイッチが ON のとき、連動し て外気導入と内気導 入を自動的に切りか える | する | しない | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| (別 冊 「ナ ビ ゲーションシ ステム取扱説 明書」参照) | AUTO スイッチを ONにしたとき、A/C (エアコン)スイッチ が連動して ONにな る | する | しない | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| | 排ガスセンサー感度 調節 | 標準 | - 3 ~ 3 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |

| 項目 | 機能の内容 | 初期 設定 | 変更後 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------------|---------------------|-------|------------|---|---|---|---|---|
| | 室内照明の点灯制御 | あり | なし | _ | _ | 0 | _ | _ |
| | 室内灯の消灯までの | 15 秒 | 7.5 秒 | 0 | | 0 | | 0 |
| | 時間 | 30 秒 | | | | | | |
| | パワースイッチ OFF 後の作動 | あり | なし | _ | | 0 | 0 | 0 |
| | 解錠時の照明の点灯 | あり | なし | _ | _ | 0 | 0 | 0 |
| | 接近時の照明の点灯 | あり | なし | _ | _ | 0 | _ | 0 |
| イルミ | 足元照明の点灯 | あり | なし | | _ | 0 | 0 | 0 |
| ネーション (→ P. 278) | ドアミラー照明の点 灯制御 | あり | なし | | | 0 | | |
| | | | OFF | | | | | |
| | ドアミラー照明の消 灯までの時間 | 15 秒 | 7.5 秒 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 |
| | 75 60 (15) [5] | | 30 秒 | | | | | |
| | 接近時のドアミラー 照明の点灯 | あり | なし | | | 0 | _ | 0 |
| | 解錠時のドアミラー 照明の点灯 | あり | なし | _ | _ | 0 | 0 | 0 |
| | リバース連動機能 | あり | なし | _ | _ | 0 | _ | _ |
| リヤ | | | 約0秒 | | | | | |
| サンシェード★ | リバース連動機能が | 約 0.7 | 約 0.9 秒 | _ | _ | | _ | _ |
| (→ P. 302) | 作動するまでの時間 | 秒 | | | | | | |
| | | | 約 1.2 秒 | | | | | |

□ 知識

■車両カスタマイズについて

- 「車速感応オートドアロック」と「シフトレバーを P 以外にしたときの全ドア施錠 (シフト操作連動ドアロック)」を両方とも「あり」にした場合、次のように作動します。
 - · シフトレバーを P 以外に入れると全ドアが施錠されます。
 - ・全ドアが施錠された状態で発進した場合、車速感応式自動ドアロックは作動しません。
 - ・発進前にいずれかのドアロックを解錠してから発進した場合は、車速感応オートドアロックが作動します。
- ●「スマートエントリー&スタートシステム」の設定が「なし」の場合、「解錠されるドアの選択」の設定はできません。
- ●解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠が作動したときの合図は、「作動の合図 (非常点滅灯)」・「作動の合図音量(ブザー音量調整)」の設定に依存します。

■ナビゲーション画面でカスタマイズ設定を行うとき

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P にしてください。 また、補機バッテリーあがりを防ぐため、ハイブリッドシステムが作動している状態 で操作を行ってください。

▲ 警告

■ナビゲーション画面でカスタマイズ設定を行うとき

ハイブリッドシステムが作動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素(CO)により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

初期設定が必要な項目

次の項目は補機バッテリーを再接続したり、メンテナンスを行ったあとなど に、システムを正しく作動させるために初期設定が必要です。

| 項目 | 初期設定が必要なとき | 参照先 |
|---------------|---|--------|
| タイヤ空気圧警報 システム | 走行速度・重量変化などで タイヤ空気圧を変更した 場合、またはタイヤロー テーションを行ったあと | P. 327 |

さくいん

| こんなときは | |
|--------------|-----|
| (症状別さくいん) | 458 |
| 車から音が鳴ったときは | |
| (音さくいん) | 462 |
| アルファベット順さくいん | 464 |
| 五十音順さくいん | 466 |

次の装備は、別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を お読みください。

・GPS ボイスナビゲーション・バックガイドモニター

・オーディオ&ビジュアル ・クリアランスソナー

・エアコン・デフォッガー

・ミラーヒーター

・音声操作システム · G-Link

・ETC システム

・ハンズフリー

こんなときは(症状別さくいん)

お困りの際は、レクサス販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠/解錠/ドアの開閉ができない



キーをなくした

- メカニカルキーをなくした場合、レクサス販売店でレクサス純正の新しいメカニカルキーを作ることができます。(→ P. 110)
- 電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにレクサス販売店にご相談ください。(→ P. 111)



施錠・解錠できない

- ◆ キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか? (→P. 333)
- パワースイッチが ON モードになっていませんか? 施錠するときは、パワースイッチを OFF にしてください。 (→ P. 170)
- ■電子キーを車内に置き忘れていませんか?施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- ■電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。(→ P. 118)



リヤドアが開かない

● チャイルドプロテクターがかかっていませんか?
 チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。(→ P. 126)



誤ってトランク内にキーを閉じ込めた

申 キー閉じ込み防止機能が働き、通常通りトランクを開けることができます。キーを取り出してください。(→P. 131)

故障かな?と思ったら



ハイブリッドシステムが始動できない

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらパワースイッチを押していますか? (→P. 169)
- シフトレバーは P になっていますか? (→ P. 172)
- キーが車内の検知される場所にありますか? (→ P. 115)
- ステアリングロックされていませんか? (→ P. 172)
- ◆ キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか?このときは、一時的な方法でハイブリッドシステムを始動することができます。(→ P. 431)
- 補機バッテリーがあがっていませんか? (→ P. 432)



ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーが P から動かない

● パワースイッチは ON モードになっていますか?パワースイッチが ON モードでブレーキを踏んでも解除できないとき (→ P. 427)



ハイブリッドシステムを停止したあとにハンドルがまわせな くなった

● 盗難防止のため、自動的にロックされます。(→ P. 172)



パワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

● ウインドウロックスイッチが押されていませんか?ウインドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウインドウは操作できなくなります。(→P. 151)



パワースイッチが自動的に OFF になった

一定時間アクセサリーモードまたはONモード(ハイブリッドシステムが作動していない状態) にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。(→ P. 171)



警告音・アラーム・ホーンが鳴りだした

● 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは(音さくいん)」(→P. 462)をご確認ください。



警告灯や警告メッセージが表示されたとき

● 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 371、377 をご確認ください。

トラブルが発生した



タイヤがパンクした

- 応急用タイヤ装着車車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。(→ P. 402)
- タイヤパンク応急修理キット装着車 車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクし たタイヤを応急修理してください。(→ P. 412)



立ち往生した

● ぬかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。(→ P. 439)

車から音が鳴ったときは(音さくいん)

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴り ます。

車に乗るとき/降りるとき

| 状況 | 原因 | 詳細 |
|---|---|------------------|
| 解錠したとき | 盗難防止装置(オートアラーム)が作動した ** | P. 67 |
| | 電子キーを車内に置き忘れている | P. 398 |
| | シフトポジションが P 以外になっている | P. 398 |
| ドアを開閉したとき | 窓・ムーンルーフ [★] が開いている(ハイブリッドシステム停止中のみ) | P. 152 P. 156 |
| | 盗難防止装置(オートアラーム)が作動した ** | P. 67 |
| トランクを閉めたとき | 電子キーをトランク内に置き忘れている | P. 131 |
| ハイブリッドシステムを 停止したとき | 電子キーの電池残量が少なくなっている | P. 333 |
| 16 Ab. 1 ~ 1 1 4 1 4 | いずれかのドアが確実に閉まっていない | P. 116 |
| 施錠しようとしたとき (施錠できないとき) | 電子キーを車内に置き忘れている | P. 396 |
| (),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | シフトポジションが P 以外になっている | P. 390 |

^{**} スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレスリモコンでドア・トランク を解錠する、またはパワースイッチを ON モードにするか、ハイブリッドシステ ムを始動すると、警報を解除することができます。

★:仕様により異なる装備やオプション装備

走行しているとき

| 状況 | 原因 | 詳細 |
|-----------------------------------|---|--------|
| | いずれかのドア・トランク・ボンネットが確 実に閉まっていない | P. 384 |
| 走り出したとき | パーキングブレーキが解除されていない | P. 385 |
| | 運転席・助手席のシートベルトを着用していない** | P. 374 |
| シフトダウンしたとき | シフトダウン制限をこえて操作した | P. 183 |
| ブレーキペダルを踏んだ とき (きしみやひっかき 音) | ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある | P. 164 |
| 先行車に接近したとき | レーダークルーズコントロール [★] を使用して いる | P. 224 |
| 前方の障害物と衝突しそうになったとき | PCS (プリクラッシュセーフティシステム) ★ が作動した | P. 251 |
| 車線からはずれそうに なったとき | LKA (レーンキーピングアシスト) ★を使用 している | P. 232 |

[※] 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

アルファベット順さくいん

| A/C | |
|------------------------|-----------------|
| (エアコン) ※ | |
| ABS | |
| (アンチロックブレーキシステム) | 243, 372, 381 |
| AFS | |
| (アダプティブフロントライティングシステム) | 193, 373, 380 |
| AHB | |
| (オートマチックハイビーム) | 195, 380, 393 |
| AVS | |
| (アダプティブバリアブルサスペンションシステ | ·᠘) 240 |
| DISP | |
| (ディスプレイ) | 84 |
| DRS | |
| (ダイナミックリヤステアリング) | 244, 382 |
| EDR | |
| (イベントデータレコーダー) | 8 |
| EPS | |
| (エレクトリックパワーステアリング) | 244 |
| EV | |
| (エレクトリックビークル) | |
| FR | |
| (フロントエンジンリヤドライブ) | 447 |
| ILSAC CERTIFICATION | |
| (イルサックサーティフィケーション) | 443 |
| ISOFIX | |
| (アイソフィックス/イソフィックス) | |
| LDH | |
| (レクサスダイナミックハンドリングシステム) | 244 |
| LKA | |
| (レーンキーピングアシスト) | 231 380 390 390 |

| PCS |
|---------------------------------------|
| (プリクラッシュセーフティシステム) 251, 372, 379, 394 |
| SRS |
| (サプリメンタルレストレイントシステム) |
| TRC |
| (トラクションコントロール)243 |
| VDIM |
| (ビークルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント) 244 |
| VGRS |
| (バリアブルギヤレシオステアリング) 243, 382 |
| VSC |
| (ビークルスタビリティコントロール)243 |

^{※:}別冊「ナビゲーションシステム取扱説明書」を参照してください。

五十音順さくいん

| あ |
|---------------------|
| アームレスト |
| (リヤアームレスト)301 |
| アウターミラー (ドアミラー) 148 |
| 操作148 |
| リバース連動機能149 |
| アクセサリーコンセント 294 |
| アクセサリーソケット 293 |
| アクセサリーモード170 |
| アシストグリップ306 |
| 足元照明278 |
| アダプティブフロントライティング |
| システム (AFS) 193 |
| アラーム67 |
| オートアラーム 67 |
| 音さくいん 462 |
| 警告ブザー 371, 377 |
| アンチロックブレーキシステム |
| (ABS) 243 |
| アンテナ(スマートエントリー& |
| スタートシステム) 115 |
| |
| l |
| イージークローザー |
| (トランク) 131 |
| EV ドライブモード 176 |
| イグニッションスイッチ |
| (パワースイッチ)169 |
| 位置交換 |
| (タイヤローテーション) 325 |

| イベントデータレコーダー(EDR) | 8 |
|-------------------|-----|
| イモビライザーシステム | 66 |
| イルミネーテッドエントリー | |
| システム 2 | 280 |
| インジケーター | |
| ハイブリッドシステム | |
| インジケーター 81, | 95 |
| 表示灯 | 76 |
| READY 1 | 69 |
| インテリアランプ2 | 79 |
| インナーミラー 1 | 46 |
| | |
| う | |
| ウインカー(方向指示灯)1 | 85 |
| 電球 (バルブ) の交換3 | 347 |
| 方向指示レバー1 | 85 |
| ワット数4 | 47 |
| ウインドウ1 | 51 |
| ウォッシャー2 | 203 |
| パワーウインドウ1 | 51 |
| リヤウインドウデフォッガー※ | |
| ウインドウロックスイッチ 1 | 51 |
| ウォーニングランプ (警告灯) 3 | 871 |
| ウォッシャー2 | 203 |
| 液の補給 3 | 324 |
| スイッチ2 | 203 |
| タンク容量4 | 45 |
| 冬の前の準備・点検2 | 71 |
| 動けなくなったときは | |
| (スタック)4 | 139 |
| 雨滴感知式ワイパー 2 | 203 |

| 運転 | エンジンオイル |
|----------------------------|-----------------------------|
| 正しい運転姿勢 | メンテナンスデータ 442 エンジンスイッチ |
| ハイブリッド車運転の | (パワースイッチ)169 |
| アドバイス 269 運転席シートポジション | エンジンフード (ボンネット) 317 開け方 |
| メモリー 139 | 警告メッセージ |
| え | エンジンルーム322 エンジンルームカバー322 |
| エアコン・デフォッガー [※] | エンジンルームから |
| エアバッグ33 SRS エアバッグ警告灯372 | 蒸気が出ている 435 |
| 作動条件 | お |
| 配置33 | オイル(エンジンオイル)442 |
| ECO ランプ 78 | 応急用タイヤ402 |
| エネルギーモニター 100 | 空気圧 446 |
| エレクトリック | 交換方法 402 |
| パワーステアリング (EPS) 244 | オーディオ** |
| 機能244 | オートアウェイ&リターン機構 141 |
| パワーステアリング警告灯 372 | オートアラーム 67 |
| エンジン | オートドアロック・ |
| イモビライザーシステム | アンロック機能127 |
| エンジン回転計 | オートマチックハイビーム 195 |
| (タコメーター) 78 | オートレベリングシステム |
| エンジン警告灯 372 | (ヘッドランプ) 194 |
| エンジンスイッチ169 | オーバーヒート435 |
| エンジンルームカバー 322 | オープナー |
| オーバーヒート 435 | トランク 129 |
| ハイブリッドシステムの | ボンネット 317 |
| 始動方法169 | |
| パワースイッチ | |
| (イグニッションスイッチ/ | |
| エンジンスイッチ) 169 | |
| ボンネット | |

| お子さまを乗せるとき | カメラ |
|---|---|
| , | オートマチックハイビーム 200 |
| お子さまの安全のために 41 | 近赤外線カメラ |
| 子供専用シート 42 | (ナイトビュー) 268 |
| シートベルトの着用29,30 | ドライバーモニター用カメラ |
| チャイルドシートの取り付け 49 | (PCS) 253 |
| チャイルドプロテクター 126 | 白線認識用カメラ(LKA) 239 |
| オドメーター78 | ガラスの曇り取り |
| 機能78 | (リヤウインドウデフォッガー) ** |
| 表示の切りかえ・ | ガレージジャッキ 320 |
| リセットボタン 80 | 冠水路走行167 |
| | 寒冷時の運転271 |
| か | |
| カーテシランプ | き |
| 装着位置 278 | ‡— 108 |
| ワット数 447 | カードキー108 |
| カーテンシールドエアバッグ 33 | キーナンバープレート108 |
| カードキー108 | キーの構成 108 |
| カーペット314 | キーレスエントリー 113, 123 |
| 洗浄315 | キーをなくした 110, 111 |
| フロアマットの取り付け方 24 | 正常に働かない430 |
| 外気温度表示 | 施錠・解錠ができない |
| 回生ブレーキ57 | 電子丰一108 |
| 外装の電球 (バルブ) | 電池が切れた |
| 交換要領 | ハイブリッドシステムが |
| ワット数 447 | 始動できない |
| ガス欠になったとき | メカニカルキー |
| , | , |
| カスタマイズ機能 | ワイヤレスリモコン123 |
| 型式 | キーレスエントリー 113 |
| カップホルダー284 | スマートエントリー& |
| | スタートシステム 113 |
| | ワイヤレスドアロック123 |
| | 救急箱等固定用ネット 287 |

| 給油 210 |
|--------------------|
| 給油口が開けられない212 |
| 給油のしかた 210 |
| メンテナンスデータ442 |
| 給油後平均燃費84 |
| 緊急時シートベルト固定機構 30 |
| 緊急始動機能 |
| (ハイブリッドシステム) 426 |
| 緊急時の対処 |
| オーバーヒートした435 |
| キーの電池が切れた 333, 430 |
| 警告灯がついた 371 |
| 警告メッセージが |
| 表示された377 |
| けん引367 |
| 故障したときは 362 |
| シフトレバーが |
| シフトできない 427 |
| 車両を緊急停止する 366 |
| スタックした 439 |
| 電子キーが正常に働かない 430 |
| パーキングブレーキが |
| 解除できない428 |
| ハイブリッドシステムが |
| 始動できない425 |
| 発炎筒 364 |
| パンクした 402, 412 |
| 補機バッテリーがあがった 432 |
| 緊急停止システム61 |

| 空気圧 (タイヤ)446 |
|------------------------|
| タイヤ空気圧警告灯374 |
| タイヤ空気圧警報システム 326 |
| メンテナンスデータ446 |
| 区間距離計(トリップメーター) 78 |
| 機能78 |
| 切りかえ・リセットボタン 80 |
| 駆動用電池60 |
| 警告メッセージ 387 |
| 充電について 58 |
| 搭載位置 60 |
| 冷却用吸入口61 |
| 曇り取り [※] |
| ミラーヒーター※ |
| リヤウインドウデフォッガー** |
| クラクション (ホーン)191 |
| クリアランスソナー [※] |
| 警告メッセージ 379, 389 |
| 操作 [※] |
| クリアランスランプ(車幅灯) 192 |
| スイッチ 192 |
| 電球 (バルブ) の交換 359 |
| クリップ |
| エンジンルームカバー |
| フロアマット24 |
| グリルシャッターシステム |
| 警告メッセージ 382 |
| |

| クルーズコントロール 215 クルーズコントロール 215 警告メッセージ 379, 389 レーダークルーズコントロール (全車速追従機能付き) 219 グローブボックス 282 グローブボックスランプ 282 |
|--|
| け |
| 警音器 (ホーン) |
| メーター 78 警告灯 75 AFS OFF 表示灯 373 ABS & ブレーキアシスト 372 SRS エアバッグ 372 エンジン 372 シートベルト非着用 374 充電 371 スリップ表示灯 373 タイヤ空気圧 374 燃料残量 374 パーキングブレーキ表示灯 373 パワーステアリング 372 半ドア 374 PCS 372 ブリテンショナー 372 ブレーキ 371 371 373 |
| ブレーキホールド作動表示灯 373 マスターウォーニング 374 |

警告ブザー シートベルト非着用......374 シフトダウン制限......183 接近警報(レーダークルーズ コントロール)......224 手放し運転警告 (LKA)............ 235 パーキングブレーキ 半ドア......116, 124 半ドア走行時 384 ブレーキ 377 窓開......152 ムーンルーフ開......156 リバース 183 警告メッセージ......377 化粧ミラー (バニティミラー) 290 けん引......367 けん引のしかた......367 フック 368 交換 タイヤ 402 電球 (バルブ)......347 航続可能距離......85 後退灯 (バックアップランプ) 電球 (バルブ) の交換............. 347

ワット数447

| 高電圧部位 | |
|---|--|
| (自動点灯・消灯装置)192 | |
| さ | |
| サービスプラグ | |
| (PCS) 252 サンシェード 155 リヤ 302 リヤドア 303 サンバイザー 290 | |

| U |
|--------------------|
| シート136 |
| 子供専用シート42 |
| 正しい運転姿勢26 |
| 調整136 |
| 手入れ314 |
| ドライビングポジション |
| メモリー139 |
| パワーイージーアクセス |
| システム141 |
| ヘッドレスト 143 |
| メモリーコール機能140 |
| シートヒーター298 |
| シートベルト28 |
| お子さまの着用29,30 |
| 緊急時シートベルト固定機構 30 |
| シートベルト非着用警告灯 374 |
| 高さ調整 28 |
| 正しく着用するには28 |
| 着け方・はずし方28 |
| 手入れ315 |
| 妊娠中の方の着用31 |
| シートベルトコンフォートガイド 29 |
| シートベルト非着用警告灯 374 |
| シートベルトプリテンショナー 29 |
| 機能29 |
| プリテンショナー警告灯 372 |
| シートベンチレーター 299 |
| シートポジションメモリー 139 |
| 事故が発生したとき |
| (ハイブリッドシステムの注意) 64 |
| 室内灯(インテリアランプ) 278 |

| 始動のしかた169 |
|---------------------|
| シフト照明278 |
| シフトポジション180 |
| シフトレバー179 |
| シフトレンジの切りかえ 181 |
| シフトロックシステム |
| (解除ボタン)427 |
| 操作179 |
| リバース警告ブザー183 |
| シフトレバーが |
| シフトできないときは |
| 締め付けトルク (ホイール) |
| |
| ジャッキ |
| ガレージジャッキ320 |
| 車載ジャッキ 403, 413 |
| ジャッキハンドル 403, 413 |
| 車幅灯 192 |
| 電球 (バルブ) の交換 359 |
| ランプスイッチ192 |
| 車両型式 447 |
| 車両仕様 (スペック)442 |
| 車両接近通報装置57 |
| 車両データの記録7 |
| 車両を緊急停止するには |
| ジュニアシート |
| 瞬間燃費84 |
| 仕様(車両仕様) |
| 衝撃感知ドアロック |
| 解除システム127 |
| 初期化 |
| 137.13 [2 |
| (タイヤ空気圧警報システム) 327 |
| 初期設定 456 |
| 侵入センサー (オートアラーム) 70 |

| 9 |
|--------------------|
| 水温計78 |
| スイッチ |
| EV ドライブモード 176 |
| イグニッション169 |
| ウインドウロック151 |
| ウォッシャー 203 |
| AFS OFF193 |
| LKA 233 |
| オーディオ※ |
| オートマチックハイビーム 195 |
| クリアランスソナー※ |
| クルーズコントロール 215,219 |
| シート調整 136 |
| シートヒーター298 |
| シートベンチレーター299 |
| シートポジションメモリー 139 |
| 車間距離切りかえ(レーダー |
| クルーズコントロール) 221 |
| 車両接近通報一時停止57 |
| 助手席側面 137 |
| 侵入センサー OFF 70 |
| ステアリングヒーター296 |
| スノーモード 180 |
| タイヤ空気圧警報リセット 327 |
| DISP 84 |
| 電話※ |
| ドアミラー 148 |
| ドアロック 125 |
| トーク** |
| ドライビングポジション |
| メモリー139 |

| ドライブモードセレクト | 240 |
|----------------|-----|
| トランクオープナー | 129 |
| トランクオープナーメイン | 130 |
| トランククローズ | 130 |
| ナイトビュー | 259 |
| パーキングブレーキ | 186 |
| パドルシフト | 181 |
| パワーウインドウ | 151 |
| パワースイッチ | 169 |
| ハンドル位置調整 | 145 |
| PCS OFF | 253 |
| 非常点滅灯 | |
| (ハザードランプ) | 363 |
| VSC OFF | 245 |
| フォグランプ | 201 |
| ブレーキホールド | 189 |
| ヘッドアップディスプレイ | 91 |
| ヘッドランプクリーナー | 209 |
| 方向指示レバー | 185 |
| ホーン (警音器) | 191 |
| ムーンルーフ | 154 |
| ランプ | 192 |
| リセット(タイヤ空気圧警報 | |
| システム) | 327 |
| リヤウインドウデフォッガー※ | |
| リヤサンシェード | 302 |
| レーダークルーズコントロール | |
| (全車速追従機能付き) | 219 |
| ワイパー | 203 |

| スタック | . 439 |
|----------------|-------|
| ステアリングヒーター | . 296 |
| ステアリングホイール | |
| (ハンドル) | . 145 |
| 位置調整 | . 145 |
| オートアウェイ& | |
| オートリターン機構 | . 141 |
| ステアリングヒーター | . 296 |
| ドライビングポジション | |
| メモリー | . 139 |
| ステアリングロック | . 172 |
| 解除できないとき | . 172 |
| 警告メッセージ | . 400 |
| ストップランプ (制動灯) | |
| 緊急ブレーキシグナル | . 244 |
| 電球 (バルブ) の交換 | . 359 |
| スノータイヤ (冬用タイヤ) | . 271 |
| スピードメーター | 78 |
| スペアタイヤ(応急用タイヤ) | . 402 |
| 空気圧 | . 446 |
| 交換方法 | . 402 |
| スペック(車両仕様) | . 442 |
| SPORT ランプ | 82 |

| スマートエントリー& | |
|--|--|
| スタートシステム | 113 |
| アンテナの位置 | 115 |
| カスタマイズ設定 | 448 |
| 警告ブザー | 116 |
| 警告メッセージ | 382 |
| 作動範囲 | 115 |
| 正常に働かないとき | 430 |
| 節電機能 | 117 |
| 電波がおよぼす影響につい | て 122 |
| ドアの解錠・施錠 | 114 |
| トランクの解錠 | 114 |
| ハイブリッドシステムの | |
| 始動 | 169 |
| スモールランプ(車幅灯) | 192 |
| | |
| 電球(バルブ)の交換 | 359 |
| 電球(バルブ)の交換 | |
| ランプスイッチ | |
| | |
| ランプスイッチ | 192 |
| ランプスイッチ せ | 310, 314 |
| ランプスイッチ せ 清掃 | 310, 314 311 |
| サ 清掃アルミホイール | 310, 314 311 |
| サ せ 清掃 アルミホイール 外装 | 310, 314 311 310 315 |
| サ 清掃 アルミホイール 外装 シートベルト | 310, 314 311 310 315 |
| せ 清掃 アルミホイール 外装 シートベルト ドライバーモニター用カメ | 310, 314 311 310 315 35 258 314 |
| 世 清掃 | 310, 314 311 310 315 35 258 314 |
| せ 清掃 | 310, 314 311 315 315 258 314 230 |

| 積算距離計 (オドメーター) |
|----------------------|
| 機能 |
| 表示の切りかえ・ |
| リセットボタン80 |
| セキュリティインジケーター 66, 67 |
| 接近警報(レーダークルーズ |
| コントロール) |
| センサー |
| インナーミラー147 |
| 雨滴感知センサー207 |
| |
| オートマチックハイビーム 200 |
| 湿度センサー※ |
| 侵入センサー70 |
| ライトセンサー194 |
| レーダーセンサー 227, 253 |
| 洗車 310 |
| 前照灯 (ヘッドランプ)192 |
| 電球 (バルブ) の交換 359 |
| ライトセンサー194 |
| ランプ消し忘れ防止機能 194 |
| |
| ランプスイッチ192 |
| 7 |
| 7 |
| 走行モード |
| (ドライブモード)180, 240 |

(タイヤ空気圧警報システム) 326 速度計 (スピードメーター)............ 78

送信機

| た | |
|-------------------|---|
| ターンシグナルランプ | |
| (方向指示灯)185 | 5 |
| 電球 (バルブ) の交換347 | 7 |
| 方向指示レバー 185 | 5 |
| ワット数447 | 7 |
| タイヤ 325 | 5 |
| 応急用タイヤ 402 | 2 |
| 空気圧446 | 6 |
| 交換402 | 2 |
| 締め付けトルク 409 | 9 |
| 低偏平タイヤ 329 | 9 |
| 点検325 | 5 |
| パンク応急修理キット412 | 2 |
| パンクしたときは 402, 412 | 2 |
| ホイールサイズ 446 | 6 |
| ローテーション(位置交換) 325 | 5 |
| タイヤが空まわりする | |
| (スタックした)439 | 9 |
| タイヤ空気圧警報システム 326 | 6 |
| ID コードの登録・選択328 | 3 |
| アンテナの位置 331 | |
| 機能について 326 | 6 |
| 空気圧バルブ/ | |
| 送信機について 326 | 6 |
| 空気圧表示画面86 | 6 |
| 警告画面 393 | 3 |
| 初期化327 | 7 |
| タイヤ空気圧警告灯 374 | 1 |
| 電波がおよぼす影響について 331 | |
| タイヤチェーン271 | I |
| | |

| チェーン (タイヤチェーン) | ち |
|---|-----------------------|
| ISOFIX バーでの取り付け | チェーン (タイヤチェーン) 271 |
| シートベルトでの固定 | チャイルドシート42 |
| 選択方法 | ISOFIX バーでの取り付け51 |
| チャイルドプロテクター 126 駐車ブレーキ (パーキングブレーキ) 186 解除できないとき 428 警告メッセージ 381,385,386 操作 186 パーキングブレーキ表示灯 373 未解除走行時警告ブザー 385 メンテナンスデータ 445 つ ツール (工具) ディファレンシャル 444 低偏平タイヤ 329 | シートベルトでの固定50 |
| 駐車ブレーキ (パーキングブレーキ) | 選択方法 42 |
| (パーキングブレーキ) | チャイルドプロテクター 126 |
| 解除できないとき | 駐車ブレーキ |
| 警告メッセージ 381, 385, 386 操作 186 パーキングブレーキ表示灯 373 未解除走行時警告ブザー 385 メンテナンスデータ 445 つ ツール(工具) 403, 413 て ディファレンシャル 444 低偏平タイヤ 329 | (パーキングブレーキ) 186 |
| 操作 | 解除できないとき 428 |
| パーキングブレーキ表示灯 373 未解除走行時警告ブザー 385 メンテナンスデータ 445 つ ツール (工具) 403, 413 て ディファレンシャル 444 低偏平タイヤ 329 | 警告メッセージ 381, 385, 386 |
| 未解除走行時警告ブザー385 メンテナンスデータ445 つ ツール (工具)403, 413 て ディファレンシャル444 低偏平タイヤ329 | 操作186 |
| プツール (工具) | パーキングブレーキ表示灯 373 |
| つ ツール(工具)403, 413 て ディファレンシャル444 低偏平タイヤ329 | 未解除走行時警告ブザー 385 |
| て ディファレンシャル 444 低偏平タイヤ 329 | メンテナンスデータ445 |
| て ディファレンシャル 444 低偏平タイヤ 329 | |
| て ディファレンシャル 444 低偏平タイヤ 329 | つ |
| 低偏平タイヤ | ツール(工具)403, 413 |
| 低偏平タイヤ | |
| 低偏平タイヤ | 7 |
| | ディファレンシャル 444 |
| 手入れ310, 314 | 低偏平タイヤ329 |
| | 手入れ310,314 |
| | 手入れ310, 314 |

| ディファレンシャル 4- | 44 |
|-----------------|-----|
| 低偏平タイヤ3 | 29 |
| 手入れ310,3 | 14 |
| アルミホイール3 | 1 1 |
| 外装 3 | 10 |
| シートベルト3 | 15 |
| ドライバーモニター用カメラ 2 | 58 |
| 内装 3 | 14 |
| レーダーセンサー2 | 30 |
| テールランプ(尾灯)1 | 92 |
| 電球 (バルブ) の交換 3: | 59 |
| ランプスイッチ1! | 92 |
| デフォッガー(リヤウインドウ | |
| デフォッガー)※ | |

| 電気モーター | 60 |
|---------------------|-----|
| 電球(バルブ) | |
| 交換要領(外装バルブ) | 347 |
| ワット数 | 447 |
| 点検基準値 | |
| (メンテナンスデータ) | 442 |
| 電子キー | 108 |
| 作動範囲 | 115 |
| 正常に働かないとき | 430 |
| 節電機能 | 118 |
| 電池が切れた | 430 |
| 電池交換 | 333 |
| 電池交換(キー) | 333 |
| 電話スイッチ [※] | |
| | |
| ٤ | |
| ドア | 125 |
| オートドアロック・ | |
| アンロック機能 | 127 |
| 警告メッセージ | 384 |
| 衝撃感知ドアロック解除 | |
| システム | 127 |
| スマートエントリー& | |
| スタートシステム | 113 |
| チャイルドプロテクター | 126 |
| ドアガラス | 151 |
| ドアロックスイッチ | 125 |
| 半ドア警告灯 | 374 |
| 半ドア走行時警告ブザー | 384 |
| ロックレバー | 125 |
| ワイヤレスリモコン | 123 |
| ドアカーテシランプ | 278 |
| 位置 | 278 |
| ワット数 | 447 |
| ドアハンドル照明 | |

| ドアミラー | . 148 |
|---|--|
| 操作 | . 148 |
| リバース連動機能 | . 149 |
| ドアミラー照明 | . 278 |
| 電球 (バルブ) の交換 | . 347 |
| ワット数 | . 447 |
| 盗難防止装置 | |
| イモビライザーシステム | 66 |
| オートアラーム | 67 |
| トークスイッチ [※] | |
| 時計 | . 291 |
| トップテザーアンカー | 49 |
| ドライバーモニター | . 252 |
| ドライビングポジション | |
| メモリー | . 139 |
| トラクションコントロール | |
| (TRC) | . 243 |
| トランク | . 129 |
| イージークローザー | . 131 |
| オープナー | |
| 71 77 | . 129 |
| キー閉じ込み防止機能 | |
| | . 131 |
| キー閉じ込み防止機能 | . 131 . 130 |
| キー閉じ込み防止機能 クローズスイッチ | . 131 . 130 |
| キー閉じ込み防止機能 クローズスイッチ 警告メッセージ | . 131 . 130 . 385 |
| キー閉じ込み防止機能クローズスイッチ 参告メッセージ 電子キーが正常に | . 131 . 130 . 385 |
| キー閉じ込み防止機能 クローズスイッチ 警告メッセージ 電子キーが正常に 働かないとき | . 131 . 130 . 385 . 430 |
| キー閉じ込み防止機能 クローズスイッチ 警告メッセージ 電子キーが正常に 働かないとき トランクオープナーを使用 | . 131 . 130 . 385 . 430 |
| キー閉じ込み防止機能 クローズスイッチ 警告メッセージ 電子キーが正常に 働かないとき トランクオープナーを使用 できなくするには | . 131 . 130 . 385 . 430 . 130 |
| キー閉じ込み防止機能クローズスイッチ クローズスイッチ 警告メッセージ 電子キーが正常に 働かないとき | . 131 . 130 . 385 . 430 . 130 . 287 |

| トランクランプ131 | ね |
|--------------------------|---------------------------------|
| トランスミッション 179 | 燃費 |
| シフトダウン制限警告ブザー 183 | 給油後平均燃費84 |
| 操作179 | 瞬間燃費 84 |
| パドルシフトスイッチ181 | 平均燃費 85 |
| メンテナンスデータ 444 | 燃費画面102 |
| トリップインフォメーション | 燃料442 |
| (マルチインフォメーション | 給油210 |
| ディスプレイ)84 | 種類442 |
| トリップメーター 78 | 燃料残量警告灯374 |
| 機能78 | 容量 442 |
| 切りかえ・リセットボタン 80 | 燃料計78 |
| | |
| な | は |
| 内装 | パーキングブレーキ 186 |
| 収納装備281 | 解除できないとき 428 |
| 手入れ 314 | 警告メッセージ 381, 385, 386 |
| ナイトビュー259 | 操作186 |
| 「ナノイー」 [※] | ブレーキ警告灯373 |
| ナビゲーションシステム [※] | 未解除走行時警告ブザー 385 |
| | メンテナンスデータ445 |
| (C | パーソナルランプ 279 |
| ニーエアバッグ 33 | Harmonious Driving Navi. 画面 103 |
| 荷物 | 排気ガス55 |
| 積むときの注意 168 | 灰皿 |
| トランク 129 | ハイビーム(ヘッドランプ) 192 |
| 荷物固定用フック 287 | オートマチックハイビーム 195 |
| | 電球(バルブ)の交換359 |
| め | ランプスイッチ192 |
| ぬかるみにはまった(スタック) 439 | ワット数447 |

| ハイブリッドシステム | . 56 |
|---------------|------|
| EV ドライブモード | 176 |
| 運転のアドバイス | 269 |
| オーバーヒート | 435 |
| 回生ブレーキ | . 57 |
| ガス欠になったとき | . 62 |
| 緊急始動機能 | 426 |
| 緊急時の停止方法 | 366 |
| 緊急停止システム | . 61 |
| 駆動用電池冷却用吸入口 | . 61 |
| 警告メッセージ | 378 |
| 高電圧部位 | . 60 |
| サービスプラグ | . 60 |
| 事故が発生したとき | . 64 |
| 始動できないときは | 425 |
| 始動方法 | 169 |
| 車両接近通報装置 | . 57 |
| 充電 | . 58 |
| 注意 | . 60 |
| 特徴 | . 56 |
| 特有の音と振動 | . 59 |
| パワー(イグニッション) | |
| スイッチ | 169 |
| 補機バッテリーがあがった | 432 |
| メンテナンス・ | |
| 修理・廃車するとき | . 59 |
| ハイブリッドシステム | |
| インジケーター | . 81 |
| ハイマウントストップランプ | |
| 電球 (バルブ) の交換 | 359 |

| ハザードランプ(非常点滅灯) | 363 |
|-----------------|-----|
| スイッチ | 363 |
| 電球 (バルブ) の交換 | 347 |
| ワット数 | 447 |
| 挟み込み防止機能 | |
| パワーウインドウ | 151 |
| パワートランクリッド | 132 |
| ムーンルーフ | 155 |
| 発炎筒 | 364 |
| バックアップランプ(後退灯) | |
| 電球 (バルブ) の交換 | 347 |
| ワット数 | 447 |
| バッテリー(駆動用電池) | 60 |
| 充電について | 58 |
| 搭載位置 | 60 |
| 冷却用吸入口 | 61 |
| バッテリー (補機バッテリー) | 317 |
| 搭載位置 | 317 |
| 補機バッテリーがあがった | 432 |
| 補機バッテリーを | |
| 交換するとき | 434 |
| パドルシフトスイッチ | 181 |
| バニティ(化粧用)ミラー | 290 |
| バニティミラーランプ | 290 |
| 装備について | 290 |
| ワット数 | 447 |
| バリアブルギヤレシオ | |
| ステアリング(VGRS) | 243 |
| バルブ (電球) | |
| 交換要領(外装のバルブ) | 347 |
| ワット数 | 447 |
| パワーイージーアクセス | |
| システム | 141 |

| パワーウインドウ | 151 |
|----------------|-----|
| ウインドウロックスイッチ | 151 |
| 閉めることができないときは | 152 |
| 操作 | 151 |
| ドアロック連動ドアガラス | |
| 開閉機能 | 152 |
| 挟み込み防止機能 | 151 |
| パワーコントロールユニット | 60 |
| パワー(イグニッション) | |
| スイッチ | 169 |
| パワーステアリング | 244 |
| 警告メッセージ | 382 |
| パワーステアリング警告灯 | 372 |
| パワートランクリッド | 129 |
| パンクした | |
| 応急用タイヤ装着車 | 402 |
| タイヤパンク応急修理キット | |
| 装着車 | 412 |
| 番号灯 | |
| (ライセンスプレートランプ) | 192 |
| 電球 (バルブ) の交換 | 359 |
| ランプスイッチ | 192 |
| ハンドル | |
| (ステアリングホイール) | 145 |
| 位置調整 | 145 |
| オートアウェイ& | |
| オートリターン機構 | 141 |
| ステアリングヒーター | 296 |
| ドライビングポジション | |
| メモリー | 139 |

ひ

| ビークルスタビリティ | |
|-----------------|-------|
| コントロール (VSC) | . 243 |
| ビークルダイナミクス | |
| インテグレイテッド | |
| マネージメント (VDIM) | . 244 |
| ヒーター | |
| エアコン・デフォッガー* | |
| シートヒーター | . 298 |
| ステアリングヒーター | . 296 |
| 非常点滅灯 (ハザードランプ) | . 363 |
| スイッチ | . 363 |
| 電球 (バルブ) の交換 | . 347 |
| ワット数 | . 447 |
| 尾灯 (テールランプ) | . 192 |
| 電球 (バルブ) の交換 | . 359 |
| ランプスイッチ | . 192 |
| ヒューズ | . 335 |
| 表示灯 | 76 |
| 日よけ (サンバイザー) | . 290 |
| | |

| ブースターケーブルのつなぎ方 | 432 |
|----------------|-----|
| フォグランプ | 201 |
| スイッチ | 201 |
| 電球(バルブ)の交換 | 347 |
| ワット数 | 447 |

| ブザー | | | |
|---------------------|--|--|--|
| シートベルト非着用警告 374 | | | |
| シフトダウン制限警告183 | | | |
| 接近警報(レーダークルーズ | | | |
| コントロール)224 | | | |
| 手放し運転警告 (LKA) 235 | | | |
| パーキングブレーキ未解除 | | | |
| 走行時警告 385 | | | |
| 半ドア走行時警告384 | | | |
| ブレーキ警告 377 | | | |
| 窓開警告 152 | | | |
| ムーンルーフ開警告156 | | | |
| リバース警告 183 | | | |
| フック | | | |
| けん引フック 368 | | | |
| コートフック 305 | | | |
| 荷物固定用フック287 | | | |
| フロアマット固定フック24 | | | |
| ユーティリティーフック 307 | | | |
| ラゲージフック287 | | | |
| フューエルメーター (燃料計)78 | | | |
| フューエルリッド(給油口) 210 | | | |
| 給油口が開かない212 | | | |
| 給油のしかた 210 | | | |
| 冬の前の準備 (寒冷時の運転) 271 | | | |
| 冬用タイヤ271 | | | |
| プリクラッシュセーフティ | | | |
| システム (PCS) 251 | | | |
| 機能251 | | | |
| PCS OFF スイッチ253 | | | |
| PCS 警告灯 372 | | | |

ブレーキ 回生ブレーキ 57 警告ブザー 377 警告メッセージ......377 パーキングブレーキ......186 ブレーキ警告灯......371,373 ブレーキホールド......189 メンテナンスデータ......445 ブレーキアシスト 243 ABS & ブレーキアシスト 警告灯......372 機能......243 ブレーキ付近からキーキー音が 聞こえる 164 ブレーキフルード 445 フロアマット......24 フロントシート136 シートヒーター......298 シートベンチレーター......299 シートポジションメモリー 139 正しい運転姿勢.......26 調整......136 手入れ......314 ドライビングポジション ヘッドレスト143 フロントパーソナルランプ 279 スイッチ 201 電球 (バルブ) の交換............. 347

ワット数 447

| フロント方向指示灯 185 | 補機バッテリー317 |
|------------------------------|------------------|
| 電球 (バルブ) の交換 347 | 交換するとき |
| 方向指示レバー 185 | 搭載位置 |
| ワット数447 | 補機バッテリーがあがった 432 |
| 777 🔊 | 保証 |
| ^ | ボンネット |
| 平均車速85 | 開け方317 |
| 平均燃費85 | 警告メッセージ |
| 一つが順 03 ヘッドアップディスプレイ 91 | = D / C / 302 |
| ヘッドランプ192 | # # |
| クリーナー | マスターウォーニング |
| 電球 (バルブ) の交換 | マルチインフォメーション |
| | |
| ライトセンサー | ディスプレイ83 |
| ランプ消し忘れ防止機能 194 | エネルギーモニター100 |
| ランプスイッチ192 | 警告メッセージ377 |
| ヘッドランプオートレベリング | トリップインフォメーション 84 |
| システム 194 | _ |
| ヘッドレスト143 | み |
| ベビーシート43 | ミラー |
| ヘルプネットスイッチパネル [※] | インナーミラー146 |
| ベンチレーター | ドアミラー 148 |
| (シートベンチレーター) 299 | バニティミラー290 |
| | |
| ほ | ಕ |
| ホイール | ムーンルーフ154 |
| 交換 (タイヤ)402 | 警告ブザー 156 |
| メンテナンスデータ 446 | 警告メッセージ 385 |
| 方向指示灯185 | 操作154 |
| 電球(バルブ)の交換347 | ドアロック連動ムーンルーフ |
| 方向指示レバー 185 | 開閉機構155 |
| ワット数447 | 挟み込み防止機能157 |
| ホーン(警音器)191 | |
| | |

| ø | 」ラゲージフック287 |
|--|--|
| メーター (計器類)78 | ラゲージマット288 |
| 警告灯 | ラゲージルーム |
| 照度調整 80 | (トランク)129, 287 |
| 表示灯 | ラジエーター |
| ヘッドアップディスプレイ 91 | オーバーヒート |
| マルチインフォメーション | メンテナンスデータ |
| ディスプレイ83 | ランプ |
| メーター | 室内灯278 |
| メカニカルキー109 | 電球 (バルブ) の交換 |
| メモリーコール機能 | パーソナルランプ279 |
| メンテナンスデータ | #常点滅灯 |
| メンテナンステータ 442 | チ |
| # 5 | フロントフォグランプ |
| <u> </u> | |
| モーター (電気モーター)56 | ヘッドランプ(前照灯)192 |
| | 1 + 15 - 17 / 6 > > /* 1 // |
| モーターでの走行 | 方向指示灯(ターンシグナル |
| モーターでの走行 (EV ドライブモード) 176 | ランプ/ウインカー) 185 |
| (EV ドライブモード) 176 | ランプ/ウインカー) 185 ライトセンサー194 |
| (EV ドライブモード) 176 | ランプ/ウインカー) 185 ライトセンサー |
| (EV ドライブモード) 176 ゆ ユーザーカスタマイズ機能 448 | ランプ/ウインカー)185 ライトセンサー194 ランプ消し忘れ防止機能194 リヤフォグランプ201 |
| (EV ドライブモード) 176 | ランプ/ウインカー) 185 ライトセンサー |
| (EV ドライブモード) 176 ゆ ユーザーカスタマイズ機能 448 | ランプ/ウインカー)185 ライトセンサー194 ランプ消し忘れ防止機能194 リヤフォグランプ201 |
| (EV ドライブモード) | ランプ/ウインカー) |
| ゆ ユーザーカスタマイズ機能 | ランプ/ウインカー) |
| ゆ ユーザーカスタマイズ機能 | ランプ/ウインカー) |
| ゆ ユーザーカスタマイズ機能 | ランプ/ウインカー) |
| ゆ ユーザーカスタマイズ機能 | ランプ/ウインカー) |
| ゆ ユーザーカスタマイズ機能 | ランプ/ウインカー) |

ランプスイッチ 192

| リヤアームレスト 301 リヤウインドウデフォッガー スイッチ** リヤサンシェード 302 リヤシートヒーター 298 リヤドアサンシェード 303 リヤパーソナルランプ 279 | レーンキーピングアシスト (LKA) |
|--|---|
| リヤフォグランプ201 スイッチ201 電球 (バルブ) の交換359 | ボンネット解除125 ロック(ドア)125 |
| リヤ方向指示灯 | 3 |
| 電球 (バルブ) の交換 | ロック ウインドウロック 151 シフトロック 427 スマートエントリー& |
| ర | スタートシステム 113 |
| ルームミラー (インナーミラー) 146 ルームランプ (室内灯) 278 | チャイルドプロテクター 126 ドア125 ワイヤレスリモコン123 |
| 冷却水 444 | わ |
| 水温計 78 冬の前の準備 271 メンテナンスデータ 444 冷却装置(ラジエーター) 444 オーバーヒート 435 メンテナンスデータ 444 レーダークルーズコントロール (全車速追従機能付き) 219 警告メッセージ 379, 389 接近警報 224 レーダーセンサー 227 | ワイパー& ウォッシャー |

ガソリンスタンドでの情報 給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。 ボンネットフック トランクオープナー 給油口 P. 317 P. 211 P. 129 INPGS096 ボンネット解除レバー タイヤ空気圧 P. 317 P. 446 燃料の容量 (参考値) 661 無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク) P. 442 燃料の種類 標準タイヤ: 前輪 後輪 タイヤサイズ kPa(kg/cm²) kPa(kg/cm²) タイヤが冷えている 225/50R17 94W 240 (2.4) 235/45R18 94Y ときの空気圧 235/40R19 92Y 240 (2.4) 265/35R19 94Y 250 (2.5) 応急用タイヤ★: 420kPa (4.2kg/cm²) 5.9L エンジンオイル容量 オイルのみ交換時: (参考値) オイルとフィルター交換時: 6.3L 弊社純正モーターオイル · SN OW-20 (API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE OW-20) エンジンオイルの種類 SN 5W-20 (API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-20) · SN 5W-30 (API SN, RC/ILSAC GF-5, SAE 5W-30) · SN 10W-30 (API SN. RC/ILSAC GF-5. SAE 10W-30)





M30C99 01999-30C99 ZI-2012年1月19日 2012年1月26日初版

GS450h